

基本計画 重点プログラム
市民アンケート報告書【別冊】
～参考集計結果（属性別）～

目 次

集計結果 ー属性別の状況ー

重点プログラム1「新しい芽を育む」

～子どもを産み育てやすいまちづくり・人間性豊かな子どもの育成～

- 1 取り組みの方向性の傾向（年齢別） 1
- 2 回答理由（年齢別） 5

重点プログラム2「命を守る」

～誰もが活躍できるまちづくり・安全で安心なまちづくり～

- 1 取り組みの方向性の傾向（2－1年齢別／2－2地域別） 15
- 2 回答理由（2－1年齢別／2－2地域別） 19

重点プログラム3「環境を守る」

～人と自然が共生するまちづくり・地球環境に貢献するまちづくり～

- 1 取り組みの方向性の傾向（3－1地域別／3－2年齢別） 31
- 2 回答理由（3－1地域別／3－2年齢別） 35

重点プログラム4「にぎわいを生む」

～地域経済の活性化と雇用の創出・集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり～

- 1 取り組みの方向性の傾向（年齢別） 47
- 2 回答理由（年齢別） 51

重点プログラム5「地域力を育む」

～地域と住民の主体性が発揮される仕組みづくり・地域を支えるコミュニティ機能の強化～

- 1 取り組みの方向性の傾向（5－1地域別／5－2年齢別） 65
- 2 回答理由（5－1地域別／5－2年齢別） 69

持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）を備えているまち

- 1 持続可能な発展を遂げる都市力を備えているまちの傾向（属性別） ... 78
- 2 回答理由（年齢別／地域別） 83

持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）を備えているまち

ー優先して取り組むべき政策についてー

- 1 優先して取り組むべき政策の傾向（属性別） 92
- 2 自由記述回答（年齢別） 97

横須賀市の魅力や横須賀市への愛着

- 1 横須賀市の魅力について（年齢別） 99
- 2 横須賀市への愛着について（年齢別） 101

集計結果　－属性別の状況－

重点プログラム1 『新しい芽を育む』 ～子どもを産み育てやすいまちづくり・人間性豊かな子どもの育成～

1 取り組みの方向性の傾向（年齢別）

（1）1－1 子どもを産み育てやすいまちづくり

【調査結果のポイント】

- ・今回調査では、取り組みの主な対象となる「30 歳代」の DI が「現在について」「以前との比較」とともにプラスで、実感が得られてきているといえる。
- ・「30 歳代」を含めた若年層で DI が高い傾向となっているが、その上の「40 歳代」「50 歳代」の実感はやや弱く、特に「現在について」では、「50 歳代」で唯一のマイナスとなっている。
- ・前年度調査との比較では、「現在について」「以前との比較」いずれも DI が上昇したのは「30 歳代」「70 歳以上」で、特に「30 歳代」では 30～40 ポイント前後の大幅な上昇がみられたが、前年度調査で大幅な低下があったため、振れ幅が大きい。
- ・一方、「現在について」「以前との比較」いずれも低下したのは「60 歳代」となった。
- ・平成 23 年度調査との比較では、「現在について」は 40 歳代以下の各年齢層で大幅な上昇がみられる一方、「以前との比較」では、年齢層によって傾向が異なっている。

図表1 1-1 「子どもを産み育てやすいまちづくり」の状況（年齢別：H25-23年度比較）

【現在について】

年齢階層	調査年度	件数(人)	(ポイント)					
			①思う+②やや思う (a)	③どちらともいえない	④あまり思わない+ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年度比	25-23年度比
29歳以下	25年度	57	49.1	22.8	28.1	21.0	▲ 0.6	18.1
	24年度	74	48.6	24.3	27.0	21.6	18.7	
	23年度	69	34.8	33.3	31.9	2.9	—	
30歳代	25年度	69	46.4	23.2	30.4	16.0	43.8	12.5
	24年度	72	26.4	19.4	54.2	▲ 27.8	▲ 31.3	
	23年度	86	39.5	24.4	36.0	3.5	—	
40歳代	25年度	71	38.0	28.2	33.8	4.2	14.0	15.4
	24年度	92	29.3	31.5	39.1	▲ 9.8	1.4	
	23年度	90	34.4	20.0	45.6	▲ 11.2	—	
50歳代	25年度	97	35.1	28.9	36.1	▲ 1.0	▲ 17.2	0.8
	24年度	105	45.7	24.8	29.5	16.2	18.0	
	23年度	109	35.8	26.6	37.6	▲ 1.8	—	
60歳代	25年度	131	37.4	33.6	29.0	8.4	▲ 13.3	3.1
	24年度	115	47.8	26.1	26.1	21.7	16.4	
	23年度	113	42.5	20.4	37.2	5.3	—	
70歳以上	25年度	100	47.0	31.0	22.0	25.0	18.7	15.9
	24年度	112	39.3	27.7	33.0	6.3	▲ 2.8	
	23年度	120	40.8	27.5	31.7	9.1	—	

【以前との比較】

年齢階層	調査年度	件数(人)	(ポイント)					
			①よくなっている+ ②どちらかという よくなっている (a)	③変わっていない	④どちらかという 悪くなっている+ ⑤悪くなっている (b)	DI (a)-(b)	前年度比	25-23年度比
29歳以下	25年度	35	48.6	37.1	14.3	34.3	10.4	▲ 2.7
	24年度	46	41.3	41.3	17.4	23.9	▲ 13.1	
	23年度	46	50.0	37.0	13.0	37.0	—	
30歳代	25年度	48	41.7	45.8	12.5	29.2	27.3	15.7
	24年度	53	26.4	49.1	24.5	1.9	▲ 11.6	
	23年度	74	33.8	45.9	20.3	13.5	—	
40歳代	25年度	56	35.7	39.3	25.0	10.7	▲ 7.7	2.2
	24年度	76	35.5	47.4	17.1	18.4	9.9	
	23年度	82	35.4	37.8	26.9	8.5	—	
50歳代	25年度	82	39.0	46.3	14.6	24.4	10.1	28.4
	24年度	91	36.3	41.8	22.0	14.3	18.3	
	23年度	100	29.0	38.0	33.0	▲ 4.0	—	
60歳代	25年度	117	39.3	41.0	19.7	19.6	▲ 5.6	7.3
	24年度	107	41.1	43.0	15.9	25.2	12.9	
	23年度	105	39.0	34.3	26.7	12.3	—	
70歳以上	25年度	85	47.1	36.5	16.5	30.6	9.1	4.0
	24年度	107	41.1	39.3	19.6	21.5	▲ 5.1	
	23年度	109	43.1	40.4	16.5	26.6	—	

年齢階層	現在について				以前との比較			
	DIの推移 (23年度 → 24年度 → 25年度)	年度差と状況		DIの推移 (23年度 → 24年度 → 25年度)	年度差と状況			
		対23年度	対24年度		対23年度	対24年度		
29歳以下	2.9 → 21.6 → 21.0	18.1 大幅に上昇	▲ 0.6 変化なし	37.0 → 23.9 → 34.3	▲ 2.7 変化なし	10.4 大幅に上昇		
30歳代	3.5 → ▲ 27.8 → 16.0	12.5 大幅に上昇	43.8 大幅に上昇	13.5 → 1.9 → 29.2	15.7 大幅に上昇	27.3 大幅に上昇		
40歳代	▲ 11.2 → ▲ 9.8 → 4.2	15.4 大幅に上昇	14.0 大幅に上昇	8.5 → 18.4 → 10.7	2.2 変化なし	▲ 7.7 低下		
50歳代	▲ 1.8 → 16.2 → ▲ 1.0	0.8 変化なし	▲ 17.2 大幅に低下	▲ 4.0 → 14.3 → 24.4	28.4 大幅に上昇	10.1 大幅に上昇		
60歳代	5.3 → 21.7 → 8.4	3.1 大きな変化なし	▲ 13.3 大幅に低下	12.3 → 25.2 → 19.6	7.3 上昇	▲ 5.6 低下		
70歳以上	9.1 → 6.3 → 25.0	15.9 大幅に上昇	18.7 大幅に上昇	26.6 → 21.5 → 30.6	4.0 大きな変化なし	9.1 上昇		

(2) 1-2 人間性豊かな子どもの育成

【調査結果のポイント】

- ・今回調査では、「30 歳代」「40 歳代」の DI がプラスに転じ、「現在について」「以前との比較」とともに、全ての年齢層で DI がプラスとなった。
- ・しかし、「現在について」の DI は「30 歳代」「40 歳代」「60 歳代」で高いとはいえず、特に「30 歳代」「40 歳代」の保護者層の実感に弱い傾向がみられる。
- ・前年度調査との比較では、「現在について」「以前との比較」いずれも上昇したのは「30 歳代」「70 歳以上」で、特に「30 歳代」では 20～30 ポイント前後の大幅な上昇がみられたが、1-1 と同様に前年度調査で大幅な低下があり、振れ幅が大きい。
- ・一方、「現在について」「以前との比較」いずれもポイントが減少したのは 1-1 と同様に「60 歳代」で、特に「現在について」では唯一のマイナスとなった。
- ・平成 23 年度調査との比較では、「現在について」の「30 歳代」で大幅な低下となっており、依然として実感が得られていない状況といえる。
- ・他方、「29 歳以下」では、「現在について」「以前との比較」の傾向が、逆の動きとなっている。

図表 2 1-2 「人間性豊かな子どもの育成」の状況（年齢別：H25-23 年度比較）

【現在について】

年齢階層	調査年度	件数(人)						(ポイント)	
			①思う+②やや思う (a)	③どちらともいえない	④あまり思わない+ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年度比	25-23年度比	
29歳以下	25年度	57	43.9	22.8	33.3	10.6	7.6		22.0
	24年度	67	37.3	28.4	34.3	3.0	14.4		
	23年度	61	27.9	32.8	39.3	▲ 11.4	—		
30歳代	25年度	65	35.4	30.8	33.8	1.6	32.2		▲ 11.1
	24年度	62	24.2	21.0	54.8	▲ 30.6	▲ 43.3		
	23年度	78	38.4	35.9	25.7	12.7	—		
40歳代	25年度	68	35.3	30.9	33.8	1.5	11.4		18.4
	24年度	91	30.8	28.6	40.7	▲ 9.9	7.0		
	23年度	89	27.0	29.2	43.9	▲ 16.9	—		
50歳代	25年度	82	41.5	29.3	29.3	12.2	12.2		30.6
	24年度	98	30.6	38.8	30.6	0.0	18.4		
	23年度	98	23.5	34.7	41.9	▲ 18.4	—		
60歳代	25年度	111	32.4	36.0	31.5	0.9	▲ 3.6		▲ 6.5
	24年度	111	35.1	34.2	30.6	4.5	▲ 2.9		
	23年度	109	35.8	35.8	28.4	7.4	—		
70歳以上	25年度	94	48.9	28.7	22.3	26.6	11.0		15.7
	24年度	109	43.1	29.4	27.5	15.6	4.7		
	23年度	110	35.4	40.0	24.5	10.9	—		

【以前との比較】

年齢階層	調査年度	件数(人)						(ポイント)	
			①よくなっている+ ②どちらかという よくなっている (a)	③変わっていない	④どちらかという 悪くなっている+ ⑤悪くなっている (b)	DI (a)-(b)	前年度比	25-23年度比	
29歳以下	25年度	37	37.8	43.2	18.9	18.9	▲ 6.6		▲ 20.3
	24年度	43	39.5	46.5	14.0	25.5	▲ 13.7		
	23年度	46	43.5	52.2	4.3	39.2	—		
30歳代	25年度	46	30.4	58.7	10.9	19.5	22.3		▲ 4.2
	24年度	36	19.4	58.3	22.2	▲ 2.8	▲ 26.5		
	23年度	59	32.2	59.3	8.5	23.7	—		
40歳代	25年度	50	36.0	50.0	14.0	22.0	▲ 0.5		11.3
	24年度	71	33.8	54.9	11.3	22.5	11.8		
	23年度	75	29.4	52.0	18.7	10.7	—		
50歳代	25年度	71	29.6	59.2	11.3	18.3	▲ 6.1		16.0
	24年度	78	37.2	50.0	12.8	24.4	22.1		
	23年度	88	25.0	52.3	22.7	2.3	—		
60歳代	25年度	105	36.2	52.4	11.4	24.8	▲ 9.5		▲ 3.2
	24年度	102	41.2	52.0	6.9	34.3	6.3		
	23年度	100	41.0	46.0	13.0	28.0	—		
70歳以上	25年度	86	58.1	33.7	8.1	50.0	9.1		19.4
	24年度	98	53.1	34.7	12.2	40.9	10.3		
	23年度	101	42.5	45.5	11.9	30.6	—		

年齢階層	現在について			以前との比較		
	DIの推移 (23年度 → 24年度 → 25年度)	年度差と状況		DIの推移 (23年度 → 24年度 → 25年度)	年度差と状況	
		対23年度	対24年度		対23年度	対24年度
29歳以下	▲ 11.4 → 3.0 → 10.6	22.0 大幅に上昇	7.6 上昇	39.2 → 25.5 → 18.9	▲ 20.3 大幅に低下	▲ 6.6 低下
30歳代	12.7 → ▲ 30.6 → 1.6	▲ 11.1 大幅に低下	32.2 大幅に上昇	23.7 → ▲ 2.8 → 19.5	▲ 4.2 大きな変化なし	22.3 大幅に上昇
40歳代	▲ 16.9 → ▲ 9.9 → 1.5	18.4 大幅に上昇	11.4 大幅に上昇	10.7 → 22.5 → 22.0	11.3 大幅に上昇	▲ 0.5 変化なし
50歳代	▲ 18.4 → 0.0 → 12.2	30.6 大幅に上昇	12.2 大幅に上昇	2.3 → 24.4 → 18.3	16.0 大幅に上昇	▲ 6.0 低下
60歳代	7.4 → 4.5 → 0.9	▲ 6.5 低下	▲ 3.6 大きな変化なし	28.0 → 34.3 → 24.8	▲ 3.2 大きな変化なし	▲ 9.6 低下
70歳以上	10.9 → 15.6 → 26.6	15.7 大幅に上昇	11.0 大幅に上昇	30.6 → 40.9 → 50.0	19.4 大幅に上昇	9.1 上昇

2 回答理由（年齢別）

（１）１－１ 子どもを産み育てやすいまちづくり

【29 歳以下】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというときよくなっている」

主な回答理由 (n=24)
産院の選択肢がこの頃は少なかった。
産婦人科が増えた。しかし公園に子どもがいない。
出産や児童手当等の助成金が増額したから。
保育園などに入園出来ないという家庭が、あまり周りでないから。
学童や保育園も比較的多いので良いが、他市を見ると妊婦検診の無料券など多くあり、いいなと思う。
子どもを遊ばせる施設が充実している。
愛らんどなど、利用しているが、駐車スペースが少ない。
米軍もあり外国との交流が盛ん。
自然も多く、治安もいいし、交通の便もよい。しかし十字路等、見通しの悪い道も多い。
イオンとか大きいお店ができていいから。
保育所に入れるのか不安。
以前よりは良いが、まだまだ産み育てやすいとはいえない。
しかし、まだまだ足りないと思う。産みたくてもお金かかって…な人とかにももっと支援を！！
横須賀市の子どもが多く通う学校である。何とかならないものか。めったに行かない美術館には、広くてキレイなバリアフリートイレがあるのに、毎日使う学校のトイレはせまく、汚く、シャワーもない。支援がとても大変である。

「④あまり思わない、どちらかというとき悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=23)
産婦人科が減っているから。
産科が少なく、希望の分娩形態ができない。
6 か月の検診がないことに驚いた。
あまり直接的な還元がある手当てがないようなので。ex)医療費無償、妊娠検診無料etc…
子どもの遊び場が少ない。子どもと一緒に参加出来るイベントが少ない。知らない。
遊ばせやすい場所が少ない。衛生面も。
小学校、中学校まで歩いて通学できる距離にない。各大学までが遠く、自宅から通えない。
インターナショナルスクールが少ない。横須賀なのに…と思う。
ベビーカーでの移動が困難。（道の狭さ、段差など）
以前より店などが減り、車を持っていない夫婦などは子育てがしにくい。
子どもを産むための環境も隣の横浜より全然劣っているし、市として雇用が創出できず、経済的に安定しない。米軍などもあり、治安もよくない。
横須賀市に限らず日本全体かな？
社会全体として産みにくい。

【30 歳代】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというよくなっている」

主な回答理由 (n=29)
自然環境が良いので育てやすい。
海や山など自然に囲まれた環境にある比較的な公園の多い町に思えるので。
保育園もそこそこ入れた。愛らんどとかは良い。
必要な施設は一応あると思う。
遊ぶところがある。
出産出来る病院は減ったが、ファミリーサポートセンターetc…生まれた後のサポートが増えた気がする。
産科が増えた気がする。
設備や環境は整っていると思うが、子どもだけで気軽に行くのは難しいかもしれない。
国が掲げている子育て支援対策の基盤は実践されているから。
「こんにちは赤ちゃん事業」について対応してもらったことがあるため。
地域ごとのイベントや、育児サークルが増えた。(個人グループから、地域ごとへ)
子ども連れで参加できる行事がふえた。
不妊治療をもっと充実させてほしい。
やっと医療費が小2まで無料になるらしい。他の市に比べたら、ちょっと遅いかなと思った。もう上の子は間に合いません！

「④あまり思わない、どちらかという悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=28)
以前より産科が減少しているから。
リスクの高い妊婦がお産できる病院が少ない。出産費が高い。通院費も高い。小学校からは医療費がかかる。
医療費が就学前、学童が私設で、高額、負担が増、はまっ子があるといい。
学童が少ない上に料金が高すぎる。
育児支援の助成金(クーポン)等の発行がない。
補助金がない、ムリ。
公立保育園の数が少ない。
病児保育が少なすぎ。
教育費が高い。
都内と比べて教育環境が整っていない。
結婚できる収入が得られない。産業が自動車に特化されているので、他の職業が低賃金。
子どもの髪を染める、子どもに対して親が「うるせえ」などと言う。幼児を夜に連れ歩くなど、「ん？」と思う親が多い。
小学児童の髪が長く赤かったり、後ろの髪を長くしたり、服装が大人のまねをしたり、鎌倉、逗子、に比較してだらしない。
起伏が激しく、住環境が良くないため。車輛が前につけられない、階段や細道のため。
小学校の教職員、市の広報、教育委員会の活動が低下している。「良くする」という気概がない。
少子高齢化と当市の人口減という事実から…。
そもそも日本がそうではない。

【40 歳代】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというとなよくなっている」

主な回答理由 (n=22)
小児医療の補助等が良くなった。
「すかりぶ」などの行政の取り組みが見られる。もっとできる。
「こんにちは赤ちゃん事業」などの取り組み。
初めての子どもを出産後、お友達も少ない中、愛らんどよこすかを利用。子どもと2人で 行っても楽しく過ごせた。
産科も増え、保育所の入所も確保しやすいと聞いている。
乳幼児サークルなどは、さかんになってきている気がする。
公園が整備されて、子どもが遊びやすくなった。
学校の耐震工事がされて、安心して通える。
特に困ることがないから。
職場でも産休利用者がいるため。以前はいなかった。
子ども2人を育てているが、ここに挙げられている事業には本当にお世話になった。あと は、子どもが小学生のうち、親が5時に帰れるような働き方ができるよう、必要なと ころへ働きかけてもらえるとよいと思う。
小中学校の若い先生の育成が上手くいってない。
都内に比べると、もう少し市としてできる事があるのではないか…と思う。

「④あまり思わない、どちらかというとな悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=36)
出産できる病院が少ない。(予約制なんて信じられない) (n=18)
産科医が少ない。(nは同上)
以前は自分で出産出来る病院を選べた。(nは同上)
大きな病院で産科がなくなった。(nは同上)
子どもを産みたいが、産婦人科がないと、まわりの人から話を聞くので。(nは同上)
環境的には最高だが、医療面が…。(nは同上)
病院が、専門科のかたよりにより、受診しづらくなっている。(nは同上)
他の町では、子どもの医療費などの負担が、中学生まであつたりするのに、期間が短ず る。(n=5)
保育園、幼稚園の子どものあずかり時間などがまだまだ短い。公園などの施設が整って いない。
児童センターなどの施設が少ない。
学童クラブは他市と比較して、値段が高いし少ない。
横須賀市内の大学の数。少なすぎる。12つしかない。子どもを生んで育てると、やがて 高校も卒業し、就職するか大学に行く。新しい芽を育んだあと、大人になるちょっと前 の年代にくると、教育面でかなりの不満を感じる。
子どもを産んでも、本来の部署(仕事)に戻れないから。
仕事が忙しすぎて、子どもが産めないから。
核家族、母子(父子)家庭が増えている気がして、子どもにとっての環境低下が気にな る。

※回答末尾に記載のn 値は5以上のもののみ記載

【50 歳代】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというよくなっている」

主な回答理由 (n=39)
山や海もあり自然に恵まれた町。(n=8)
子育て支援事業は充実してきていると思う。(n=5)
色々な支援が増えたと思う。(nは同上)
私が子育てをしている時は、教育費等子どもの援助はなかった。(nは同上)
産科対策支援が進められている事や、幼児・児童の人数が少なくなっているが、きめ細い支援が絡みつつあるかと思う。(nは同上)
子どもにたずさわる施設は増えていると思う。(n=5)
公園等の整備が進んでいる気がするし、休日に子どもと過ごす場所が多い。(nは同上)
4～5年前よりは、病院が増えたと聞いている。
小児医療費助成(0歳)は、子育てにはとても助かる制度であると思う。
小児医療の無料化。(6才まで)
保育園の充実。
学童クラブへの助成等。
文化施設が身近にある。
横浜の友人が子どもが育てやすいからと市内に移転してきた。
行政的には、決して育てやすいとは思わない。
どうにもならないハード面で急傾斜地が多いこと。
産科が充実しているとは思えない。予約を含め、大変な状況である。
保育所については、充実しているとは思えない。

「④あまり思わない、どちらかという悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=40)
産科医療はどうだろう。大きい病院は縮小される一方だと思うが。(n=16)
産科のある総合病院が減った事で、里帰り出産や2人目、3人目も産むのを考えてしまうのでは。(nは同上)
産院が少なすぎる。やっと見つけた産院も不便な場所で利用できない。(nは同上)
周産期医療が充実していない。(nは同上)
病院が少ない。(nは同上)
保育所の不足。空き学校を利用して、市としての大型保育施設が必要。働きたくても預けられない。
妊婦健診にかかる費用は、かなりの負担だと思われるから。
医療費や私立幼稚園の月謝の助成が少ない。
医療費負担。中学校で給食がない。
横須賀は、何事も遅い。
我家のまわりでは、子どもをあまり見かけない。
子ども向けの児童館でのプログラムなどが少ない。
子ども達が楽しく遊べる公園が少ない。(遊具が少ない、ただ広だけの広場みたいな所が多い)雨でも遊べる児童施設がない。車が停められない。
自然には恵まれているが、教育環境が少ない。
企業誘致が進んでいない上に、雇用の問題も解決していない。
雇用の問題が進んでいないので、若い年代の人達が住みづらくなっている。
女性が育児と仕事を両立する環境が？
家賃が高いと思うし、ガス代も高い。都市ガスをもっと普及させてほしい。生活費が高いと思う。
子ども達の運動能力が、小学校の授業において、あきらかに落ちているのではないか。
緑が少ない。自然にふれる機会が少ない。

※回答末尾に記載のn 値は5以上のもののみ記載

【60 歳代】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというときよくなっている」

主な回答理由 (n=42)
待機児童減少・学童クラブ受入れ拡大。(n=10)
最近、自宅の近くに学童が設置され、仕事を持つ女性に力強く感じた。(nは同上)
小学校低学年の間(孫の場合)、学校が終わってから4時までボランティアのわいわいスクールを利用させてもらい助かっているが、友人のところ(横浜市)では6時までと聞いた。学童保育は、お金がかかるので…。(nは同上)
保育所の定員が若干拡充されつつある。(nは同上)
自然環境がよい。(n=7)
我が子が幼い時、鍵っ子にしてしまった経緯があった。
産科が増えてきている。(4～5年前減少していたが)
医療費が無料。
保健師さんが各家庭をまわった。
ベビー室あるので便利。(娘)
子育て支援センターや地域毎の親子で交流する場があるので。
交通の利便性が良い。
周りの人も市も(細かい事に)気配りしている。
シニアの方々の声掛けが多くなっている。
若い方の世帯が増えているので…。
遊ぶ所や町内会でも子ども中心だから。
産科医の受け入れが、早期でなければ受け付けてもらえないなど、少ないのかもしれない。
子どもの人数が少なく、近くに遊び相手がいない。
子どもが少なく、子どもの遊んでいる声も聞こえない。

「④あまり思わない、どちらかというとき悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=43)
産婦人科、小児科が減少しているから。(n=16)
出産する病院が少ない。(nは同上)
安心して産める病院(総合病院)が少ない。(nは同上)
産科医不足。(nは同上)
保育園がいつも満杯。学童クラブ満員だと遠くに行かされる。(n=6)
学童が少ない(小1になると受け皿が少ない)。(nは同上)
小さい部屋でやっているのが多い。
近所に安全できれいな公園が少ない。
スポーツ施設はあるが、幼児の遊び場が少ない。
土の部分の減少。
図書館、体育館、大きな競技場が少ない。
上り坂、下り坂が多いため、子どもとの散歩に不便。
若い年代、子どもが少ない。人と人との交流がない。
人口比率的にも高年齢層が増えているのではないか。
母子の仕事場が少ない。
女性の職域、職場が少ない。
毎年年収が減り生活が大変になっていると思う。
子育ては、親の収入により、生活安定によりだと思ふ。

※回答末尾に記載のn 値は5以上のもののみ記載

(1) 1-2 人間性豊かな子どもの育成

【29 歳以下】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというよくなっている」

主な回答理由 (n=20)
ベースがあるので、外国人との交流が自然にしやすい面が良いと思う。
姉妹都市との交換留学等の良い機会がある。
国際コミュニケーション能力などこれから必要なものを学べるところが良い。
A L T の授業はとても魅力的だった。
自然が多いから。それを利用して良いと思う。
支援教育は充実していると思う。「はぐくみかん」の取り組みなど。
子どもを保育園に入園させ、楽しんで登園している様子がうかがえる。
私もそういう授業を受けたかった。
小中一貫や建替事業等、子どもの育成にはとても賛同するが、校庭芝生化については、他の地域等でもサッカーや野球等のスポーツへの制約が問題になっているので屋上等を利用すべきだと思う。
数年前より、児童の学力は多少向上しているように感じる。ただし、それがプロジェクトによる影響かどうかは分からないし、単に「ゆとり教育」をやめただけであれば、人間性豊かな子どもには育たないと思う。
他県の良いところ、横浜市の子どもへの成功例を参考にしてほしい。

「④あまり思わない、どちらかという悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=17)
図書館が少なく小さい。あれでは老人が新聞を読むことしかできない。横須賀には大きな大学がないんだから、もっと力を入れるべき。美術館なんかより優先してほしい。
雨の日の室内遊びの場が少ないから。
実際に何かするような所が少ないと思う。
キャリア教育推進事業について、具体性が見えない。
国際色にかけると思う。古い街のイメージ。もっとグローバルに子どもを育てたい。
昔のほう配慮があったと思う。
子どもへの配慮が足りない。
私はそう（人間性豊かな子ども）ではないから。
教員の数が少ない。子どもの学力の低下が気になる。
子どもの数が少ないが、その分一人一人をみているわけではない。（学校・教育体制）
教師が生徒・保護者にこびている。
通学路の所に住んでいるが、あいさつはしっかりしているとは思いますが、人間性豊かとは思えない。
中学生が学校のすぐ近くで喫煙しているのを見かける。昔よりも頻繁に見る。

【30 歳代】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというとよくなっている」

主な回答理由 (n=19)
A L T とかの授業はとても楽しらしく、一度授業参観で見たが、楽しそうだった！！好きな授業の 1 つらしい。
A L T の配置や職業体験が行われているので。
小中一貫教育、校庭芝生化、国際化について推進している感があるため。
人間性豊かな育成に、スポーツは不可欠だと思う。校庭芝生化や武道場建設はよかったと思う。
算数の個別指導や A L T など、学校では充実してきた。
学力向上志向の小学校、中学校が増えたと感じる。
運動場とか恵まれている気がする。
海外の人も多いため。
不登校児童の行く場所が以前より増え、学校だけでなく地元の人達の協力も増えつつあるため。
図書館の開館時間が一部の曜日で夜遅くなったのは便利で、どの年代にもよいことだと思う。
英語ではなく英会話をもっと重視してほしい。

「④あまり思わない、どちらかというと悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=15)
小学校の 5、6 年のクラスがいつも荒れるので、もっと教員の指導力を高める研修をしてほしい。あと、いじめの対応の仕方もきちんと習得してほしい。担任の先生だけがクラスの問題に取り組むのではなく、学年主任（中学のように明確に）を置くとか、相談員もきちんと不登校に対応できるような知識を持つ人を置いてほしい。
平気で高校生がタバコを、駅前で吸っている。駅員は何も言わない。
夜遅いのに、高校生が集団で遊び歩いている。
歩きタバコ、パチンコ（駅前）が気になる。
小中学校教育に、力をいれているようには思えない。
街の掲示板や図書館、市役所に育成活動が出ていない。
市としての取り組みの広報が何もない。
子どもの心、精神力、忍耐力などを養う経験・体験が出来る環境をもっと整えることが必要だと思う。
施設の充実は必要だと思うが、子どもへの直接的な指導は不要なのでは？むしろ囲い込んで自主性を損なう気がする。
どうして、いじめ防止や進行形を探して、くいとめないのか？
近所づきあいが無い。

【40 歳代】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというよくなっている」

主な回答理由 (n=17)
英語やパソコンの授業が組みこまれたりしているところ。(n=8)
A L T 配置などは、とても良いと思う。(nは同上)
以前、武道場が少なかったように思うし、不登校の生徒にも対策しているのがわからなかった。今は良くわかる。(nは同上)
子どもの読書活動など。(nは同上)
向上に向けていろいろと考えて頂いている。(nは同上)
音楽やダンス鑑賞が授業である。以前は知らないが…。
息子の小学校(6年)の授業などの内容。
選択肢が広がったから。
各教室にエアコンなどが設置されたりして環境は良くなっていると思う。学校によっては、先生に問題があったりする事を聞く。先生の心の教育もした方が…。
子どもも時間に追われる生活をしているが、親が注意をしながら、上手くケータイ等を使うことで友達とのコミュニケーションもとれる。
学校生活の中で、地域との関わりがあり、様々な年代の人や職業の人との交流がもてる。地域のお祭りなどがさかん。

「④あまり思わない、どちらかという悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=20)
芝生がある場所が少なすぎる。子どもが自然の中で遊べない。(n=6)
外で安全に遊べる、または、学べる環境が整っていない。(nは同上)
子どもが土の上で遊べるような小さなツアーなどが無いから。あれば友達などもたくさんできる。(nは同上)
0～5才までの育成に力を入れていない様に感じる。公園や里山の整備、学びの環境構築してほしい。(nは同上)
校庭の芝生化は不要(管理費増る要因)。
他市と比較して突出した特徴が、重点事業の中にみられないのではないかな。
他の自治体に比べ、特段の施策がない。
特色のある事業がない(あるかどうかわからない)。
プロジェクトを色々と掲げているが、生先の質や子ども達は、変わっていないと思う。
小学校の質の低下は、かなりひどい。
他県と比べて公民館などの低額や無料の習い事、イベントが少なすぎる。武道場が不足、テニスコートには金かけすぎ、弓道遠的場を作してほしい。国体必須なのに施設がない。個人情報厳しくなっている。

※回答末尾に記載のn 値は5以上のもののみ記載

【60 歳代】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというとよくなっている」

主な回答理由 (n=24)
以前になかった事がされていると思う。
子どもを考えた事業が展開されている。
子ども達が職業経験などを実施しているので。
授業時間増加・低学年からの英語教育。
子どもの発達段階や学びの継続性、連続性を重視した教育。
子ども遠足等が、ただの見学会でなく、山や海の自然を相手にしているところが良い。
地域のボランティアがクラブの子たちをみている。
地域との交流（昔遊びで大人との交流）など。
子どもからのあいさつがあり、とてもよいこと。
人間性の優しい子どもを見る。
町に学童クラブがある。
子ども達に参加させる行事がある。
勉強以外の習い事をしている子どもが増えたような気がする。
なぜ人口が減っていくのか考えよう。

「④あまり思わない、どちらかというと悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=20)
学校では、「ゆとり教育」に取り組んでいた頃から、学力低下・父兄との摩擦が多くなったような気がする。
個別な場合に対応する教育が、まだ不十分だと思うから。
知人宅の子どもさんがいじめにあっている話を聞いて、学校の先生が相談にあまりのつてくれないので、親が学校に何度も行ったり相手の親に電話したり大変だと思った。
自己中心的な子どもが多い。
道で出会った時、子どもからの挨拶が減った。
働いているお母さん達から不満をよく聞く。
子どもの育成の会合がない。
町内の高齢化が進み、子ども会がなくなり、子どもと地域のつながりが薄れてきている。
市が、子どもの育成にどのようにかかわっているのか不明。
前は公園で遊んでいる子がいたが今はあまりない。
横浜市等に比べると、図書館、体育館、大きな競技場等の施設が少なすぎる。
中高一貫校がない。
体験型の施設の整備をしてみてもいい。

重点プログラム2 『命を守る』

～誰もが活躍できるまちづくり・安全で安心なまちづくり～

1 取り組みの方向性の傾向（2-1年齢別／2-2地域別）

（1）2-1 誰もが活躍できるまちづくり

【調査結果のポイント】

- ・今回調査で、「現在について」のDIは「40歳代」「50歳代」でマイナスとなった。一方、「以前との比較」のDIは、全ての年齢層が全年度プラスで、一応の実感が得られているとみることができる。
- ・過年度の調査との比較では、40歳代以下の「現在について」で大幅な上昇がみられる。
- ・また、「現在について」の40歳代以下と50歳代以上の間で実感に大きな差がみられる。

図表3 2-1「誰もが活躍できるまちづくり」の状況（年齢別：H25-23年度比較）

【現在について】

年齢階層	調査年度	件数(人)						(ポイント)	
			①思う+②やや思う (a)	③どちらともいえない	④あまり思わない+ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年度比	25-23年度比	
29歳以下	25年度	66	47.0	24.2	28.8	18.2	30.3	20.7	
	24年度	74	36.5	14.9	48.6	▲ 12.1	▲ 9.6		
	23年度	78	38.5	20.5	41.0	▲ 2.5	—		
30歳代	25年度	69	40.6	36.2	23.2	17.4	37.4	14.1	
	24年度	70	24.3	31.4	44.3	▲ 20.0	▲ 23.3		
	23年度	90	40.0	23.3	36.7	3.3	—		
40歳代	25年度	83	32.5	33.7	33.7	▲ 1.2	13.7	18.8	
	24年度	107	29.0	27.1	43.9	▲ 14.9	5.1		
	23年度	105	25.7	28.6	45.7	▲ 20.0	—		
50歳代	25年度	108	28.7	30.6	40.7	▲ 12.0	▲ 7.6	▲ 2.6	
	24年度	114	30.7	34.2	35.1	▲ 4.4	5.0		
	23年度	116	32.8	25.0	42.2	▲ 9.4	—		
60歳代	25年度	147	36.1	28.6	35.4	0.7	▲ 5.6	0.8	
	24年度	127	39.4	27.6	33.1	6.3	6.4		
	23年度	127	35.4	29.1	35.5	▲ 0.1	—		
70歳以上	25年度	119	47.1	25.2	27.7	19.4	5.1	9.2	
	24年度	126	42.9	28.6	28.6	14.3	4.1		
	23年度	126	42.8	24.6	32.6	10.2	—		

【以前との比較】

年齢階層	調査年度	件数(人)						(ポイント)	
			①よくなっている+ ②どちらかという よくなっている (a)	③変わっていない	④どちらかという 悪くなっている+ ⑤悪くなっている (b)	DI (a)-(b)	前年度比	25-23年度比	
29歳以下	25年度	43	39.5	46.5	14.0	25.5	▲ 2.5	▲ 3.6	
	24年度	50	40.0	48.0	12.0	28.0	▲ 1.1		
	23年度	48	45.8	37.5	16.7	29.1	—		
30歳代	25年度	49	40.8	51.0	8.2	32.6	20.7	▲ 6.9	
	24年度	42	26.2	59.5	14.3	11.9	▲ 27.6		
	23年度	71	46.5	46.5	7.0	39.5	—		
40歳代	25年度	66	39.4	50.0	10.6	28.8	▲ 1.2	0.2	
	24年度	90	38.9	52.2	8.9	30.0	1.4		
	23年度	91	36.3	56.0	7.7	28.6	—		
50歳代	25年度	97	37.1	49.5	13.4	23.7	▲ 9.0	5.6	
	24年度	101	40.6	51.5	7.9	32.7	14.6		
	23年度	105	34.3	49.5	16.2	18.1	—		
60歳代	25年度	133	44.4	45.9	9.8	34.6	▲ 3.8	1.8	
	24年度	112	43.8	50.9	5.4	38.4	5.6		
	23年度	119	41.2	50.4	8.4	32.8	—		
70歳以上	25年度	108	58.3	34.3	7.4	50.9	17.3	21.3	
	24年度	116	43.1	47.4	9.5	33.6	4.0		
	23年度	115	41.7	46.1	12.1	29.6	—		

年齢階層	現在について			以前との比較		
	DIの推移 (23年度 → 24年度 → 25年度)	年度差と状況		DIの推移 (23年度 → 24年度 → 25年度)	年度差と状況	
		対23年度	対24年度		対23年度	対24年度
29歳以下	▲ 2.5 → ▲ 12.1 → 18.2	20.7 大幅に上昇	30.3 大幅に上昇	29.1 → 28.0 → 25.5	▲ 3.6 大きな変化なし	▲ 2.5 変化なし
30歳代	3.3 → ▲ 20.0 → 17.4	14.1 大幅に上昇	37.4 大幅に上昇	39.5 → 11.9 → 32.6	▲ 6.9 低下	20.7 大幅に上昇
40歳代	▲ 20.0 → ▲ 14.9 → ▲ 1.2	18.8 大幅に上昇	13.7 大幅に上昇	28.6 → 30.0 → 28.8	0.2 変化なし	▲ 1.2 変化なし
50歳代	▲ 9.4 → ▲ 4.4 → ▲ 12.0	▲ 2.6 変化なし	▲ 7.6 低下	18.1 → 32.7 → 23.7	5.6 上昇	▲ 9.0 低下
60歳代	▲ 0.1 → 6.3 → 0.7	0.8 変化なし	▲ 5.6 低下	32.8 → 38.4 → 34.6	1.8 変化なし	▲ 3.8 大きな変化なし
70歳以上	10.2 → 14.3 → 19.4	9.2 上昇	5.1 上昇	29.6 → 33.6 → 50.9	21.3 大幅に上昇	17.3 大幅に上昇

(2) 2-2 安全で安心なまちづくり

【調査結果のポイント】

- ・今回調査で、「現在について」の DI がマイナスとなったのは、「追浜・田浦」「西」の2地域であった。
- ・「以前との比較」では全地域でプラスとなったものの、「追浜・田浦」「西」地域はほかの地域と比較して値が小さく、実感が弱いといえる。
- ・前年度調査との比較で「現在について」「以前との比較」とともにポイントが減少したのは「追浜・田浦」「本庁・逸見」「大津・浦賀」の3地域で、特に「本庁・逸見」地域はいずれも15～20ポイント前後の、大幅な低下となった。
- ・平成23年度調査との比較では、全体的に低下している中、唯一、「久里浜・北下浦」地域で、「現在について」「以前との比較」とともに差がプラスであった。

図表4 2-2 「安全で安心なまちづくり」の状況（地域別：H25-23年度比較）

【現在について】

居住地域	調査年度	件数(人)						(ポイント)	
			①思う+②やや思う (a)	③どちらともいえない	④あまり思わない+ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年度比	25-23年度比	
追浜・田浦	25年度	80	31.3	25.0	43.8	▲ 12.5	▲ 3.1	▲ 15.0	
	24年度	75	33.3	24.0	42.7	▲ 9.4	▲ 11.9		
	23年度	78	41.0	20.5	38.5	2.5	—		
本庁・逸見	25年度	105	40.0	25.7	34.3	5.7	▲ 10.5	▲ 20.7	
	24年度	136	45.6	25.0	29.4	16.2	▲ 10.2		
	23年度	129	53.5	19.4	27.1	26.4	—		
衣笠	25年度	98	43.9	20.4	35.7	8.2	21.7	2.9	
	24年度	111	30.6	25.2	44.1	▲ 13.5	▲ 18.8		
	23年度	115	41.8	21.7	36.5	5.3	—		
大津・浦賀	25年度	164	40.2	26.2	33.5	6.7	▲ 12.0	▲ 7.7	
	24年度	161	49.1	20.5	30.4	18.7	4.3		
	23年度	160	44.4	25.6	30.0	14.4	—		
久里浜・北下浦	25年度	159	43.4	28.9	27.7	15.7	18.2	4.2	
	24年度	163	38.0	21.5	40.5	▲ 2.5	▲ 14.0		
	23年度	139	45.3	20.9	33.8	11.5	—		
西	25年度	79	38.0	21.5	40.5	▲ 2.5	6.1	▲ 7.7	
	24年度	58	34.5	22.4	43.1	▲ 8.6	▲ 13.8		
	23年度	77	40.3	24.7	35.1	5.2	—		

【以前との比較】

居住地域	調査年度	件数(人)				DI (a)-(b)	前年度比	(ポイント)	
			①よくなっている+ ②どちらかという+ よくなっている (a)	③変わっていない	④どちらかという+ 悪くなっている+ ⑤悪くなっている (b)			25-23年度比	
追浜・田浦	25年度	71	29.6	49.3	21.1	8.5	▲ 9.4	▲ 6.6	
	24年度	67	34.3	49.3	16.4	17.9	2.8		
	23年度	73	38.4	38.4	23.3	15.1	—		
本庁・逸見	25年度	86	34.9	44.2	20.9	14.0	▲ 14.2	▲ 15.5	
	24年度	124	40.3	47.6	12.1	28.2	▲ 1.3		
	23年度	119	42.9	43.7	13.4	29.5	—		
衣笠	25年度	91	36.3	51.6	12.1	24.2	3.2	▲ 0.4	
	24年度	95	36.8	47.4	15.8	21.0	▲ 3.6		
	23年度	106	40.6	43.4	16.0	24.6	—		
大津・浦賀	25年度	148	42.6	41.2	16.2	26.4	▲ 1.2	▲ 11.9	
	24年度	138	45.7	36.2	18.1	27.6	▲ 10.7		
	23年度	146	47.9	42.5	9.6	38.3	—		
久里浜・北下浦	25年度	139	40.3	45.3	14.4	25.9	13.2	1.1	
	24年度	141	34.0	44.7	21.3	12.7	▲ 12.1		
	23年度	125	39.2	46.4	14.4	24.8	—		
西	25年度	67	31.3	38.8	29.9	1.4	3.5	▲ 13.7	
	24年度	48	27.1	43.8	29.2	▲ 2.1	▲ 17.2		
	23年度	66	30.3	54.5	15.2	15.1	—		

居住地域	現在について			以前との比較		
	DIの推移 (23年度 → 24年度 → 25年度)	年度差と状況		DIの推移 (23年度 → 24年度 → 25年度)	年度差と状況	
		対23年度	対24年度		対23年度	対24年度
追浜・田浦	2.5 → ▲ 9.4 → ▲ 12.5	▲ 15.0 大幅に低下	▲ 3.1 大きな悪化なし	15.1 → 17.9 → 8.5	▲ 6.6 低下	▲ 9.4 低下
本庁・逸見	26.4 → 16.2 → 5.7	▲ 20.7 大幅に低下	▲ 10.5 大幅に低下	29.5 → 28.2 → 14.0	▲ 15.5 大幅に低下	▲ 14.2 大幅に低下
衣笠	5.3 → ▲ 13.5 → 8.2	2.9 変化なし	21.7 大幅に上昇	24.6 → 21.0 → 24.2	▲ 0.4 変化なし	3.2 大きな悪化なし
大津・浦賀	14.4 → 18.7 → 6.7	▲ 7.7 低下	▲ 12.0 大幅に低下	38.3 → 27.6 → 26.4	▲ 11.9 大幅に低下	▲ 1.2 変化なし
久里浜・北下浦	11.5 → ▲ 2.5 → 15.7	4.2 大きな悪化なし	18.2 大幅に上昇	24.8 → 12.7 → 25.9	1.1 変化なし	13.2 大幅に上昇
西	5.2 → ▲ 8.6 → ▲ 2.5	▲ 7.7 低下	6.1 上昇	15.1 → ▲ 2.1 → 1.4	▲ 13.7 大幅に低下	3.5 大きな悪化なし

2 回答理由（2－1年齢別／2－2地域別）

（１）2－1 誰もが活躍できるまちづくり

【29 歳以下】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというと言くなっている」

主な回答理由 (n=24)
駅や公共施設など、バリアフリーで助かる。(n=6)
電車やバスなどバリアフリーが多く見受けられる。(nは同上)
設備のバリアフリー化が進んでいる。(nは同上)
ノーマライゼーションを実現するために色々な工夫がされていると思う。
以前に比べ、高齢者を対象とした事業に力を入れているように感じる。
サポート体制ができてきていると思う。
おじさんたちも働いているから。
他と比べると高齢者が積極的だと思う。
他市をあまり知らないが、障害のある方が働いているのをよく見る。
障害のある方のパン屋さんや、おにぎり屋さんなど、多くなってきたいいと思う。
様々な分野の業種があるので。
年齢、性別、障害にかかわらず働く機会がある。
色々な場がある。
町内でも年配の方が役員をして、生き生きと活躍している。
市内の市立小中学校全てに障害者クラスを設けている。
市として「誰もが活躍できるまち」となりたい中、市の職員の半数を障害のある方や、高齢者の方にする位したら良いと思う。まだまだ、力のある方がうもれていると思う。

「④あまり思わない、どちらかというと言くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=13)
誰もが活躍できるとは思わない。
支援体制が充実しているとは思わない。
社会として、マイノリティーを受け入れていない。
やはり活躍しているのは一定の年代。
経済の影響が大きい。
年金が減り、職場も少ない、基本賃金が低い。
現在無職なのでアルバイト等に面接にいても、あまり真剣に話を聞いてもらえない。
若者へのバックアップが足りない。
活躍できるところが少ない。
年齢や障害の有無にかかわらず住みやすいかもしれないが、活躍はしていない。
様々な事業を行っているのはわかる。しかし、例えば緊急短期入所などの制度があっても、機能していないものもたくさんあるため、まずは既存の制度を充実させてほしい。
私の住んでいる地区には、急な坂が続いているにも関わらず、今も昔もバスが通っていない。高齢者が増えるにあたり、設置検討願いたい。
これだけですか？と思った。

※回答末尾に記載のn 値は5以上のもののみ記載

【30 歳代】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというと言くなっている」

主な回答理由 (n=23)
障害者雇用の方と一緒に、お仕事するようになり、それが、あたりまえとを感じるようになったから。(n=7)
障害を持った人達の施設や働く場所が目につく場所に思い当たるので良い方なのかと思う。(nは同上)
以前と比べ女性や障害のある人が働いている姿を見る業種が増えている。(nは同上)
ショッピングプラザ等で、ハンディをおもちの方が出店されている光景を見たから。(nは同上)
市役所などで障害のある方が働いている所を見たため。(nは同上)
地域をみていても、いろいろと活動をしている。
ボランティア活動が活発になっている。
以前に比べ、老人ホームが増えたから。
介護施設や、そういった活動は多いと思う。
各施設のバリアフリー化がすすみ、大変利便性に配慮されたまちになってきていると思う。
駅などは大分マシになってきた。
活動が出来る場がある。
以前よりは理解が増えたと思う。
支援体制が整えられている感じがするため。

「④あまり思わない、どちらかというと言くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=9)
起伏の激しい住環境は高齢者等に不便。
バリアフリー化されていないハード面が多い。
企業数が少ない。
町内会、自治体の一体制がない。
やはりまだ偏見があるように思う。
行政の方達の障害者に対する対応は良くない。
障害のある人(途中でなった人)のケアをもっと確立させてほしい。
主婦が、もっと社会に出ていきやすい環境を整えてほしい。

※回答末尾に記載のn 値は5以上のもののみ記載

【40 歳代】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというよくなっている」

主な回答理由 (n=20)
障害者の受け入れや、高齢者に考慮されていると思う。
障害者の働く店が近所にあるから。
ノンステップバスなど、ベビーカーの時、以前より乗り降りしやすくなった。
以前より各種設備が増えてきた気がする。
地域活動支援センターが充実している。
年を取っても不便に思わないから。
タクシーはよくみかける。
米軍と仲良くしていると思う。
昔よりはイベントが増えた感じ。
以前よりは働きやすくなっている気がする。
高齢化社会になっていることから、よくなっていないと困るという意味を込めて「②どちらかというよくなっている」を選択。
高齢者に対しては…。小さな子どもはまだあまり。
グループホームの家賃助成があるのはよいが、借りていないと出ないなど、使いづらい面もある。しかし、あるということは助かる。
横須賀はボランティアが遅れている。何かボランティアをして良いポイントなどが付けば、親しい人もでき、命の輪が広がると思う。

「④あまり思わない、どちらかという悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=13)
どんな人でも就職先がない。
仕事の絶対量がきわめて少ない。
まだまだ、障害者が活躍できる場が少ない。
障害児童の教育に対して、あまり関心があるようには思えない（あまり個人の意見を聞いてくれない）。
生涯健康についてもスポーツ施設に使用料がかかりすぎる。図書館の開館時間が短い。
山（アップダウン）が多い。老人・障害者は大変。
障害のある方が優遇されすぎ。
一般市民には何もない。
掲げられている事業は基本ではないのか？

【50 歳代】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというよくなっている」

主な回答理由 (n=28)
他県出身の私としては、福祉において推進している内容は良いと思う。(n=9)
以前に比べれば、だいぶ体制が出来たと思う。(nは同上)
補助事業については賛成である。ただし、「ただ」はダメ。(nは同上)
障害者の方の作業所がたくさんある。
介護施設等が増えてきている。市民健診も充実していると思う。
バリアフリー、健康づくりなどの取り組み。
バリアフリー化にノンステップバスなどから、徐々にではあるが進んでいると思う。
障害者施設や介護施設、バリアフリー化が評価できる。
周りの人々の（活動に）参加している様子が感じられる。
シニアでも市民大学講座など充実した自己啓発の機会がある。
防災訓練の内容が良くなっている。
障害のある方の外出が多くなっているような気がする。
電車やバスで車イスの乗降を手助けする職員の方を、よく見かけるようになった。
限定で改善されている。
整備はされているが、まだまだ充分でないように思われる。

「④あまり思わない、どちらかという悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=26)
市内での雇用される企業が少ない。働く場所がない。(n=5)
活躍できる職場が少ない。(nは同上)
企業、誘致、地場での活力低下、対応が不足している。(nは同上)
若い世代はわからないが、中年以上の人の雇用は少ない。(n=5)
就職についてはまだ差別化があると思う。(nは同上)
年齢はむずかしい。企業が決めているので。(nは同上)
障害者雇用する会社が少ない。(nは同上)
うつ病で苦しんでいる子ども（成人）がいるが、何もしてくれない。
障害者の就労支援等、不十分な点が多い。
転職がないため。
政策はかかっているが、見体性に欠ける。
まだまだバリアフリーじゃないところが多い。
まだまだ差別は感じる。
周りの人を見ても生活は変わっていない。
学校の施設開放は以前からされているが、結局毎回同じ団体が利用し、他が入り込むことが難しい。また、放課後、子どもたちが校庭で安心して遊べないなど問題がある。
高齢化が進んでおり、雰囲気はどちらかという暗い感じがするので、誰もが活躍出来る感じではない。
バス通りの整備や、ノンステップバスも増えているが、バスの本数も少なく、バス停に下りるまでの道が危ない。高齢者は活躍できない。
高齢化によりもっと起業が増える（ビジネスチャンス）かと思ったが、そんな感じがしない。
誰もが活躍できるということはありません。

※回答末尾に記載のn 値は5以上のもののみ記載

(2) 2-2 安全で安心なまちづくり

【追浜・田浦地域】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというよくなっている」

主な回答理由 (n=21)
トンネルの補強工事を見かける。
急傾斜地の対策をしている。
各種の災害対策や災害関連、情報提供の充実化が進んでいると思う。
地域の通学路が改善された。
ノンステップバス等が多いから。
犯罪が少ない。
根拠はないが、体感治安は良くなっているのではないかな。
防犯メールは良い。
浮浪者、不良少年が減った気がする。
地域でのパトロール等が増えている。
地域のイベントの際に、近くの小学校のPTAがパトロールをしているのを見たことがある。普段はやっていない。
新聞や広報に掲載された色々な事件の注意点等が、回覧で伝わっているのではないかな。
基地問題マイナス点をカバーしている。
米国の基地があるわりには事件等が少ない。
外国人が多くいる割には、のんびりした雰囲気はあるが、時々事件が起こると横須賀の怖さを知る。

「④あまり思わない、どちらかという悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=40)
米軍基地があることにより他より危険である。(n=9)
ベースがあり、いつ何が起きるかわからない。(nは同上)
原子力事故が発生したら避難が困難。(nは同上)
北朝鮮のミサイルの的にされたり、ベースがらみの事件も多い。(nは同上)
外国人に対するきまりが甘すぎると思う。安全とは思わない。(n=6)
米軍の一部の人の行動。(nは同上)
三崎、浦賀など、中央に比べて、田舎の町だとまだ、まだ、治安が悪い。(n=5)
中央付近キャバクラの客引き多すぎる。(nは同上)
ニュースなどでも横須賀が出ているのを見る。(nは同上)
違法駐車が以前よりひどくなっている。
近年、国道、旧道(裏道)どちらからも出入りできる店舗が増え、危ない。
急坂や階段が多い土地。
1本裏道に入ると、外灯が少なくてこわい。切れてもすぐには交換されない。
急病になっても入院する病院が満杯と言われる。
空家も増えてきている。
アメリカの基地があって生活しているのはもう当然のように、仲良くやらなければ横須賀には住めない状態。安全については不安。
沖縄のような横須賀になってほしくはない。ドルで買い物できる町や市になってほしくない。ドルで買い物できるということは、他国の通貨もゆるすことにつながるから。多国籍文化モラルの混乱が始まるから。
もっと海外の方との交流を推進する場を作るべき。
安全安心なまちはどこにもありえない。

※回答末尾に記載のn値は5以上のもののみ記載

【本庁・逸見地域】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというよくなっている」

主な回答理由 (n=26)
重点事業が実行されている（全てではないが）。
護岸工事等しているのをよく見る。
道路のカラー化はいいと思う。
救急医療体制などありがたい。
市民健診など助かる。
温暖で治安も安定しているし、災害などもあまりなく、住みやすい方だと思う。
東京などより事故が少ない。
横須賀警察署と米軍基地の警邏のおかげで、改善されつつあると思っている。
パトロールしている人たちをしばしば見かける。これはよい事だと思う。
地域に防災訓練がある。
近所の人たちと、しばしば話をされている方が多いようだ。何か近くで異変があれば知らせてくれる。安全。
ベースの方の門限時間が早くなったため。
数十年間続いた旧態依然とした中央の市街地が、古い建物から新しく生まれ変わるのを、前進しているように思う。
ベースがあり、関係する問題を抱えているから。
谷戸が多くて、山、坂も多く、高齢者は住みにくいと思う。
高台に住んでいるので、周辺に危険とされているところがある。

「④あまり思わない、どちらかという悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=33)
犯罪が多くなっている様子。(n=8)
駅のアーケードに浮浪者が2、3人いて気味が悪い。(nは同上)
不審者がとても多い。夜道は危険に感じる。(nは同上)
基地、原子力発電所、海に近い、自衛隊等、不安材料も多い。(n=7)
横須賀が、北朝鮮のミサイルの標的になっている。(nは同上)
ジョージ・ワシントンが入港する。久里浜にGNF-Jあり。(nは同上)
車が多い。
人、車、自転車道路に関しては安全とは言えない。危ない道は多いと思う。
地震、公共設備の老朽化等、緊急の課題が多いはず。
弟の通学路のトンネルが暗くて古いので、安全な町とは思わない。
山、トンネルが多い。
外灯も少ない。津波ハザードマップに避難所ものせたらよいのに…。
予算がないとの理由で重点事業が出来ていない。
アメリカ海軍基地の若い外人による事件が起こるのが怖い。
外国人が多く、米軍の事件も多いから。
お巡りさんの巡回も減ったし、不良は相変わらずのさばっている。
救急医療について安心ではいられない。大きい病院が少なくなり病床が足りない状態だよね！これからもっと病床が足りなくなるのは確かな事。救急医療センターをもう1カ所くらい増やしてほしい。市内で1カ所では、遠くて行けない人もいる。
市民生活に安全が一番大切。安全に市は予算を増加すべきである。
あまりにも警察に頼りすぎ。市は各自治会に資金を出し、各自治会と警察の協力体制の確立の強化を。
・長浦町1丁目に16号線を渡るために歩道橋があるが、エレベーターがないため、歩行者横断できない交差点を渡る人が後をたたない。高齢者、ベビーカーが安心して横断できるようにしてほしい。
・歩道が車道に傾いていて歩きにくい。歩道は、歩行者を優先して整備してほしい（車の出入りのために凸凹がたくさんあり、歩きにくい）。

※回答末尾に記載のn 値は5以上のもののみ記載

【大津・浦賀地域】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというよくなっている」

主な回答理由 (n=48)
自然災害に対する防災が充実している。(n=10)
東日本大震災を経て、津波対策や地震対策に力を入れていることが感じられるので。(nは同上)
防災計画等充実しつつあるから。(nは同上)
海の町、基地の町だが、護岸道路を作り、災害対策ができた。(nは同上)
ハザードマップの配布など。(nは同上)
学校の耐震化。(nは同上)
治安が良い方だと思うから。(n=8)
深夜の横須賀駅周辺の環境(防犯・警備)は少し改善されたと感じる。(nは同上)
10年前まで横須賀と言えば、不良少年の町だったが、今はそんな事もない。(nは同上)
ゲームセンターの出入り制限などあるから。(nは同上)
ネガティブかも知れないが、繁華街が少なく、また小さいので、かえって安心感がある。(nは同上)
不安感なく暮らせているので。(n=5)
のびのびと過ごせていると思う。(nは同上)
声を掛け合い、助け合っている。
防災訓練等、以前より活発に行われている。地域での防犯パトロールなども…。井戸の整備。
地域のパトロールや自主防災訓練などを実施しているから。
小学生の下校時間に、交通整理をしていて、地域のつながりを感じる。路側帯のカラー化は、すごく良いと思う。
交通用具、歩行者共に安心して通行できるバリアフリーや、信号の見直しなど行っているから。
ドブ板通りの状況変化を見て。
米軍、自衛隊ともに規律保持に以前にも増して努めている感じがするので。
119番が早くなった。
医療体制は向上していると思う。
「②やや思う」としたが、しかし、泥棒が入ることが多いので、もっと安心して留守にできるようにしてほしい。
良いまちだと思うが、やはり米軍の存在がまだ怖いところがある。
横須賀中央、汐入あたりの治安がもう少しよくなれば。

※回答末尾に記載のn 値は5以上のもののみ記載

「④あまり思わない、どちらかというと悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=89)
米兵の事件や、通学路の不審者等多く感じる。(n=18)
盗難等などが、多発していると聞く！(nは同上)
若者中心に、素行の悪い人が多い。(nは同上)
犯罪・事件の状況を見て、特に安全とは思えない。(nは同上)
横須賀での事件のニュースが多い。(nは同上)
街に若者がたむろっている(深夜ナド)。(nは同上)
この冬、ダウンコートの背中を刃物で切られた。(nは同上)
米軍基地の存在。(n=13)
米軍が悪い訳ではないが、基地があるから北朝鮮から(狙われ)攻撃されやすい。(nは同上)
ニュース等での外国人の事件の面では、やはり安心とは言えないと思う。(n=5)
地元住民が減って、他からの移住が増えている&外国人が多いから。(nは同上)
道が狭くあまり整備されていないので、歩きにくい。
海っぺりが多く地震の際の津波や避難経路にとっても不安がある。道がどこも狭いので…。
歩道がせまい所が多い。小学校の通学道が車の通りが激しい。
防災、崩壊対策事業の箇所は公平でない。
崖の対策をしてほしい。
海や山の災害のリスクは高いと思う。
地形的には海に囲まれているし、地震にも弱いので。
高いところでの救急車、消防車の進行不可能。
市の指導力がなく、安全が確保できずに、新地主も放置して、荒れ放題の危険な土地になっている。
我家の裏の谷戸も不正埋立を市に何度も訴えてもありきたりの指導しかなく、現状は土砂崩れが起こるような状況で、いかに行政の指導がいいかげんであるかを実感している。危険な状況である。
夜間のパトロールなどが少ない。
公園で(小さい)子ども達がサッカー等していると強めのボールがとんでくるので、小さい子どもは遊ばせられない。小学校低学年のキック力でも相当なものだ。
ゴミ処理場や工場が多い町だと思うので、小児喘息の多い町と聞いた事がある。
特に駅前が寂れている(JR)。京急との連絡通路をつくる。JRに駅ビル(ルミネなど)をつくる等してほしい。
公務員は車を使わず自分の足で歩いて生活者の気持ちを汲みとる努力が欠落。市職員、警察官、消防職員、議員等。

※回答末尾に記載のn 値は5以上のもののみ記載

【久里浜・北下浦地域】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというよくなっている」

主な回答理由 (n=28)
不安を感じたことがないから。(n=10)
20年以上住んでいるが、家族全員無事に暮らせている。(nは同上)
住みやすいと感じているから。(nは同上)
地震、災害対策は進んだ。(n=8)
津波マップが作られていたりするので。(nは同上)
以前より、大雨で崖が崩れなくなっている。(nは同上)
海拔17mと書いてあり、県のたより・市の広報を見ても安心だと思うが？(nは同上)
ハイランドetc…一部のガケや急傾地や防災は強化されてきていると感じる。津波対策の訓練も増えた？(nは同上)
津波対策の海拔表示。津波避難場所（イオン久里浜店）の決定。(nは同上)
崖の工事などは良くやっている方だと思うが、グループホーム・デイサービス事業は前より増えている気がする。
犬の散歩をしながら、防犯パトロールをしている姿を見かける。
町内会の努力で防災訓練等が行われていて、たのもし。
治安の良さを実感するから。
空き巣が減少。
防犯がしっかりしている。
警察、消防体制が備わっている。
他の市よりも平和な気がする。
横浜や東京と比べると安全かと思う。
ベースがあるが、特に大きな危険だと感じない。
大きな災害がないこと。
この事業が実施されていることが目に見える。
震災後の海沿いの津波の訓練は、とても参考になった。たまにまたやってほしいと思う。救急医療センターは移転すると今より家から遠くなるので、それが残念。
通学路の整備と、地震への対策がまだ不十分？！避難経路も今のところハッキリわからずじまい。
（要望）警察署を浦賀よりも、久里浜以南の住宅地に近い場所においてほしい。
在住地に危険の多い場所もある。まだまだ安全で安心な町とは一応に言えない。
崖崩れを起こしたところの工事が全く進んでいない（半年以上）。

※回答末尾に記載のn 値は5以上のもののみ記載

「④あまり思わない、どちらかというと悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=39)
夜とか暴走族みたいな人がいっぱいいて怖いから。(n=7)
この地に住んで20年、半径100m内で自殺・交通事故5回以上。また、変質者が多い事にもびっくりしている。(nは同上)
夜間の暴力事件での入院件数におどろいた。(nは同上)
犯罪が増えた。ニュースにあがってくる。(nは同上)
災害に対する備えが今ひとつ実感できない。(n=5)
医療センター移転で、地震の時、津波が来たら拠点がなくなる。開国橋の耐震は良いが、工事が夜間で住民は騒音に悩まされた。(nは同上)
崖崩れが多い。(nは同上)
津波の問題が騒がれているのに、久里浜台の避難場所が久里浜小学校。高坂小学校への変更を町内会が申し出ても市が変更を認めない。(nは同上)
外国人が多い(近所)。自治体も住宅に誰が住んでいるのかわかっていないと聞いたこともあるので不安。
米兵関連の事件が多くなっていると思う。
外国の方も暮らすようになり、治安が悪くなっている。
いつも頭の中に基地の町と思う。
北朝鮮の件から。
外灯が少ない。
以前とどこも変わらないし、暗くても安心して歩けるとは思えないので、防犯カメラがあったらと思うてしまう。
夜道で危険と思われる場所、暗い通りが多い。
横浜横須賀道路の電灯が少なすぎる。災害対策を行政がどのように考えているのか、講習会などの機会をもっと増やしてほしい。
基地や核に対して、方針を示していない。
地震、津波対応について、対策がとられている・いないさえ、伝わってこない。
救急医療体制の充実を。
救急病院が少なすぎる。移転とかの問題ではないと思う。
高齢化に伴い、コミュニティーの絆が弱くなってきた。
人と人とのつながりが、希薄になってきているから。
通学路を整備しても、そこを通る児童が危険な歩行をしているから無意味。
交通ルールを守らない。
警察官の方々に、事件を未然にと、通報しても取り扱ってくれなかったりする。
通学路の歩道設備が困難な道路は、路側帯のカラー化ではなく、車両の通行を制限した方が安全！！我が子が通っている通学路は、駅近くな事もあり危険な場面が多い。
特に交通関係の方々は、事故をマニュアル化して取り扱う。非常に残念な思いがある。
自然豊かな街である一方で、景観がどんどん人工的になってきている。
土地が無くなってきて段々色んなところに家ができたりしている。

※回答末尾に記載のn 値は5以上のもののみ記載

【西地域】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというとよくなっている」

主な回答理由 (n=22)
各町内会でも、防犯ビデオの設置等が増加しているため。
地域で高齢者がボランティアなどで活やくしている。とても心強く感じる。
町内会でも安全・安心に心掛けている。
地域の防災意識が高まっている。
実感として周囲で凶悪犯罪や事故などが、ほばない。
家の鍵をかけない。
交通環境等がしっかりしている。
通学路にグリーンベルトができた。
A E Dなどの数が多くなった。
救急対応の病院受入れができていると思う。
警察がしっかりしている。
全国的にみて安全なのは。
交番などにおまわりさんがいない事が多い。
基地の町の側面、リスクがある。

「④あまり思わない、どちらかという悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=31)
セキュリティーに入っている地区内においても、自転車の盗難があったり、路上駐車等が多い。(n=14)
空き巣等の被害が割と多い(周りで)。(nは同上)
コンビに強盗や、車などの事故が多い。(nは同上)
若年者の事件が多い。(nは同上)
近くの1人住まいの家に泥棒が入ったと聞いている。不安。(nは同上)
ベースがあるから。(n=7)
北朝鮮のミサイルが狙っているらしい。活断層がたくさんある。(nは同上)
原発問題などで、揉めているから。(nは同上)
G N F - J や基地での安全対策はどこまで把握できているか不安。(nは同上)
米兵の問題。
景気の悪さがあるのでは。
不景気だと犯罪が増える。
駐在のお巡りさんがいなくなり、頼れる存在が無くなった事と、住人同士の関係が希薄になっている。
空き家、空き地がそのまま。
無駄な工事が多く、必要なことをやってない。
社会貢献の場が悪い(少ない)。

※回答末尾に記載のn 値は5以上のもののみ記載

重点プログラム3 『環境を守る』

～人と自然が共生するまちづくり・地球環境に貢献するまちづくり～

1 取り組みの方向性の傾向（3-1地域別／3-2年齢別）

（1）3-1 人と自然が共生するまちづくり

【調査結果のポイント】

- ・今回調査のDIは、「現在について」「以前との比較」とともに、全ての地域でプラスで、特に「久里浜・北下浦」地域の値が高い。
- ・前年度調査との比較では、「現在について」における「大津・浦賀」地域で唯一、差がマイナスとなったが、DIは高い値で推移している。
- ・平成23年度調査との比較で、DIに最も上昇がみられたのは「以前との比較」における「西」地域で、26.1ポイントの大幅な上昇となっている。
- ・一方、「追浜・田浦」地域は、唯一、「現在について」「以前との比較」のいずれも差がマイナスとなった。

図表5 3-1 「人と自然が共生するまちづくり」の状況（地域別：H25-23年度比較）

【現在について】

居住地域	調査年度	件数(人)						(ポイント)	
			①思う+②やや思う (a)	③どちらともいえない	④あまり思わない+ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年度比	25-23年度比	
追浜・田浦	25年度	76	64.5	11.8	23.7	40.8	24.1	▲ 0.7	
	24年度	72	51.4	13.9	34.7	16.7	▲ 24.8		
	23年度	77	67.5	6.5	26.0	41.5	—		
本庁・逸見	25年度	105	72.4	15.2	12.4	60.0	11.9	8.5	
	24年度	135	65.9	16.3	17.8	48.1	▲ 3.4		
	23年度	130	70.0	11.5	18.5	51.5	—		
衣笠	25年度	95	65.3	17.9	16.8	48.5	14.9	▲ 3.3	
	24年度	107	60.7	12.1	27.1	33.6	▲ 18.2		
	23年度	112	68.7	14.3	16.9	51.8	—		
大津・浦賀	25年度	159	67.3	13.8	18.9	48.4	▲ 5.6	4.2	
	24年度	163	71.2	11.7	17.2	54.0	9.8		
	23年度	163	64.4	15.3	20.2	44.2	—		
久里浜・北下浦	25年度	155	69.7	18.1	12.3	57.4	3.6	▲ 1.3	
	24年度	169	70.4	13.0	16.6	53.8	▲ 4.9		
	23年度	143	74.8	9.1	16.1	58.7	—		
西	25年度	78	71.8	11.5	16.7	55.1	0.9	12.7	
	24年度	59	69.5	15.3	15.3	54.2	11.8		
	23年度	78	65.4	11.5	23.0	42.4	—		

【以前との比較】

居住地域	調査年度	件数(人)				(ポイント)		25-23年度比	
			①よくなっている+ ②どちらかという よくなっている (a)	③変わっていない	④どちらかという 悪くなっている+ ⑤悪くなっている (b)	DI (a)-(b)	前年度比		
追浜・田浦	25年度	67	38.8	41.8	19.4	19.4	19.4	▲ 3.0	
	24年度	66	26.9	30.8	26.9	0.0	▲ 22.4		
	23年度	67	46.3	29.9	23.9	22.4	—		
本庁・逸見	25年度	89	44.9	43.8	11.2	33.7	5.7	8.3	
	24年度	118	39.9	30.8	11.9	28.0	2.6		
	23年度	118	41.5	42.4	16.1	25.4	—		
衣笠	25年度	82	47.6	39.0	13.4	34.2	19.1	14.7	
	24年度	93	44.1	26.9	29.0	15.1	▲ 4.4		
	23年度	103	41.8	35.9	22.3	19.5	—		
大津・浦賀	25年度	146	45.9	32.9	21.2	24.7	6.2	5.1	
	24年度	138	38.3	24.6	19.8	18.5	▲ 1.1		
	23年度	148	47.3	25.0	27.7	19.6	—		
久里浜・北下浦	25年度	138	53.6	34.8	11.6	42.0	19.1	9.7	
	24年度	141	37.6	30.6	14.7	22.9	▲ 9.4		
	23年度	124	50.8	30.6	18.5	32.3	—		
西	25年度	66	45.5	37.9	16.7	28.8	15.6	26.1	
	24年度	53	32.1	49.1	18.9	13.2	10.5		
	23年度	72	30.5	41.7	27.8	2.7	—		

居住地域	現在について			以前との比較		
	DIの推移 (23年度 → 24年度 → 25年度)	年度差と状況		DIの推移 (23年度 → 24年度 → 25年度)	年度差と状況	
		対23年度	対24年度		対23年度	対24年度
追浜・田浦	41.5 → ▲ 24.8 → 40.8	▲ 0.7 変化なし	24.1 大幅に上昇	22.4 → 0.0 → 19.4	▲ 3.0 大きな変化なし	19.4 大幅に上昇
本庁・逸見	51.5 → ▲ 3.4 → 60.0	8.5 上昇	11.9 大幅に上昇	25.4 → 28.0 → 33.7	8.3 上昇	5.7 上昇
衣笠	51.8 → ▲ 18.2 → 48.5	▲ 3.3 大きな変化なし	14.9 大幅に上昇	19.5 → 15.1 → 34.2	14.7 大幅に上昇	19.1 大幅に上昇
大津・浦賀	44.2 → 9.8 → 48.4	4.2 大きな変化なし	▲ 5.6 低下	19.6 → 18.5 → 24.7	5.1 上昇	6.2 上昇
久里浜・北下浦	58.7 → ▲ 4.9 → 57.4	▲ 1.3 変化なし	3.6 大きな変化なし	32.3 → 22.9 → 42.0	9.7 上昇	19.1 大幅に上昇
西	42.4 → 11.8 → 55.1	12.7 大幅に上昇	0.9 変化なし	2.7 → 13.2 → 28.8	26.1 大幅に上昇	15.6 大幅に上昇

(2) 3-2 地球環境に貢献するまちづくり

【調査結果のポイント】

- ・今回調査の DI は、「現在について」「以前との比較」とともに全ての年齢層でプラスで、高い値となっている。
- ・中でも、「現在について」「以前との比較」とともに DI が最も高いのは、「70 歳以上」である。
- ・前年度調査と比較して、「現在について」「以前との比較」とともに差がマイナスとなったのは「50 歳代」で、特に「以前との比較」では大幅な低下がみられた。
- ・平成 23 年度調査との比較で最も上昇がみられたのは「現在について」の「40 歳代」(21.3 ポイント)である。一方で大幅な低下がみられたのは「以前との比較」の若年層で、「29 歳以下」「30 歳代」が 20 ポイントを超える大幅な低下となった。

図表 6 3-2 「地球環境に貢献するまちづくり」の状況（年齢別：H25-23 年度比較）

【現在について】

年齢階層	調査年度	件数(人)						(ポイント)	
			①思う+②やや思う (a)	③どちらともいえない	④あまり思わない+ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年度比	25-23年度比	
29歳以下	25年度	64	48.4	25.0	26.6	21.8	6.6	7.7	
	24年度	79	46.8	21.5	31.6	15.2	1.1		
	23年度	78	44.9	24.4	30.8	14.1	—		
30歳代	25年度	69	49.3	29.0	21.7	27.6	29.1	6.1	
	24年度	68	39.7	19.1	41.2	▲ 1.5	▲ 23.0		
	23年度	93	50.5	20.4	29.0	21.5	—		
40歳代	25年度	76	40.8	30.3	28.9	11.9	▲ 1.7	21.3	
	24年度	103	37.9	37.9	24.3	13.6	23.0		
	23年度	107	30.8	29.0	40.2	▲ 9.4	—		
50歳代	25年度	119	48.7	26.1	25.2	23.5	▲ 0.5	8.6	
	24年度	121	47.1	29.8	23.1	24.0	9.1		
	23年度	115	45.3	24.3	30.4	14.9	—		
60歳代	25年度	148	53.4	23.6	23.0	30.4	1.1	10.7	
	24年度	133	52.6	24.1	23.3	29.3	9.6		
	23年度	132	44.7	30.3	25.0	19.7	—		
70歳以上	25年度	125	56.8	22.4	20.8	36.0	19.2	14.4	
	24年度	125	45.6	25.6	28.8	16.8	▲ 4.8		
	23年度	129	45.7	30.2	24.1	21.6	—		

【以前との比較】

年齢階層	調査年度	件数(人)				DI (a)-(b)	前年度比	25-23年度比	(ポイント)
			①よくなっている+ ②どちらかという よくなっている (a)	③変わっていない	④どちらかという 悪くなっている+ ⑤悪くなっている (b)				
29歳以下	25年度	46	39.1	43.5	17.4	21.7	▲ 7.4	▲ 21.4	
	24年度	55	41.8	45.5	12.7	29.1	▲ 14.0		
	23年度	51	52.9	37.3	9.8	43.1	—		
30歳代	25年度	52	32.7	53.8	13.5	19.2	6.1	▲ 20.0	
	24年度	46	28.3	56.5	15.2	13.1	▲ 26.1		
	23年度	79	46.8	45.6	7.6	39.2	—		
40歳代	25年度	62	41.9	54.8	3.2	38.7	8.3	8.5	
	24年度	89	37.1	56.2	6.7	30.4	0.2		
	23年度	96	39.6	51.0	9.4	30.2	—		
50歳代	25年度	109	45.9	42.2	11.9	34.0	▲ 11.4	4.0	
	24年度	99	52.5	40.4	7.1	45.4	15.4		
	23年度	107	42.1	45.8	12.1	30.0	—		
60歳代	25年度	135	50.4	42.2	7.4	43.0	0.9	9.3	
	24年度	128	48.4	45.3	6.3	42.1	8.4		
	23年度	122	48.4	36.9	14.7	33.7	—		
70歳以上	25年度	117	53.8	38.5	7.7	46.1	5.4	1.1	
	24年度	118	48.3	44.1	7.6	40.7	▲ 4.3		
	23年度	120	51.6	41.7	6.6	45.0	—		

年齢階層	現在について			以前との比較		
	DIの推移 (23年度 → 24年度 → 25年度)	年度差と状況		DIの推移 (23年度 → 24年度 → 25年度)	年度差と状況	
		対23年度	対24年度		対23年度	対24年度
29歳以下	14.1 → 15.2 → 21.8	7.7 上昇	6.6 上昇	43.1 → 29.1 → 21.7	▲ 21.4 大幅に低下	▲ 7.4 低下
30歳代	21.5 → ▲ 1.5 → 27.6	6.1 上昇	29.1 大幅に上昇	39.2 → 13.1 → 19.2	▲ 20.0 大幅に低下	6.1 上昇
40歳代	▲ 9.4 → 13.6 → 11.9	21.3 大幅に上昇	▲ 1.7 変化なし	30.2 → 30.4 → 38.7	8.5 上昇	8.3 上昇
50歳代	14.9 → 24.0 → 23.5	8.6 上昇	▲ 0.5 変化なし	30.0 → 45.4 → 34.0	4.0 大きな変化なし	▲ 11.4 大幅に低下
60歳代	19.7 → 29.3 → 30.4	10.7 大幅に上昇	1.1 変化なし	33.7 → 42.1 → 43.0	9.3 上昇	0.9 変化なし
70歳以上	21.6 → 16.8 → 36.0	14.4 大幅に上昇	19.2 大幅に上昇	45.0 → 40.7 → 46.1	1.1 変化なし	5.4 上昇

2 回答理由（3－1年齢別／3－2地域別）

（1）3－1 人と自然が共生するまちづくり

【追浜・田浦地域】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというときよくなっている」

主な回答理由 (n=36)
海も山もあり、大きな公園なども多数あると思う。(n=14)
多様な生態系がみられる貴重な自然が残された、すばらしいまちだと思う。(nは同上)
空気はきれいなので、そのままいてほしい。(nは同上)
以前よりも、整備された公園などが増えた気がするから。(n=5)
海辺つり公園の整備。山のガイドツアーが増えた。(nは同上)
やはり公園の整備、ベイサイドの整備、護岸の整備で共生していると思う。
エコツアーの実施がよい。
リサイクルに関する啓発を行っている。
緑化やまちの清掃が進んでいると思う。
道に落ちているゴミが少なくなったから。
清掃が行き届いている。
海の水のきれいさや緑化、里山的環境。
横浜にくらべて海とふれあえる所が多い。
海や山が身近にあり、自然に触れる機会が気軽に思えるから。
ソレイユの丘・新しいマーケットなど。
公園etc、高齢者の人々が、清掃されたり花など植えたり、自然と共に接しているよう。
進化はあまりない。

「④あまり思わない、どちらかというとき悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=16)
マンション建設のため、少しずつではあるが山々が切り崩されて、緑が減ってきている。(n=9)
デベロッパーの乱開発が多い。(nは同上)
マンションが増えすぎ（追浜地区）。(nは同上)
自然がすこし、こわされていく。
エコクラブなどの活動について子どもを通しての情報が少ない。観音崎などPRは少ない。
東京湾よりは用地がないのか進んでいない。
道路が狭い。
20年後、30年後のスラム化が心配。
これ以上、自然をこわさないよう。
人が少なく、開発する必要のなかった山が残っているだけという現状。世界の諸都市に提案できる「共生」のスタイルを目指すべき。

※回答末尾に記載のn 値は5以上のもののみ記載

【大津・浦賀地域】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというときよくなっている」

主な回答理由 (n=46)
海や丘陵に恵まれ、緑が豊富で気候が温暖である。(n=21)
山(緑)が多い。(nは同上)
緑豊かな横須賀、大好き。(nは同上)
緑の多いまち。まだまだキレイな海が残っている。(nは同上)
山、海、自然を大切にし、誇りにしている。(nは同上)
観音崎やうみかぜ公園などの整備。(n=6)
つり公園や観音崎など公園が多い。(nは同上)
花の国や公園等が多いと思う。(nは同上)
馬堀海岸の散歩コース、ジョキングコース等は、若い人、高齢者たち、たくさんの人たちの体力づくりに役立ってとっても良いと思う。(nは同上)
公園整備が進んだと思うから。(nは同上)
あまり手を加えず、自然のまま保全されている。(n=6)
エコツアー実施。緑地保全。(nは同上)
町にゴミも少なくとても美しいところだと思う。(nは同上)
海や森林を大切にしていると思う。(nは同上)
ソレイユの丘など新しい施設ができているから。
平成町や走水、観音崎など、自然を有効活用して遊べる場所があるから。
災害、犯罪対策に対処する考案を手がけている感じを受ける。
傾斜地等の対策が進んでいる。
みどりが多く、その中で共生しているから。
地形からみても、全くその通りだと思う。
適度に田舎。
広報の充実化。
美しいもの。私の町。
海と山を大切に！
横須賀というのは、どちらかと言うと谷戸の町なので、対策が必要と思う。
震災関連ゴミ処分の件はどうなったのか？一部の反対派の声などにまどわされず、このようなことを進められなければ、自然との共生もなにもない考える。
自然が少し足りないような気がする。
だんだんと自然が減ってきている。
そのように感じた事がない。

※回答末尾に記載のn 値は5以上のもののみ記載

「④あまり思わない、どちらかというとも悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=39)
かなり山など切りくずし、住宅を造っているから。(n=14)
馬堀海岸駅周辺の山が、現在削られているから。(nは同上)
山が切り出され、緑が減っている。今後は風の抵抗をうけたり、大雨が降り続けた時、崩れる可能性があると思う。個人の持ちものだからしょうがないが。(nは同上)
開発業者による宅地開発を優先している。(nは同上)
海の近くや木々を切り倒し、マンション等ができた。(nは同上)
共生なんてしていないと思う。造成され自然が壊されている。(nは同上)
行きあたりばったりな開発が多いように思う。(nは同上)
大楠山に登れば、緑が数年前より少なくなっているのはわかる。(n=5)
山林が減ったから。(nは同上)
緑地が減少していると思う。(nは同上)
公共投資をして森や緑を守っていない。(nは同上)
道の桜の木の保全や公園の樹木の量が少ない。
安全対策とはいえない…。急傾斜地の防災工事で緑が減っている。
一時の整備から停滞している感じ。
もう少し街に緑がほしい。
目に見えるものがない。
都市に比べると、有効土地はあり、自然も残っているのに、行政が行う催しや企画が殆どない。
自然や環境を守っている取り組みがよくわからない。
以前の方が良かった。
以前の方が自然が多かったと思う。
地区によって、思えない場所もある。
地区のみで全体的でない。
ゴミなどが目立ってしまっている。
市の人口は年々加速して減少。働く場がないのでは、更にこの傾向は続き労働人口に歯止めがきかなくなる。
山の多い町で年を重ねて住みにくくなっている人が多いので、大規模に車が上がる道を整備しないといけない。
市と大きな不動産会社とで道をつくって、住宅地をつくり直さないと、住みにくい山が多い。
環境を考える時、横須賀は、米軍基地と自衛隊と市民の共在を第一に思う。
市民には知らされていない基地や自衛隊の諸々の拡張、変値があるのでは？
立入禁止看板が多く、柵越し風景では自然と共生は難しい。
共生するための企業等、何もない。

※回答末尾に記載のn 値は5以上のもののみ記載

【久里浜・北下浦地域】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというよくなっている」

主な回答理由 (n=72)
家のすぐ近くに、海も山もあり、桜の木がたくさんあるから。(n=29)
自然が美しく環境が良い。(nは同上)
自然も身近にありくらしやすいのは、今も以前もよいところだが、ベースがあるのがこわいのも変わらない。(nは同上)
三浦富士や、海がある。(nは同上)
海や山にかこまれ、すばらしい環境だと思う。が…比較すると、里山が減っているような気がする。昔よくいたタヌキやヘビもあまり見なくなった。(nは同上)
横須賀は自然に恵まれ、横浜より子ども(小学生)も体が大きいと北下浦の先生が言っていた。(nは同上)
都市部に比べれば、自然がたくさん残っていると思う。(nは同上)
他県に長期出張で横須賀の自然がありがたく感じた。(nは同上)
自宅周辺の自然が整備されている。(n=9)
活動や成果が実感される。(nは同上)
取り組みが良い。(nは同上)
休日のエコツアーをとときどき見かけるようになった。(nは同上)
市内の緑や水辺などは進んでいる。リサイクル等は余り進んでいない。(nは同上)
くりはま花の国やソレイユの丘等、施設整備に予算を向けている。(n=7)
花の街づくりで、公園など、散歩の出来る海岸が良い。(nは同上)
浦賀ドック周辺のプロムナード造りが進んでいる。(nは同上)
海近くの整備がされている。野比・馬堀。(nは同上)
海岸道路がすいせんの花でいっぱいになり、とても心がなごむ。(nは同上)
走水・猿島・ソレイユの丘(どれも交通不便ですが)行くと最高!!(n=7)
ソレイユの丘とか新しいところもいろいろ、久里浜緑地とか以前からあるところもそのまま存在していてそこは良い点。(nは同上)
横須賀らしさを崩さずに、特性を生かしているから。(nは同上)
花の国やうみかぜ公園などの自然を生かした、レジャー施設があるのがよい。(nは同上)
海も山もあり、それぞれ季節によってイベント等が行われているから。(nは同上)
横須賀に来た時から「みどりあふれる街づくり」市民講座も増えてきて、緑も増えたと思う。
「山ガール」ブームで、武山が三浦アルプスとして、ハイキング雑誌にたびたび紹介されている。
横須賀は住みやすい。
横須賀市はすばらしい町だと思う。
不法廃棄物などは減少傾向にあると思う。
工場が減って街がきれいになってきた。
無茶な土地開発が少なくなっている。
以前はかぶと虫がいなかったが、見るようになった。
自然を大切にしたい。
4～5年では変わっていない。
緑は多いが、(持ち主が売らなければいけない状況になり)宅地となっているところも多い。残念。
よくなっているとは思いますが、整備しすぎて、観光スポットのようになるのはあまりよく思わない。
自然と産業のバランスが悪い。

※回答末尾に記載のn 値は5以上のもののみ記載

「④あまり思わない、どちらかというと悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=17)
宅地造成で山が少なくなった。
山がこわされているから。
マンションを建てるために、海や山をなくすのは少し嫌である。
Y R Pによって豊かな里山が消失したと思う。
確かに保護もしているけれど、開発などによってなくなってもいるのでは？
このまま、開発が進むと、えらいことに。
身近な緑や、自然が減っているから。
開発で緑が少なくなっても、他に緑を増やしていない。
ボランティアの方々が花を植えたりしているところは見かけるのだが、その他は見たことがないので…。
自然はあってもなじめない。
緑地の開発の認可がいいかげん。
作られた自然ばかり。規則だらけで子どもは自由に遊べない。
4～5年前と比較すればわかる。海岸は整備されている。

【西地域】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというよくなっている」

主な回答理由 (n=26)
海あり、山あり、谷ありで自然が美しい。(n=8)
猿島等、自然はたくさん残っていると思う。(nは同上)
自然整備が進んでいる。(n=6)
みどりの基本計画は積極的。(nは同上)
自然を大事にしているほうだと思う。(nは同上)
以前はなんとなく混沌としていた。
地理的な立地条件。
ボランティアの清浄。
公共施設の充実。
いろいろなイベントを通じて思う。
観光する場所が整備されてきている。
自然を生活の生業としている人が多い。
家にいてとても落ち着く。
自然が豊かな横須賀を、もっと全国に向け、アピールする必要があるかとも思う。

「④あまり思わない、どちらかという悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=10)
風致地区や景観地にリゾートマンションが建設されるなど悲惨極まる。
ミニ開発や宅地造成で自然が泣いている。
自然が開拓されている。
今はもうカエルの声すらきかなくなった。
もっと自然公園がほしい。
人工的な物が増え、本来あった姿がなくなってしまったような…。
産棄物問題等、市民への周知が少ない。
市西部にゴミ処理施設が集中している。(計画中也含め) 環境差別がある。
県の震災がれきの受け入れを拒否してほしい。
重点地域を指定する。

※回答末尾に記載のn 値は5以上のもののみ記載

(2) 3-2 地球環境に貢献するまちづくり

【29 歳以下】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというとよくなっている」

主な回答理由 (n=18)
ゴミの分別をしていないと収集してもらえない程しっかりして、環境のためにすごく良いことだと思う。(n=5)
リサイクル事業に関しては力を入れているように思うので。(nは同上)
アイクルなど良いと思う。(nは同上)
東日本大震災の影響もあり、横須賀も節電ムードだった。このまま続いてほしい。
市役所の熱源設備から改善している点。
ゴミ拾いや掃除が増えたから。
あちこちでクリーン作戦を目にする。学校行事のひとつになっている。
小学生へのリサイクル学習は良いと思う。
横浜にくらべると、街中のゴミが少ないから。
火力発電所、風力発電などを行っているから。
ゴミ分別等のリサイクルへの意識は高まっていると思う。ただし、中には面倒がってちゃんと分別しない人も見受けられる。

「④あまり思わない、どちらかというと悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=11)
山がこわされているから。
いっぱい建物ができているから。
やはりゴミや不法投棄が目立つ。
ポイ捨てが多い。
数年で緑が少なくなっていると思う。
あまり目立った活動がないため、あまり思わない。気付かない。
西部地域に廃棄物処分場を造るなど。
エコツアーなどを増やしてほしい。More eco!!
自然がたくさんあるのだから、率先して自然エネルギー（風力、太陽光など）を取り入れるべき。
平成町方面の開発で多少は進んでいると思う。

※回答末尾に記載のn 値は5以上のもののみ記載

【30 歳代】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというよくなっている」

主な回答理由 (n=22)
ゴミの分別もきっちりしている。(n=9)
大きなクリーンセンターがあることやゴミの分別が細かくされている。(nは同上)
ごみのリサイクル関連施設などがあるから(アイクル)。(nは同上)
リサイクルプラザトライ R 事業を推進していると思った。(nは同上)
自治会などが活躍しているイメージがある。
町内の廃品回収などが、徹底している。
エコキャップなどの活動はよくされている。
小学校のゴミについての取り組みがよいと思った。
3 R の教育は、今や小さい子どもにも染みついている。(ベルマーク、プルトップは減ったけど)
自然も多く暮らしやすいと思う。
他の市よりお水がおいしい気がする。
街自体はキレイだと思う。
福島のゴミの受け入れ。
何度か久里浜の焼却施設が壊れた？時は不安だった。もっと大きな、不燃・可燃がいっぺんに出せる施設がほしいが、場所がないか？

「④あまり思わない、どちらかという悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=7)
環境対策が弱い(PV(太陽光発電)の補助金など)。
地球以前に町の環境が悪くなっているから。
地震対策、活断層への対応が何も出ていない。
格納庫はどう対応するのか。
福島県などのがれきを受け入れずに、地球環境に貢献など出来ないだろう。
リサイクル等しにくい環境だと思う。ゴミ処理施設が離れすぎ。

※回答末尾に記載のn 値は5以上のもののみ記載

【40 歳代】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというとよくなっている」

主な回答理由 (n=13)
他の地域と比べて、ごみ分別はすごいと思う。
ゴミの分別が他の都市より細かい気がする。リサイクルに力いれてる？
資源回収の意識が高まっている。
小学校でリサイクルプラザ見学へ行ってから、子どもがゴミの分別により興味を示すようになった。
小学生のリサイクル学習事業など良いと思う。
緑は多いと思う。
高層住宅の多い地区でも、樹木が多く、努力しているのはわかる。
地球環境問題があげられてから随分経つので、よくなっていないとおかしいので。
震災関連ゴミ処分の件はどうなったのか？一部の反対派の声などに惑わされず、このようなことを進められなければ、自然との共生も何もないと考える。
下水道使用料は、高いと思う。
まだ何かできそう。

「④あまり思わない、どちらかというと悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=13)
地球環境に貢献は、していないと思う。
貢献まではしていないと思う。
環境に貢献をする事をしているのかもしれないが、こちら側まで伝わってこない。
どこをどう貢献しているか分からない。
自然エネルギーの利用が少ない。
我が家は太陽光発電を備えているが、まだ少ない。
太陽光など利用する設備などは増えている訳でもないし…。
自分達のためのことしか行っていない。市民に直結することが乏しい。
費用対効果がわからない。
地域の活動が感じられない。
他市に比べて遅れていると思う。
原子力空母があるまちが、地球環境に貢献しているとは思えない。国防には貢献しているだろうが。
衣服などのリサイクルなど、例えば子供服、ベビーカー、机など不要なものを無料で他人に譲るシステムがない。自分が不要でも必要な人に譲りたい。粗大ゴミも市がリサイクルして売れば良いと思う。（雇用にもつながる）

【50 歳代】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというとよくなっている」

主な回答理由 (n=33)
ごみ、リサイクル等貢献していると思う。(n=12)
リサイクル資源ゴミの回収。(nは同上)
ゴミ分別も大分よくなってきた。(nは同上)
以前より、リサイクルしやすい仕組みになってきている。(nは同上)
リサイクルなど、年々改善されている。(nは同上)
リサイクルをPRされてきている。(nは同上)
リサイクル等に力をいれているのがわかるが、高齢化が進む中で今後、このままで大丈夫か不安。(nは同上)
ごみの広域処理化を支持する。(nは同上)
プロジェクト内容が、少しずつ進んでいるように思う。(n=10)
合流式下水道改善事業など。(nは同上)
下水道ポンプ場等が整備されている。(nは同上)
下水道事業は直接の変化がある。(nは同上)
電気自動車の日産・深海2000など象徴的なものがあるから。(nは同上)
電気自動車など、多くなってきたのでは。(nは同上)
学校の屋根の太陽光発電。(nは同上)
ゴミの分別、再生ゴミの活用等、市民1人1人に根づいている。
資源回収の回数が増えた。
地域で自主的に注意しているので、以前より分別化が進んでいると思う。
市民は多く協賛している。
街路樹などが整備されている。
町がきれいになってきている。
随所にその成果が見受けられる。
これは日本全体の流れだと思うし、よくなっていると思うことが大事だと思う。
事業系ゴミの取扱いについて、より一層事業者負担を求めるべき。
教育については進んでいるが、対象は成人向けが不足。

「④あまり思わない、どちらかというと悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=15)
メガソーラ発電、風力発電がない。
自然エネルギーの活用がまだ少ないと思う。
震災のガレキ等の処分に反対など、地球の前に同じ日本なのに恥ずかしい。
県の震災ガレキの受入を拒否してほしい。
成人向けの環境啓発が足りていない感。
ゴミ処理計画中の焼却施設は、プラスチック類も焼いてしまうとのことだが、環境に配慮されていない。
津久井の海岸は桮組みが腐っていて危険な所がたくさん。でも直す事もまったくない。
年々、スギ花粉や、アレルギーの人が増えている気がする。黄砂etc。
住民のごみに対する意識が低すぎる。
地球を破壊するものがたくさんある。
今もひどいから前より危険。ボロボロ。一度見に来てほしい。
学生に、地域の清掃活動や植物を植えたりして、幼い頃より環境活動に参加させ、意義を考えさせる。自分たちの住むまちづくりを自分たちで実践していくように。
何もしていないのでは？
市町村レベルで議論する事ではない。

※回答末尾に記載のn 値は5以上のもののみ記載

【70 歳代】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというとよくなっている」

主な回答理由 (n=40)
リサイクル等活発に地区も取り組んでいる。(n=7)
町内会が活躍しているから。(nは同上)
まわりでも努力している。(nは同上)
関心は高まりつつあると思う。(nは同上)
リサイクル・分別回収の実務化。(n=7)
アイクル(ゴミ)の施設はすばらしい。(nは同上)
ゴミ収集が良い。(nは同上)
ゴミ処理場が、しっかりしていると思っている。(nは同上)
環境保全に力を入れていると思う。(n=5)
自然を守ろうとする取り組みをしていると思う。(nは同上)
市街地の緑や水を大切にしている。
下水道の整備により、河川の水質が良くなって海水が良くなってきている。
緑地の手入れと道路の整備。
特に人の集まる所(中央駅付近など)が良くなっている。
以前より、路上のゴミ等が少なくなった。
自然がそのまま残っているところが良い。
住みよい。
工場が減ったから。
公園が整備されている。(県立公園など)
三浦半島、人と自然、地域の仲間と力を出し合い、小さな力も協力だと思う。
人と人とのふれあいが、だいぶ良くなってきて自然に笑顔が見られている。
急傾斜地対策のコンクリートに緑面化がほしい。
地震、災害が心配。

「④あまり思わない、どちらかというと悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=16)
原発地域の安全なゴミ処理を市も受けてほしい。
廃棄物の埋立など他県の物まで必要か。協力だけではない。
ゴミ処理は受け付けよう。
実感できる事柄がない。
独自の取り組みが伝わってこない。
民間業者の乱開発が進んでいる。
山が宅地となった。
市が保有する山林に手を入れてない。
転入者や独居の人がわかりにくい。
米軍基地に対するもの。
汚染物の議論など住民不在か。
何も進んでいないと思う。
メイン街は良いようだ。一步、裏通りに入ると…。
地球環境破壊の町。街路樹の間隔がせまく計画性がまるきりない。芽吹きを楽しみにしているとその前に枝をむざんに伐採してしまう。

※回答末尾に記載のn 値は5以上のもののみ記載

重点プログラム4 『にぎわいを生む』

～地域経済の活性化と雇用の創出・集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり～

1 取り組みの方向性の傾向（年齢別）

（1）4－1 地域経済の活性化と雇用の創出

【調査結果のポイント】

- ・今回調査のDIがプラスとなったのは「以前との比較」の「29歳以下」のみで、全年度の調査を通して唯一のプラスであり、全体的に実感が得られていない状況が続いているといえる。
- ・特に、「現在について」の「50歳代」「60歳代」のマイナスが大きいですが、それ以下の年齢層においては、階層が下がるに連れてマイナス幅が小さくなっている。
- ・前年度調査との比較では、上述のほか、「現在について」「以前との比較」いずれも低下がみられたのは「50歳代」となった。
- ・平成23年度調査との比較では、「現在について」「以前との比較」とともに、「29歳以下」「40歳代」で大幅な上昇となったが、近接する「30歳代」「50歳代」では大きな変化がない状況で、年齢層で差がみられる。
- ・上述の「50歳代」「60歳代」は、同比較でも「現在について」でマイナスとなっている。

図表7 4－1 「地域経済の活性化と雇用の創出」の状況（年齢別：H25-23年度比較）

【現在について】

年齢階層	調査年度	件数(人)	①思う＋②やや思う (a)	③どちらともいえない	④あまり思わない＋ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年度比	25-23年度比
29歳以下	25年度	60	36.7	21.7	41.7	▲ 5.0	19.4	11.9
	24年度	74	27.0	21.6	51.4	▲ 24.4	▲ 7.5	
	23年度	71	31.0	21.1	47.9	▲ 16.9	—	
30歳代	25年度	76	28.9	26.3	44.7	▲ 15.8	16.1	5.5
	24年度	72	26.4	15.3	58.3	▲ 31.9	▲ 10.6	
	23年度	89	27.0	24.7	48.3	▲ 21.3	—	
40歳代	25年度	87	24.1	27.6	48.3	▲ 24.2	9.4	12.9
	24年度	113	20.4	25.7	54.0	▲ 33.6	3.5	
	23年度	110	21.0	20.9	58.1	▲ 37.1	—	
50歳代	25年度	123	17.9	20.3	61.8	▲ 43.9	▲ 9.2	▲ 3.0
	24年度	118	17.8	29.7	52.5	▲ 34.7	6.2	
	23年度	115	15.6	27.8	56.5	▲ 40.9	—	
60歳代	25年度	146	17.8	21.9	60.3	▲ 42.5	▲ 9.9	▲ 8.8
	24年度	141	21.3	24.8	53.9	▲ 32.6	1.1	
	23年度	131	19.8	26.7	53.5	▲ 33.7	—	
70歳以上	25年度	124	29.0	22.6	48.4	▲ 19.4	10.9	22.3
	24年度	132	20.5	28.8	50.8	▲ 30.3	11.4	
	23年度	127	15.0	28.3	56.7	▲ 41.7	—	

【以前との比較】

年齢階層	調査年度	件数(人)	①よくなっている＋ ②どちらかという よくなっている (a)	③変わっていない	④どちらかという 悪くなっている＋ ⑤悪くなっている (b)	DI (a)-(b)	前年度比	25-23年度比
29歳以下	25年度	46	39.1	26.1	34.8	4.3	18.9	11.7
	24年度	48	25.0	35.4	39.6	▲ 14.6	▲ 7.2	
	23年度	54	29.6	33.3	37.0	▲ 7.4	—	
30歳代	25年度	62	21.0	48.4	30.6	▲ 9.6	▲ 4.1	▲ 0.5
	24年度	55	30.9	32.7	36.4	▲ 5.5	3.6	
	23年度	77	31.2	28.6	40.3	▲ 9.1	—	
40歳代	25年度	78	28.2	37.2	34.6	▲ 6.4	16.5	11.9
	24年度	96	18.8	39.6	41.7	▲ 22.9	▲ 4.6	
	23年度	98	24.5	32.7	42.8	▲ 18.3	—	
50歳代	25年度	113	22.1	37.2	40.7	▲ 18.6	▲ 8.7	3.8
	24年度	101	24.8	40.6	34.7	▲ 9.9	12.5	
	23年度	112	17.8	42.0	40.2	▲ 22.4	—	
60歳代	25年度	133	24.8	42.1	33.1	▲ 8.3	0.7	9.3
	24年度	133	27.1	36.8	36.1	▲ 9.0	8.6	
	23年度	125	19.2	44.0	36.8	▲ 17.6	—	
70歳以上	25年度	116	26.7	34.5	38.8	▲ 12.1	4.7	5.3
	24年度	125	23.2	36.8	40.0	▲ 16.8	0.6	
	23年度	121	19.0	44.6	36.4	▲ 17.4	—	

年齢階層	現在について			以前との比較		
	DIの推移 (23年度 → 24年度 → 25年度)	年度差と状況		DIの推移 (23年度 → 24年度 → 25年度)	年度差と状況	
		対23年度	対24年度		対23年度	対24年度
29歳以下	▲ 16.9 → ▲ 24.4 → ▲ 5.0	11.9 大幅に上昇	19.4 大幅に上昇	▲ 7.4 → ▲ 14.6 → 4.3	11.7 大幅に上昇	18.9 大幅に上昇
30歳代	▲ 21.3 → ▲ 31.9 → ▲ 15.8	5.5 上昇	16.1 大幅に上昇	▲ 9.1 → ▲ 5.5 → ▲ 9.6	▲ 0.5 変化なし	▲ 4.1 大きな変化なし
40歳代	▲ 37.1 → ▲ 33.6 → ▲ 24.2	12.9 大幅に上昇	9.4 上昇	▲ 18.3 → ▲ 22.9 → ▲ 6.4	11.9 大幅に上昇	16.5 大幅に上昇
50歳代	▲ 40.9 → ▲ 34.7 → ▲ 43.9	▲ 3.0 大きな変化なし	▲ 9.2 低下	▲ 22.4 → ▲ 9.9 → ▲ 18.6	3.8 大きな変化なし	▲ 8.7 低下
60歳代	▲ 33.7 → ▲ 32.6 → ▲ 42.5	▲ 8.8 低下	▲ 9.9 低下	▲ 17.6 → ▲ 9.0 → ▲ 8.3	9.3 上昇	0.7 変化なし
70歳以上	▲ 41.7 → ▲ 30.3 → ▲ 19.4	22.3 大幅に上昇	10.9 大幅に上昇	▲ 17.4 → ▲ 16.8 → ▲ 12.1	5.3 上昇	4.7 大きな変化なし

(2) 4-2 集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり

【調査結果のポイント】

- ・今回調査で、「現在について」のDIがプラスとなったのは「29歳以下」「30歳代」で、「60歳代」までは年齢階層が上がるに連れてDIが低くなっている。
- ・「以前との比較」のDIは、全ての年齢層で全年度プラスとなっている。特に、40歳代以下の値が高い。
- ・前年度調査との比較では、「現在について」「以前との比較」ともにポイントが減少したのは「50歳代」で、特に「現在について」では大幅な低下がみられた。
- ・一方、その他の年齢層ではほとんど差がプラスで、特に「現在について」の「29歳以下」では30ポイントの大幅な上昇となった。
- ・平成23年度調査との比較で、「現在について」「以前との比較」ともに低下がみられたのは「30歳代」「50歳代」で、特に「30歳代」ではいずれも10ポイントを超える大幅な低下となっている。
- ・一方、「29歳以下」「40歳代」ではいずれも差がプラスで、「29歳以下」では大幅に上昇しており、年齢層によって傾向が異なる結果となっている。

図表8 4-2 「集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり」の状況（年齢別：H25-23年度比較）

【現在について】							
年齢階層	調査年度	件数(人)	①思う+②やや思う (a)	③どちらともいえない	④あまり思わない+ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年度比
							(ポイント)
29歳以下	25年度	65	58.5	16.9	24.6	33.9	30.0
	24年度	77	41.6	20.8	37.7	3.9	9.1
	23年度	77	37.7	19.5	42.9	▲ 5.2	—
30歳代	25年度	84	42.9	26.2	31.0	11.9	10.7
	24年度	80	40.0	21.3	38.8	1.2	▲ 24.8
	23年度	100	55.0	16.0	29.0	26.0	—
40歳代	25年度	90	33.3	31.1	35.6	▲ 2.3	2.2
	24年度	111	34.2	27.0	38.7	▲ 4.5	▲ 1.0
	23年度	115	36.5	23.5	40.0	▲ 3.5	—
50歳代	25年度	123	30.1	30.1	39.8	▲ 9.7	▲ 11.3
	24年度	121	38.0	25.6	36.4	1.6	6.7
	23年度	118	33.9	27.1	39.0	▲ 5.1	—
60歳代	25年度	151	32.5	21.2	46.4	▲ 13.9	6.0
	24年度	141	24.1	31.9	44.0	▲ 19.9	▲ 11.0
	23年度	135	34.1	23.0	43.0	▲ 8.9	—
70歳以上	25年度	131	38.2	22.9	38.9	▲ 0.7	3.7
	24年度	135	32.6	30.4	37.0	▲ 4.4	3.3
	23年度	129	29.5	33.3	37.2	▲ 7.7	—
【以前との比較】							
年齢階層	調査年度	件数(人)	①よくなっている+ ②どちらかという よくなっている (a)	③変わっていない	④どちらかという 悪くなっている+ ⑤悪くなっている (b)	DI (a)-(b)	前年度比
							(ポイント)
29歳以下	25年度	47	51.1	36.2	12.8	38.3	14.5
	24年度	59	44.1	35.6	20.3	23.8	1.0
	23年度	57	42.1	38.6	19.3	22.8	—
30歳代	25年度	65	43.1	41.5	15.4	27.7	5.9
	24年度	55	38.2	45.5	16.4	21.8	▲ 19.1
	23年度	88	54.5	31.8	13.6	40.9	—
40歳代	25年度	81	39.5	44.4	16.0	23.5	8.0
	24年度	97	35.1	45.4	19.6	15.5	4.1
	23年度	96	33.3	44.8	21.9	11.4	—
50歳代	25年度	110	35.5	40.0	24.5	11.0	▲ 4.2
	24年度	105	38.1	39.0	22.9	15.2	▲ 1.1
	23年度	116	35.3	45.7	19.0	16.3	—
60歳代	25年度	141	31.9	46.8	21.3	10.6	1.8
	24年度	137	30.7	47.4	21.9	8.8	4.8
	23年度	126	31.0	42.1	27.0	4.0	—
70歳以上	25年度	126	42.1	34.1	23.8	18.3	▲ 1.2
	24年度	128	36.7	46.1	17.2	19.5	▲ 2.6
	23年度	118	38.2	45.8	16.1	22.1	—

年齢階層	現在について			以前との比較		
	DIの推移 (23年度 → 24年度 → 25年度)	年度差と状況		DIの推移 (23年度 → 24年度 → 25年度)	年度差と状況	
		対23年度	対24年度		対23年度	対24年度
29歳以下	▲ 5.2 → 3.9 → 33.9	39.1 大幅に上昇	30.0 大幅に上昇	22.8 → 23.8 → 38.3	15.5 大幅に上昇	14.5 大幅に上昇
30歳代	26.0 → 1.2 → 11.9	▲ 14.1 大幅に低下	10.7 大幅に上昇	40.9 → 21.8 → 27.7	▲ 13.2 大幅に低下	5.9 上昇
40歳代	▲ 3.5 → ▲ 4.5 → ▲ 2.3	1.2 変化なし	2.2 変化なし	11.4 → 15.5 → 23.5	12.1 大幅に上昇	8.0 上昇
50歳代	▲ 5.1 → 1.6 → ▲ 9.7	▲ 4.6 大きな変化なし	▲ 11.3 大幅に低下	16.3 → 15.2 → 11.0	▲ 5.3 低下	▲ 4.2 大きな変化なし
60歳代	▲ 8.9 → ▲ 19.9 → ▲ 13.9	▲ 5.0 低下	6.0 上昇	4.0 → 8.8 → 10.6	6.6 上昇	1.8 変化なし
70歳以上	▲ 7.7 → ▲ 4.4 → ▲ 0.7	7.0 上昇	3.7 大きな変化なし	22.1 → 19.5 → 18.3	▲ 3.8 大きな変化なし	▲ 1.2 変化なし

2 回答理由（年齢別）

（１）４－１ 地域経済の活性化と雇用の創出

【29 歳以下】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというよくなっている」

主な回答理由 (n=13)
観光でがんばっているから。(n=5)
お祭りや、イベントなどが多く、とてもにぎわっていると思う。(nは同上)
少しずつ観光地になってきている。(nは同上)
先端的なものが多く、誰もが来たくなる。(nは同上)
地元のグッズが多くなっているから。(nは同上)
すかなごっそ・ポートマーケットの経済効果はある程度、認められる。
よこすかポートマーケットが作られたのは良い。
地域経済の活性化（海軍カレーなど）力を入れているのがわかるから。
以前よりも「横須賀」は知名度が上がったと思う。
企業誘地などを行っている。
市内でというより都心へ通勤しやすいので。

「④あまり思わない、どちらかという悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=25)
閉店してしまう店が多く、あまり活性化は感じない。(n=6)
シャッター通り、空店舗、場所にそぐわない店など。(nは同上)
個人経営の小企業の廃業等。(nは同上)
近所の商店街はどんどんつぶれ、今はシャッター街。人口も流出してる。商店街の再生に成功している地方自治体もあるのだから、横須賀市は怠慢だと思う。(nは同上)
横須賀中央の町の活気が、なくなっているような気がする。
中心部である横須賀中央駅は、年々さびれていっているような気がする。マルイ、さいか屋、西友がなくなったせいかな…。
湘南学院跡や、西友だった土地など、もっと大きな企業が来たら良いのになあと思った。
企業数が少ない（大企業等）。
地元民が服を買う場所がないという声を聞く。イベント等に力を入れるのも良いが、毎日の生活の経済活性化を図ってほしい。
お店が。
雇用は介護職はあるが、他の職種は少ない。
現実にはきびしい経済状況。
地域によってかたよっている。
生活に実感がない。
はっきりとしないし、わからない。
空き地がそのままになるケースが多い。
土地利用が上手く出来ていない。過疎化しない工夫が必要。
どんどんダメになる。ただ、ネイビーバーガー／海軍カレーなどの観光系は、今後もっと頑張ってもらいたい。
ここで住みたい！働きたい！と思える横須賀ではない。

※回答末尾に記載のn 値は5以上のもののみ記載

【30 歳代】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというよくなっている」

主な回答理由 (n=19)
「地産地消」事業、素晴らしいと思う。(n=7)
以前と比べ地産地消は進んでいると思う。(nは同上)
地産地消の提供の場がちょっと増えてきたから。(nは同上)
横須賀ポートマーケットが出きたので、集客があると思うし地域活性化につながるのではないだろうか！(nは同上)
雇用の創出はあまり出来ていないと思うが、地産地消は良いと思う。(nは同上)
「地産地消」素晴らしいが、価格が高い。例) よこすかポートマーケット高くて地元の人は買わないと思う。(nは同上)
よこすか産業まつり・よこすかＹＹのりものフェスタ・おっぱままつり等、横須賀以外から来る人が増え、にぎやかに、イベントも大きくなってきたので。(目新しいイベントはみんな大好き) ベースのさくら祭、今年は多すぎた。
文化や、イベントが多く観光地ならではの。人が多い。
祭りやイベントなどが盛ん。
軍港めぐりは、観光の人も増え良いと思う。
軍港めぐりなどで、外に対してのアピールがある。
テレビなどで軍港めぐりやカレーなどの映像を見るため。
全国的に地産地消がブームになっている中で、横須賀市も地元密着の業種が増えたと思う。
雇用は多いと思うが、求人はあまりない。
行政の施策はあるが、住民として効果に実感がない。

「④あまり思わない、どちらかという悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=34)
市内には良い求人が無いため市外にも働きに出ている。(n=11)
明らかにベッドタウンとして進化しているため。ココが弱い→雇用の創出。(nは同上)
当市に来て働きたいという話を聞いたことがない。(nは同上)
専門職の求人が少ない。(nは同上)
時給が安い。(nは同上)
横須賀中央のあたりとか昔の方がにぎわっていた。丸井もなくなり、さいか屋も縮小され、パチンコ屋ばかり増えている。(n=6)
個人企業や小企業が多く、市全体の活性化がない。(nは同上)
さびれてしまっているところが増えた。(nは同上)
商店街に活気はなく、閉店しているところが多い。(n=6)
地域経済はあまり活性化していないと思う。(nは同上)
個人商店に活気がなくなっている。(nは同上)
商業施設の減少で、住んでいてつまらない。
マンションができてスーパーが少ない。近くで働くところもない。
店舗の閉店、商業施設の整理、撤退を多く目にするようになってきた。それに伴い、生活の不便も生じている。
横須賀中央にあったデパートやスーパーが減った。縮小した。
工業団地もなく、大手企業の進出もなくむしろ撤退している。
大きな企業はない。横須賀で働く気にはあまりならない。
何も変化なく、恥ずかしい思いだ。
カレーも無理やりすぎ。海とかもっとうまく使ってほしい。
まだまだ素敵な街に出来ると思う。

※回答末尾に記載のn 値は5以上のもののみ記載

【40 歳代】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというよくなっている」

主な回答理由 (n=10)
スーパーなどに地元野菜コーナーなどあり。安くて新鮮でうれしい。
「地産地消」に対して、前にはないほど考えさせられるようになった。
何年か前、クルーズ会社が失業者を雇っているというＴＶを見た。
イベントがたまにあるから。
軍港めぐりも好きで、他から来る友人も喜んでくれる。
市民特典があると参加しやすい。（軍港めぐりに行ってきた）
活性化は感じるけど、それが雇用につながっているのかいまいちわからない。
もっといろいろとアイデアを出して豊かにしてほしい。

「④あまり思わない、どちらかという悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=36)
市内で仕事を探すのが難しい。（n=7）
もっと働く場所があるといい。（nは同上）
新卒者の正規採用が少ない。（nは同上）
雇用が促進されていない。（nは同上）
以前と比べて、店が減ってきているので、横浜方面に足が向く。（n=6）
ショッピングをしたい若者が、横浜や東京に流れてしまっているため。（nは同上）
横須賀には、これといって大きなショッピングセンターがない。川崎＝ラゾーナ川崎プラザ…のようにメインになる、流行を追ったショッピング場所が必要。（nは同上）
明らかに横須賀中央は商用施設がなくなった。（nは同上）
少ない店が中心に集中している気がする。自宅近くは高齢化が進んでいるのに、店がないので不便。（nは同上）
本気で企業誘致すべき。（n=5）
関東自動車工業の移転等、活気があるとは言えない。（nは同上）
ＹＲＰからでていく企業があるので。（nは同上）
商店街の閉店（シャッター街が多い）。（n=5）
自分が住んでいる商店街は、店が数多く閉店になっている。（nは同上）
地域の商店街に店がなくなり、横須賀中央にすら店が少ない。（nは同上）
横須賀中央等、中心地が盛り上がっていない。
横須賀中央駅周辺がさびれてきている。
マンションかパチンコ屋ばかり建って、活性しているとは思えない。
体感出来ず。
景気はそれほど良くなっているとは思えない。
カレーもいまひとつ。
人口の流出が多い。
相変わらず、生活保護受給者が多いから。
一時的なブームだったような気がする。

※回答末尾に記載のn 値は5以上のもののみ記載

【50 歳代】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというよくなっている」

主な回答理由 (n=17)
よこすかポートマーケットなどができた。
すかなごっそやポートマーケット。
地元の魚や野菜がどのスーパーでも買える。
ポートマーケットが出来たり、それに伴うバス運行、そして雇用、地域経済が変化すると活性化が始まるようになるので、これからを期待する。
色々な工場跡地に企業を誘致している。（努力！！）
食品工業など、女性パートタイマー雇用が創出される企業は以前と比べて誘致出来ているように感じる。
観光客が増えている感じはする。集客の取り組みは効果を上げているのではないかとと思う。
軍港めぐりが大ヒットしていてとてもよい事だと思う。
横須賀の魅力を打ち出す取り組みがなされていると思う。
再開発事業が具体的に進み出したようだね。
中心市街地に人が少なくなったように思う。再開発が待たれる。

「④あまり思わない、どちらかという悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」の回答理由は次頁

「④あまり思わない、どちらかというと悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=62)
雇用の創出について不安材料ばかり…。 (n=14)
大きな雇用がなくなっている。 (nは同上)
観光的には、にぎわいを感じるが、雇用に関しては落ちこんでいる気がする。 (nは同上)
希望する仕事がないと思う。 (nは同上)
賃金(時給)が横浜等に比べて安いので、そちらに出て行ってしまうと思う。 (nは同上)
若者の受け皿が少ない。 (nは同上)
若い人の働く場所があまりない。 (nは同上)
介護や研究系の求人をもっと増やすべき。 (nは同上)
夫が失業中。 (nは同上)
新規事業への誘致等の企業増加に結びついていない。 (n=11)
横須賀の大きな目玉になる会社等がない。 (nは同上)
企業の縮小など民間企業の活力低下。 (nは同上)
基地はあっても企業がない。 (nは同上)
平地が少ないので工場誘致しにくい。 (nは同上)
企業が横須賀から他都市へ出ていっている。 (nは同上)
中央の街がシャッターがしめられている。地理的状况からみても経済活性は難しい。 (n=8)
飲食店に入る人数が少なく、いつまでも埋まらない店舗を見かける。地域の活性化が望まれる。 (nは同上)
商工業の縮小、撤退。 (nは同上)
退店している商業区域が多くみられシャッターの閉まった、さびしい風景がみられるようになっている。また、それに伴い雇用も促進していない。 (nは同上)
中心地のにぎわいがなくなっている。 (n=5)
空洞化が進展している印象がある。街ものにぎやかさが少ない。 (nは同上)
人の歩く流れが少ない。 (nは同上)
景気の回復が感じられない。
市内産業の衰退による雇用の受け皿不足。
地域産業育成へもっと取り組むべき。
人口減少。
若い世代は首都へ、高齢化の加速。
人が減っているのが何より物語っている。
もっと全国にアピールする要素があると思う。
Y R P 野比は、もっと有名になってもよいのではないかと思う。
にぎわいを生むプログラムは素晴らしいが、市民の高齢化による足を確保する、交通面が全くダメ。
もっと要望の多い地域にバス、マイクロバスを増やして市内のアクセスを良くしてほしい。
ベースにたよりすぎ。
色々やっていると思うがインパクトがない。
集客力の低下。
横須賀市だけではなく、現状では、全体的に活気がないから。
学校も横浜方面の私学に流れ、職場も横浜、東京に流れ、ベッドタウン化している。
スーパーに並ぶ商品を見て、横須賀産と書かれている物は、見ない。見ても、少ない。
魅力がない。
大型商業施設だけが増えても、市へのにぎわいとは言えない。

※回答末尾に記載のn 値は5以上のもののみ記載

【60 歳代】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというとよくなっている」

主な回答理由 (n=16)
地産地消の推進が進んできた。(n=5)
地産地消がとても推進されて、マーケットも増えていって、とても良い。(nは同上)
新港に新鮮な野菜や魚等を売る店が出来て、人も多い。(nは同上)
よこすかポートマーケットは良い。(nは同上)
軍港めぐりがヒットしている。
観光スポットが増え、にぎわいがある。
いろいろな所でイベントをしている。
店の数が増えている。雇用も増えたと思う。
以前より、買い物しやすくなり、楽しくなった。まわりに仕事をする人が多くなった。
子どもが少しずつ増えている。
大型店に押されて小さな店が、シャッター通りになっているのは残念。
商店街はさびれている。大手工場の撤退で雇用が減少してきた。

※回答末尾に記載のn 値は5以上のものののみ記載

「④あまり思わない、どちらかというと悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」の
回答理由は次頁

「④あまり思わない、どちらかというとな悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=54)
働く所が減っている。(n=13)
定年後の雇用がまったく無い。(nは同上)
若者の雇用がよくあってもアルバイトが多く、暮らしていくのにはきびしい町。(nは同上)
若者の働く場所。(nは同上)
仕事がない。(nは同上)
企業が減っている。(n=11)
企業が他都市へ移転している。(nは同上)
工場がなくなっても、対応策がない。(nは同上)
自動車産業がなくなっている。(nは同上)
大企業跡地へ企業の誘致等なく、経済の活性化や雇用の創出は全く考えられない。市民や有識者の知恵ではなく、行政担当者が己から考えるべき。(nは同上)
企業を引き止める工夫がほしい。(nは同上)
大きな会社がなくなり、小さい会社ばかり。人が働ける所が少ない。(nは同上)
商店街が活気がなく、さびれていっている。(n=11)
大きなショッピングセンターが一部にまとまりすぎで何もない地域がありすぎる。(nは同上)
横須賀中央商店街を通ると、次第に街が変わってきている。(商業店が減少している)(nは同上)
市の大商店街がどんどん活気が失われ、大型スーパーや店舗に客を吸い取られている。(nは同上)
横須賀だけでなく全国的かも知れないが、物が売れない、店の活気がない。(nは同上)
横須賀中央、追浜、北久里浜を見ると分かる。(nは同上)
横須賀中央近辺に活力がない。(n=5)
駅前のにぎわいが無い。(nは同上)
さびしさが増している。(nは同上)
さいか屋の縮小により、日用品以外は横浜に行かざるを得なくなった。
商業地域に魅力がない。
店が少なく創出されていない。
経済が低迷しているから。
大きな産業が少ない。
産業のPRが少ないように思う。
横須賀の交通利便性がネック。努力はされているが！
高齢者が増え、活気を感じない。
若い人が少ない。つまり魅力がないから。
一部のみ。
観光についてもいまいちだと思う。
これから中央の開発は進むのだろうか？
人でやれる事が機械（器具）化されてくるから。
活性化についてはまだまだ難しい問題である。

※回答末尾に記載のn 値は5以上のもののみ記載

(2) 4-2 集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり

【29 歳以下】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというよくなっている」

主な回答理由 (n=26)
Y Y ポートなど、ハトバスがきていたり良い。(n=8)
集客に関しては、横須賀市ならではのイベントなどもあるため、興味を持ってもらい集客も見込めそう。(nは同上)
海上自衛隊etcで集客力はあると思う。(nは同上)
ネイビーバーガー！！(nは同上)
軍港めぐり、猿島、ヴェルニー公園など案内できる場も増え、観光は充実したように思う。
うみかぜ公園や猿島のBBQは、片付けまでしてくれるのが良い。足を運びやすい。
住みやすい町だから。
あくまで私の周りだけかも知だが、「ずっと住みたい」と言っている人が多い。
利便性に優れている。
マンションなどが増えた。
ステキなマンションやマイホームローンの助成金もあっていいと思う。
街並みがきれいになってきている。
都内からのアクセスが良くなっている。
街としてのネームバリューがあるので、集客はできていると思う。
横須賀の魅力を以前よりも活発に宣伝している。
ドブ板の雰囲気よくなっている。
オシャレな町だと思う。
現に住み続けているから。
目に見える活動などしていると思うが、結果がついてきていないように感じる。
もっとピーアールしてほしい。横須賀にはまだまだたくさん魅力がある。
交通の不便なところもあるから。
ネームバリューやイベントがあるので、集客はあるが、定住したいとは思えない。

「④あまり思わない、どちらかという悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=13)
デパート、お店が少なすぎる。
商業施設の規模が小さいので。
それほど魅力的な観光地がないような気がする。
マンションばかりつくって、どうしたいのか？遊ぶ場所がなければ、人は集まらない。
若者向けの施設は少ない。
事実、上手く行っていない。あまり魅力的でない。ただの田舎独自のよさを出してほしい。
若い世代が他へ(仕事のため)住んでいき、老人の人数が増えて、日中・土日などほとんど人が歩いていない。
地域による。横須賀市の中でも差がはげしい。
公共の交通機関も、特にバス停も遠く、利用出来ない。
町が醜く、古くなっている。美しく年をとった横須賀であってほしい！
もっと都心からの定住者が増えるよう、休日に楽しく過ごせる場を増やすべき。
最近、魅力的なイベント(軍港めぐりなど)はあるが、正直、定住を促すかというところではない気がする。子育てしやすいかに尽きると思う。

※回答末尾に記載のn 値は5以上のもののみ記載

【30 歳代】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというよくなっている」

主な回答理由 (n=30)
たびたびＴＶやドラマに横須賀が出てたり、いろいろ取り組んでいると思う。(n=7)
テレビなどで軍港めぐりやカレーなどの映像を見るため。(nは同上)
京急線内において横須賀のチラシをよく目にする。(nは同上)
ここ数年で劇的に変わったと思う。自治体も積極的にＰＲしているのがよく分かる。(nは同上)
横須賀の魅力が知られてきたと思う。(nは同上)
集客イベントを実施しているのを見たことあり。(n=7)
メディアへの露出も多いし、観光客の姿もよく見かける。ただ、定住に結びつくかは疑問。(nは同上)
それなりに観光客が多い。(nは同上)
横須賀市としてのイベントの多さには、びっくりしている。(nは同上)
知人にも横須賀に遊びに来たがる人達はある。軍港めぐり。(nは同上)
ファーストマイホーム制度は良かったと思う。
市内でマイホームを建てたり、市外からの移住者に助成があるから。
住居を移す際の補助金などはよいと思う。
道路が渋滞していることが、かなり減ってきた。
中央駅周辺が住みやすくなってきている感じがする。
地場の物を紹介する施設が増えているのは集客には良い事。
観光向けの施設が増えた。
生活するにおいて不自由のない町。地場の物は他県の人々にも人気があるかと。
まちの活性化に向けた様々な取り組みは、評価されるべきと考える。
がんばっていると思う。
ベッドタウンとして京急沿線のみ（徒歩10分圏内）。
集客は一時的にはあるだろうが、定住は難しい感じがする。米軍のイメージが悪い。よい方もいるのに…。
・定住促進の実施は？だが、集客は前より良いのではないかな？ ・ポートマーケット行ってきた！！が、量り売りの店は、外じゃない方が買いやすかったのではないかなと思った。 ・軍港めぐり、すごくおもしろかった。ああいうものに市もお金をかけてほしい。 ・横須賀美術館は市民でも遠い！！直通バスとか安いバスとか、もっと気軽に行けるようにしてほしい。

※回答末尾に記載のn 値は5以上のもののみ記載

「④あまり思わない、どちらかというとなっている」「⑤思わない、なっている」

主な回答理由 (n=22)
商業施設（住民のための）が少ない。
マンションばかりでなくもっと商業施設が欲しい。
中央の商店街がさびれている中で買い物の楽しみもない。
横須賀中央駅周辺がド田舎化していて、恥ずかしい。
横須賀中央に市役所があるのに、さびしい駅です。
横須賀中央がとても廃れたから。
観光事業が何もないと思う。あってもしょぼい。
集客なんて期待できない。していない。
集客の目玉がない。
遠方から自然以外では集客が望めない。
定住したいとは思わない。車の運転がしにくい。（信号が多すぎる）マンション等値段が高い。ゴルフをしたいが、近くのゴルフ場は値段が高く千葉まで行かなければならない。
すべてにおいて高い。
変化が感じられない。
以前より廃れている気がする。
横須賀市の人口が減っているのもっと頑張らないといけない気がする。
他市への移住が多いのではないかな。
東京都には負けると思う（下手したら横浜にも）。
県内住民の定住率が高いが、県外からの移住者は三浦、葉山等に比べて少ないと思う。
横須賀に住んでもサービスがあったわけではない。
広い土地があるので、勿体なく感じてしまう。
・アメリカ軍基地があるので、それを生かし、外国の人たちと気軽に接することができる街作りをしてほしい。（英語講習会や、文化講習会など） ・以前やっていた「新しく横須賀でマイホームを持つ人たちへの援助」などをもっとやってほしい。

【40 歳代】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというよくなっている」

主な回答理由 (n=28)
クルーズとか、カレーとかチーズケーキとか、色々がんばってる感アリ。(n=14)
いろいろなイベントあるから。でも定住につながるかはギモン…。(nは同上)
カレーフェスティバルなどいつも多くの人でにぎわい、楽しく良いと思う。(nは同上)
カレーフェスティバルの集客数が多い。「スカリン」が地味だと思う。(nは同上)
軍港めぐり、ヴェルニー公園のバラ園、良い。(nは同上)
軍港めぐりや、すかなごっそ等、以前よりは魅力的なものは出てきた。(nは同上)
軍港めぐりは、集客に大いに貢献していると思う。(nは同上)
軍港めぐりなど、アイデア次第で、集客力のあることが証明されていると思う。(nは同上)
大都会に利便が良い点。
首都圏に近い。
住宅がよく建っている。
住みやすい街だと思う。
公共の福祉が良くなっていると聞く。
いろいろと考えて頂けている様子。
以前よりは、頑張っている気がする。
東京・横浜方面から、わざわざ来るかどうか疑問だが…。
横須賀中央駅の再開発に力を入れて欲しい。
でももっと、ショッピングが出来て、おしゃれに対する意識が持てるような、ショッピングモールがほしい。

※回答末尾に記載のn 値は5以上のもののみ記載

「④あまり思わない、どちらかというと悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=29)
人口が変わらない。増えない。
人口減少。
若い世代より高齢者ばかりに感じる。
定年後、横須賀に住みたいと思っていない。
集客が期待出来る施設がない。
魅力を感じる施設がない。
バスの数は少ないし、電車とバスの接続は悪いし、お店は少ないし、夜遅くまでやってない。
便利なようで不便な地域、所が多い。
商用施設が少ないのであまり魅力がない。
閉店するところが多く、住みにくい。
新しくできたポートマーケットは社員食堂みたいで横須賀らしさが全くない。楽しみにして行ったのに非常に残念。
働く企業が少ない。
他県の友人に自慢するところがない。
建物が古い。公共施設が古い。駅の側が何もない。
建物が全体的に古い。スーパーなど日常生活に必要な物が駅から遠い。
重点事業にはないが、横須賀中央の商店街が表面にパチンコ屋があったり、何となく雑然としている。
横須賀中央の現状では、そうは思えない。
仕事に不便だからだろうか、空き家が増えた。
近所が空き家が多くなった。
観光地感覚であり、物価が高い。
県立の保健福祉大学があるので、地方からの学生をホームステイという形で受け入れる…（学生の間、ホームステイも良いと思う）というようなことを考えていないから。
近隣でも転居する人も多く、定住支援が十分とは思えない。
市民の数が減っているのにマンションばかり建っている。
下水工事が無計画に進められた。うちは絶対に工事しない。
既存のものも、テコ入れしないと…。

【50 歳代】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというときよくなっている」

主な回答理由 (n=32)
様々なイベントなどが増えている。(n=8)
大型バスでの観光客が増えている。(nは同上)
集客に関しては、施策が成功しているように思う。(nは同上)
最近「坂の上の雲」の影響で軍港めぐりなどもあり、活性化してきているが、まだアイデアはあるよ。(nは同上)
佐島の宅地開発等はとても良いと思う。横浜への高速バスはとても良いアイデア。
都市の整備、再開発などが積極的に行われていて、魅力ある市づくりがなされていると思う。
今住んでいる所に限ってはマンション等住居、大型店ができたから。
ごく最近、平成町のエリアなど話題づくりに力を入れて攻めている感じが出てきた。
以前よりはハードとソフトの両面で若干の進歩があると思う。
湘南国際村や、長井ソレイユの丘は、良いと思う。
公園やバーベQが出来る、水辺公園など。美術館などの利用者が増えている。
サッカー場、佐原2丁目公園等を見ている。
観光PRによる集客は評価できる。
メディアでよく横須賀観光を目にするようになった。
今までには作られていない物がいくつか見えてきている。
若い人の流入活動。
ポートマーケットのアイデアは良いが、いま一つ活気がない。中の商品にも問題が…。
集客はややあるものの他からの移住・定住は少ない。
優遇施策（定住）が魅力的かどうかは疑問。
市全体から見れば、よくなっていると思うが、追浜に関しては、どこが…と感じるが。

※回答末尾に記載のn 値は5以上のもののみ記載

「④あまり思わない、どちらかというと悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=40)
市の象徴だった大手デパートがなくなっている。(n=8)
中央商店街に魅力がなく横浜へ買い物に行く人が多くなっている。(nは同上)
藤沢市のテラスモールのような魅力的な商業施設ではなく、すかなごっそやポートマーケットなどの田舎くさい施設ばかり次々と出来る。(nは同上)
大滝町通りの商業施設の空洞化が進んでいる。(nは同上)
魅力ある商品を置いている店がなくなった。(nは同上)
市民もよそで買い物をする。(nは同上)
道路も鉄道も限定されている。土地も限られていて、元々集客や定住に不利。(n=6)
道路がせまい。(nは同上)
東浦賀から駅までの歩道は、他と比べて差があり過ぎる。(nは同上)
交通網の発達なしに、にぎわいや定住、集客は難しい。(池上7丁目のひどさ!) 犯罪も多発する。(nは同上)
横須賀芸術劇場のある汐入駅に快速電車が停まるようにした方がよい。(nは同上)
都心から遠い。(nは同上)
企業が増えずに減っている。(n=5)
産業の減少。(nは同上)
雇用は少ないし、魅力がない。(nは同上)
新規事業の創設、誘致等企業の増加に結びついていない。(nは同上)
人口減少。
人口が大幅に減ってしまい、若い人には魅力がないのでは?
老人用の施設も増やせない。若い人が横須賀に移住しようと思う大きなセールスポイントがない。
平地が少ないし、集客店(これだという)もない。
海軍カレーってどうよ!と思う。また、その後がない。
集客力が減少。
大きな目玉がない。「横須賀」のイメージがもともと良くないのでは。(かつての暴走族とか基地など…)
空き家が多い。
土地はあるのに活用してないし、条件も大担には変わっていない。
夜のメインストリートの人通りはどんどん減っていると思う。
物流が乏しい。
他と比較した訳ではないが、税が有効に使われている事を開示すべき。
もっとやるべき。取り組み不足である。
取り組みが遅れているのでは。
高齢化が進む現在の対応が伝わらない。
市営など利用しづらいし手間がかかる。
魅力がない。
大企業、集客施設、商業施設の増加が必要。

※回答末尾に記載のn 値は5以上のもののみ記載

重点プログラム5 『地域力を育む』

～地域と住民の主体性が発揮できる仕組みづくり・

地域を支えるコミュニティ機能の強化～

1 取り組みの方向性の傾向（5－1地域別／5－2年齢別）

（1）5－1 地域と住民の主体性が発揮される仕組みづくり

【調査結果のポイント】

- ・今回調査のDIは、マイナスが続いていた「現在について」の「西」地域がプラスに転じたことで、「現在について」「以前との比較」とともに全地域のDIがプラスとなった。
- ・前年度調査との比較では、「現在について」「以前との比較」いずれも差がマイナスとなったのは「大津・浦賀地域」で、特に「現在について」では唯一の低下がみられた。
- ・一方、いずれも上昇したのは「本庁・逸見」「西」地域で、特に「西」地域は25ポイントを超える大幅な上昇がみられた。
- ・平成23年度調査との比較では、「現在について」「以前との比較」とともにDIが低下した地域は、「衣笠」地域で、「現在について」では唯一の低下となっている。
- ・一方、「西」地域では「現在について」「以前との比較」とともに上昇し、値も大きい。

図表9 5－1「地域と住民の主体性が発揮される仕組みづくり」の状況（地域別：H25-23年度比較）

【現在について】							
居住地域	調査年度	件数(人)					(ポイント)
			①思う＋②やや思う (a)	③どちらともいえない	④あまり思わない＋ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年度比 25-23年度比
追浜・田浦	25年度	68	45.6	29.4	25.0	20.6	17.2
	24年度	59	37.3	28.8	33.9	3.4	▲ 9.3
	23年度	63	41.3	30.2	28.6	12.7	—
本庁・逸見	25年度	90	45.6	23.3	31.1	14.5	7.2
	24年度	109	36.7	33.9	29.4	7.3	▲ 6.2
	23年度	111	41.4	30.6	27.9	13.5	—
衣笠	25年度	83	32.5	37.3	30.1	2.4	0.1
	24年度	87	36.8	28.7	34.5	2.3	▲ 6.7
	23年度	100	40.0	29.0	31.0	9.0	—
大津・浦賀	25年度	132	41.7	31.8	26.5	15.2	▲ 18.8
	24年度	135	53.3	27.4	19.3	34.0	21.8
	23年度	139	40.3	31.7	28.1	12.2	—
久里浜・北下浦	25年度	129	45.0	25.6	29.5	15.5	9.7
	24年度	137	36.5	32.8	30.7	5.8	▲ 8.0
	23年度	116	46.6	20.7	32.8	13.8	—
西	25年度	62	40.3	35.5	24.2	16.1	27.6
	24年度	52	30.8	26.9	42.3	▲ 11.5	0.0
	23年度	61	29.5	29.5	41.0	▲ 11.5	—
【以前との比較】							
居住地域	調査年度	件数(人)					(ポイント)
			①よくなっている＋ ②どちらかという よくなっている (a)	③変わっていない	④どちらかという 悪くなっている＋ ⑤悪くなっている (b)	DI (a)-(b)	前年度比 25-23年度比
追浜・田浦	25年度	61	36.1	55.7	8.2	27.9	▲ 8.7
	24年度	52	38.5	59.6	1.9	36.6	6.0
	23年度	49	40.8	49.0	10.2	30.6	—
本庁・逸見	25年度	74	43.2	47.3	9.5	33.7	10.1
	24年度	93	34.4	54.8	10.8	23.6	▲ 8.0
	23年度	95	37.9	55.8	6.3	31.6	—
衣笠	25年度	71	26.8	57.7	15.5	11.3	▲ 13.0
	24年度	78	39.7	44.9	15.4	24.3	0.1
	23年度	91	36.3	51.6	12.1	24.2	—
大津・浦賀	25年度	119	43.7	49.6	6.7	37.0	▲ 3.5
	24年度	116	47.4	45.7	6.9	40.5	4.5
	23年度	125	44.0	48.0	8.0	36.0	—
久里浜・北下浦	25年度	111	34.2	56.8	9.0	25.2	▲ 6.1
	24年度	112	40.2	50.9	8.9	31.3	▲ 2.4
	23年度	98	39.8	54.1	6.1	33.7	—
西	25年度	54	40.7	53.7	5.6	35.1	24.9
	24年度	49	24.5	61.2	14.3	10.2	▲ 7.6
	23年度	51	33.4	51.0	15.6	17.8	—

居住地域	現在について			以前との比較		
	DIの推移 (23年度 → 24年度 → 25年度)	年度差と状況		DIの推移 (23年度 → 24年度 → 25年度)	年度差と状況	
		対23年度	対24年度		対23年度	対24年度
追浜・田浦	12.7 → 3.4 → 20.6	7.9 上昇	17.2 大幅に上昇	30.6 → 36.6 → 27.9	▲ 2.7 変化なし	▲ 8.7 低下
本庁・逸見	13.5 → 7.3 → 14.5	1.0 変化なし	7.2 上昇	31.6 → 23.6 → 33.7	2.1 変化なし	10.1 上昇
衣笠	9.0 → 2.3 → 2.4	▲ 6.6 低下	0.1 変化なし	24.2 → 24.3 → 11.3	▲ 12.9 大幅に低下	▲ 13.0 大幅に低下
大津・浦賀	12.2 → 34.0 → 15.2	3.0 大きな変化なし	▲ 18.8 大幅に低下	36.0 → 40.5 → 37.0	1.0 変化なし	▲ 3.5 大きな変化なし
久里浜・北下浦	13.8 → 5.8 → 15.5	1.7 変化なし	9.7 上昇	33.7 → 31.3 → 25.2	▲ 8.5 低下	▲ 6.1 低下
西	▲ 11.5 → ▲ 11.5 → 16.1	27.6 大幅に上昇	27.6 大幅に上昇	17.8 → 10.2 → 35.1	17.3 大幅に上昇	24.9 大幅に上昇

(2) 5-2 地域を支えるコミュニティ機能の強化

【調査結果のポイント】

- ・今回調査の DI は、全ての年齢層で「現在について」「以前との比較」とともにプラスで、実感が得られているといえる。
- ・特に高齢層の実感が高いが、そのほか「30 歳代」で比較的高い値となっている。
- ・前年度調査との比較では、「現在について」「以前との比較」とともに上昇したのは「30 歳代」「70 歳以上」で、特に「現在について」の「30 歳代」は、約 40 ポイントの大幅な上昇となったが、前年度調査で大幅な低下があったため、振れ幅が大きい。
- ・平成 23 年度調査との比較では、「現在について」で「50 歳代」「60 歳代」の値に低下がみられるが、「以前との比較」では全ての年齢層でプラスで、実感が保たれているといえる。

図表 10 5-2 「地域を支えるコミュニティ機能の強化」の状況（年齢別：H25-23 年度比較）

【現在について】

年齢階層	調査年度	件数(人)						(ポイント)	
			①思う+②やや思う (a)	③どちらともいえない	④あまり思わない+ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年度比	25-23年度比	
29歳以下	25年度	56	42.9	28.6	28.6	14.3	12.8	2.8	
	24年度	66	37.9	25.8	36.4	1.5	▲ 10.0		
	23年度	70	42.9	25.7	31.4	11.5	—		
30歳代	25年度	66	43.9	36.4	19.7	24.2	40.6	19.2	
	24年度	67	25.4	32.8	41.8	▲ 16.4	▲ 21.4		
	23年度	81	40.8	23.5	35.8	5.0	—		
40歳代	25年度	84	39.3	28.6	32.1	7.2	▲ 3.0	2.0	
	24年度	98	40.8	28.6	30.6	10.2	5.0		
	23年度	98	37.8	29.6	32.6	5.2	—		
50歳代	25年度	104	36.5	32.7	30.8	5.7	▲ 7.6	▲ 8.1	
	24年度	113	40.7	31.9	27.4	13.3	▲ 0.5		
	23年度	116	40.5	32.8	26.7	13.8	—		
60歳代	25年度	149	43.6	25.5	30.9	12.7	▲ 1.3	▲ 9.1	
	24年度	136	41.2	31.6	27.2	14.0	▲ 7.8		
	23年度	128	44.5	32.8	22.7	21.8	—		
70歳以上	25年度	119	52.9	26.9	20.2	32.7	22.4	13.9	
	24年度	126	46.8	16.7	36.5	10.3	▲ 8.5		
	23年度	127	44.8	29.1	26.0	18.8	—		

【以前との比較】

年齢階層	調査年度	件数(人)						(ポイント)	
			①よくなっている+ ②どちらかという よくなっている (a)	③変わっていない	④どちらかという 悪くなっている+ ⑤悪くなっている (b)	DI (a)-(b)	前年度比	25-23年度比	
29歳以下	25年度	38	39.5	34.2	26.3	13.2	▲ 7.2	1.9	
	24年度	44	31.8	56.8	11.4	20.4	9.1		
	23年度	44	29.5	52.3	18.2	11.3	—		
30歳代	25年度	47	36.2	55.3	8.5	27.7	25.6	12.3	
	24年度	47	25.5	51.1	23.4	2.1	▲ 13.3		
	23年度	65	32.3	50.8	16.9	15.4	—		
40歳代	25年度	66	27.3	60.6	12.1	15.2	▲ 2.7	0.4	
	24年度	78	34.6	48.7	16.7	17.9	3.1		
	23年度	81	28.4	58.0	13.6	14.8	—		
50歳代	25年度	91	29.7	60.4	9.9	19.8	▲ 15.2	5.9	
	24年度	100	43.0	49.0	8.0	35.0	21.1		
	23年度	101	26.8	60.4	12.9	13.9	—		
60歳代	25年度	134	47.8	44.0	8.2	39.6	4.2	10.3	
	24年度	127	41.7	52.0	6.3	35.4	6.1		
	23年度	123	41.5	46.3	12.2	29.3	—		
70歳以上	25年度	111	53.2	38.7	8.1	45.1	10.1	0.7	
	24年度	120	46.7	41.7	11.7	35.0	▲ 9.4		
	23年度	115	49.6	45.2	5.2	44.4	—		

年齢階層	現在について			以前との比較		
	DIの推移 (23年度 → 24年度 → 25年度)	年度差と状況		DIの推移 (23年度 → 24年度 → 25年度)	年度差と状況	
		対23年度	対24年度		対23年度	対24年度
29歳以下	11.5 → 1.5 → 14.3	2.8 変化なし	12.8 大幅に上昇	11.3 → 20.4 → 13.2	1.9 変化なし	▲ 7.2 低下
30歳代	5.0 → ▲ 16.4 → 24.2	19.2 大幅に上昇	40.6 大幅に上昇	15.4 → 2.1 → 27.7	12.3 大幅に上昇	25.6 大幅に上昇
40歳代	5.2 → 10.2 → 7.2	2.0 変化なし	▲ 3.0 大きな変化なし	14.8 → 17.9 → 15.2	0.4 変化なし	▲ 2.7 変化なし
50歳代	13.8 → 13.3 → 5.7	▲ 8.1 低下	▲ 7.6 低下	13.9 → 35.0 → 19.8	5.9 上昇	▲ 15.2 大幅に低下
60歳代	21.8 → 14.0 → 12.7	▲ 9.1 低下	▲ 1.3 変化なし	29.3 → 35.4 → 39.6	10.3 大幅に上昇	4.2 大きな変化なし
70歳以上	18.8 → 10.3 → 32.7	13.9 大幅に上昇	22.4 大幅に上昇	44.4 → 35.0 → 45.1	0.7 変化なし	10.1 大幅に上昇

2 回答理由（５－１地域別／５－２年齢別）

（１）５－１ 地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり

【本庁・逸見地域】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというと言くなっている」

主な回答理由 (n=23)
子ども見守り隊の方を良く見かけるが、とても安心。感謝している。(n=19)
通学路で見守り隊が活動しているのはよくみかける。(nは同上)
住民自治活動が児童を安全から守ってくれている。(nは同上)
クリーンよこすか、子ども見守り隊の活動をよく目にする。(nは同上)
クリーンよこすか、活動は時間が合えば参加させてもらっている。子どもと一緒にきれいにするのは楽しい。(nは同上)
クリーン横須賀の活動を強化すべきだと思う。(nは同上)
学生等がそうじしたりしてる。(nは同上)
よくゴミ拾いをしているところを見る。(nは同上)
町内会の動きはすこぶる良い。(nは同上)
活動は活発になっているのではないかな。(nは同上)
町、子ども達、地域住民で見守る。素晴らしい。(nは同上)
活動が増えてる気がする。(nは同上)
地域一体となって清掃したり、もちつき大会があったり、コミュニケーションの場となっていていいと思う。
③（どちらともいえない）に近い②。枠組みはあるのだろうが、機能していない。転入者の地域活動への参加を、転入の届け時に行政が案内し、勧めるべき。
子どもの見守り隊、依存が気になる。

「④あまり思わない、どちらかというと言くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=13)
高台に住む、老人等が孤立化しやすい。無料で弁当など配ったり、安否確認のできるサービスがあるとよい。
そういうプロジェクトがあるということ自体知らなかった。
何かやっているなら感じとれない。
あまり気にしていない。
市職員の責任が薄い（弱い）。
となり組は、回覧版が回るだけ。
町内会活動がマンネリ化。役員毎年同じ人。住民の主体性は発揮できていないのでは？
住民がそれぞれ自己中心的であるため。
自分の生活には、伝わってこない。
高齢化が進んでいる。
町内の方々がいろいろ若い人もとりこんで、近所の人々も声かけをしてあげることが大切。でもマンション暮らしの人は無理。
時間がかかると思うが、もっとメリハリをつければ…。

※回答末尾に記載のn 値は5以上のもののみ記載

【衣笠地域】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというときよくなっている」

主な回答理由 (n=22)
子ども見守り隊、市民の会等の活動が定着してきた。(n=15)
地域や自治体にもよるが、独自の活動がみとめられる。(nは同上)
町内活動がいろいろある。(nは同上)
地域の住民の方々が校外パトロールに参加している。(nは同上)
地域の住民が協力的である。(nは同上)
住民の参加が多数。(nは同上)
以前より子ども見守り隊、市民の会に参加する人が増えた。(nは同上)
以前は人に頼っていたが、今は自分から進んでされている。(nは同上)
年齢にこだわらず周囲に合わせ楽しみ作らされている。
生活の中で感じている。
退職してから外に出るようになり少しは思う。
高齢化がそれを阻んでいる。
活発な地域に限るが…。

「④あまり思わない、どちらかというとき悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=11)
イメージがない。
何をどのように進めているのか。
どのような枠組みづくりか解らない。
連帯感が薄れている。
一人住まいが多い(シニア)。
地域活動の状況が分からない。
老人が増え、気軽に動ける人が少なくなっている。
地域の住人は自分のことばかり考えている。

※回答末尾に記載のn 値は5以上のもののみ記載

【大津・浦賀地域】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというとなよくなっている」

主な回答理由 (n=28)
自治会の機能や住民参加が盛んである。(n=17)
町内会がしっかり活動している。(nは同上)
町内でも“火の用心”など、地域の主体性を感じる。(nは同上)
自主防災計画が毎年できた。(nは同上)
協力しあい、活動しているように思う。(nは同上)
地域住民の勤勉な考えや努力の積み重ねを感じる。絆組みの出来る前からの地域の力だろう。(nは同上)
クリーン横須賀の会や見守り隊をよく見かけ、良い事だと思う。(nは同上)
イベント後のクリーン活動など、また、地域の見守り隊の活動はとてもよい。(nは同上)
自治会活動などは行われていると思う。今後の防災、介護などこれから強化、充実すべき。(nは同上)
子ども見守り隊の実施がある反面、まだまだ夜の町の街灯が少ない。暗い住宅街が多い。(nは同上)
子どもに対しても防犯は充実してきていると思う。(nは同上)
周囲で頑張っている話を聞くようになった。(nは同上)
地域毎のボランティア活動が進んでいる。(nは同上)
色々な情報が届いている。
地域に根ざした活動がされていると思う。
地域住民間の距離を縮める行事が多い。
カレーフェスティバルがあるから。
自治会でのイベントも多く、活気もあるため。
大津中のふれあい教室の活況。
地域と学校とのコラボレーションが実を結びつつある。
高齢者活用・コミュニティ場拡充。
無言の働きや地道な生活が住民の意識を高めているのだろう。絆組みは後からついてくるものだろう。
リタイヤした人が増え、自治会活動に従事しやすくなってきたのでは。

「④あまり思わない、どちらかというとな悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=16)
知らない人ばかりでコミュニケーションがとれない。
地元、住人と新しく転入者とのコミュニケーションが、取れていると思わない。
地域と地域のコミュニケーションが、不足していると思う。
高齢化現象。
アパート、マンション、老人ホームの増加。高齢化により働く力が減っている。
老人が多くなり、若者も無関心。地域によって差がでてくると思う。
町内会の催しも、ある特定の人のみで、地域、皆が参加できる企画もなく、子ども会、老人会のみ予算を使っている。
一部の住民のみ主体性を発揮しているが、まだまだ。
コミュニティが崩れてきている。
地域の自治会の活動があまり行われていない。参加しづらいものしかない。
情報がなく、どうすればよいのか？
何も活動が見えてこない。
住民の力を認めず、意見は聞かず市政に反映しないのでは何も生まれない。
変化がないということは進歩がない。

※回答末尾に記載のn 値は5以上のもののみ記載

【西地域】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというよくなっている」

主な回答理由 (n=12)
町内会活動をして思っている。
施設、活動が共に充実している。
コミュニティーには、ほとんど不参加だけれど何となくわかる。
他市との比較で。
若い人は頑張っているが、先行きの明るさが感じられない。
努力と成果が比例していないので、モチベーションが上がらない。

「④あまり思わない、どちらかという悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=6)
枠組みが見えない。
町内会は相変わらず、役員だけで市と交渉して、住民に知らせない体質。
昔からの地つきの圧力が多い。
何も呼び掛けがない。
核家族化のせいかな。
魅力につながる企画があるといい。

（２）５－２ 地域を支えるコミュニティ機能の強化

【30 歳代】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというよくなっている」

主な回答理由 (n=11)
ずいぶん前の浦賀と全然違ったのにビックリ。
浦賀に関してはコミュニティが機能している。
よく目につくから。
協力体制はすごい良いと思う。
市民プラザなど、利用できるのが良い。
コミュニティセンターの設置数は悪くないと思う。
地域の看板などの、貼り紙が多く目立つようになった。
よくゴミ拾いをしているところを見る。
横須賀市主催のセミナーを実施した方が良い。

「④あまり思わない、どちらかという悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=7)
コミュニティ機能とはどのようなことか。
何かやっているなら感じとれない。
高齢者しか、コミュニティに参加していない。
自治会に入りたい人や、自治役員をやりたいと思う人が、どんどん減っている。たずさわる人はいつも同じ…。
新たな集合住宅の増加などにより、街並みが変わり、以前と同様のコミュニティは失われているように感じる。
コミュニティの話を聞かない。
封建的な考えの人が多く、新しい人がなかなかなじめない地域性がある気がする。

【50 歳代】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというよくなっている」

主な回答理由 (n=11)
町内会がしっかりしている。(n=5)
自治会がキチンと機能しているので安心できる。(nは同上)
町内単位の意識は高い。(nは同上)
町内会組織の充実。(nは同上)
やはり自治会活動が重要。今後はより広い単位での組織作り(広域自治会、自治連合など)が必要。(nは同上)
市民大学などのイベントが増えてきたと思う。
気軽に交流できる場づくりの計画の話などを、自治会の班長会の時などに聞いたことがある。
広報紙などを見ていると、コミュニティー活動が増えていると思う。
個人的には少し重圧。

「④あまり思わない、どちらかという悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=18)
現役世代が減りつつある。
活動の中心は地元の老人がほとんどで、若い人の参加は少ない。参加しにくい(老人が強い)。
町内会、いつも同じ顔ぶれ、高齢化。
若者の行動を目にすると、そう(悪くなっている)と思う。
日中、地域にいる事の多い老人パワーを、生かしきれていない。
市民活動プロジェクトについての発信力の弱さ。
地域のつながりが薄い。
地域力が不足している。
自分自身がそういう集まりを知らないから。
周囲と協力するというより、周囲に迷惑をかけない、そういう土地柄だと思う。
マンション生活のため、マンション内がコミュニティーとして、生活に密着しているため。
旧来の住居者と新興住宅居住者の交流が乏しい。
自治センター等、行くのが大変。送迎バス等あればよい。

※回答末尾に記載のn 値は5以上のもののみ記載

【60 歳代】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというとよくなっている」

主な回答理由 (n=24)
町内会でクリーンパトロール、夜まわりしたりしている。(n=6)
子ども見守り隊の人をよく見かける。(nは同上)
各地域が町づくりに前向き。(nは同上)
私自身は参加してないがよく目にしている。(nは同上)
コミュニティセンターが充実。
コミュニティセンターの活動が活発である。
地域の助力としてコミュニティセンターに於いて活動しているその中で、地域の団結力に重要さを感じているので。
色々な取り組みがされている。
新しい人（引越し）もすぐ地域の中にとけこんでいる。
回覧板等で知るが、もっと多くの人への浸透がほしい。特に幼い子どもを持つ親、老人をかかえる家庭へのいざないを。
活動するコミュニティセンターを明るい雰囲気のある場所にしてほしい。照明、カラー、冷暖房など。
高齢化が進む中、地域での協力が不可欠だが、入れ物は充実しても住民の意識はまだまだ高まっていない。
限られた人ばかりの利用だと思う。

「④あまり思わない、どちらかというと悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=14)
町内会の役をしている人だけが活動。
ごく少数の人々だけのサークル？
他の町の事は分かりませんが、特別に感じない。
追浜地域はあまり関係ない。
人は人、自分は自分な生活。
地域住民の関係の希薄化。
若い世代の方と近所づきあいがないので。
夏祭りの準備に参加してもらえない。人手不足。
箱物事業以外の活動があまり感じられない。
公民館にエレベーターもなく、高齢者は集まりにくく、公民館として機能が欠けている。また、町内に於いてのサークル等も特定の人だけが知っていて、知らない人が多い。
運動会（地域）を通じて声をかけ合い少しでも顔を出す（近所の人）。あいさつからだ。
かけ声だけではダメ。
コミュニティーは、かわらない。

※回答末尾に記載のn 値は5以上のもののみ記載

【70 歳以上】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというとよくなっている」

主な回答理由 (n=31)
町内会の活発な活動。(n=10)
クリーンよこすかの様子などから。(nは同上)
自治会活動が機能している。(nは同上)
センター機能の積極的活用。
コミュニティセンターの催しが多くなった。
コミュニティー・行事に参加者の人数が多い。
同好会活動はコミュニティセンターによってしやすくなっていて、システムが確立してきた。
公共施設の住民・市民管理が進んでいる。
P Rを拡充すること。
町内会の活動でも、若い奥さんが増加するのが望ましい。
役所の人々が各町内の集まりに出て話し合っては…。その積み重ねが大切。
コミュニティー機能の強化を図る役員の活動を住民が理解し、協力しなければならない。
若い人達や老人等の意見を聞き、より良い方向に進みたい。
開設されても、行ってお話しし、何かの役に立ちたいと思っている人もいると思うが車（足）がないのでは…。
集まる人が限られている。（行きたくても歩行力のない方には無理。）
定年となった人が多い。

「④あまり思わない、どちらかというと悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=11)
コミュニティセンターを設置されているが、実状について周知されていない。やっていることが分からない。
設備をつくっても市民を取り込むような面に欠けている。
あまり知られていないのでは…。
年々悪くなっている。枠組みはあるのだろうが、機能していない。転入者の地域活動への参加を転入の届け時に行政が案内し、勧めるべき。
地域力を育むためには地域の経済の活性化が不可欠。「上から目線」の施策では「育めない」。
活動の実体や広がりが見られない。
町内としてのまとまりは感じるが、市とするとどうだろう。
人口の高齢化。
高齢化で衰えている。

※回答末尾に記載のn 値は5以上のもののみ記載

持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）を備えているまち

1 持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）を備えているまちの傾向（属性別）

（1）男女別

- ・「現在について」の今回調査のDIは「男性」「女性」とともにマイナスとなっている。特に「女性」は10ポイントを超えるマイナスで、過年度の調査との比較でも大きな変化がなく、実感を得られていない状況が続いている。
- ・一方、「以前との比較」では、「男性」「女性」とともにプラスとなったものの、過年度の調査との比較では「女性」に低下がみられる。
- ・過年度の調査では、「現在について」「以前との比較」とともに、DIは男女間に2倍程度の開きもあったが、今回調査ではいずれもほとんど差がない状況となっている。

図表11 「持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）を備えているまち」の状況（男女別：H25-23年度比較）

【現在について】

性別	調査年度	件数(人)						(ポイント)	
			①思う+②やや思う (a)	③どちらともいえない	④あまり思わない+ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年度比	25-23年度比	
男性	25年度	273	31.1	29.7	39.2	▲ 8.1	5.7	6.4	
	24年度	276	31.5	23.2	45.3	▲ 13.8	0.7		
	23年度	269	30.1	25.3	44.6	▲ 14.5	—		
女性	25年度	345	31.6	26.4	42.0	▲ 10.4	2.4	▲ 3.7	
	24年度	376	29.5	28.2	42.3	▲ 12.8	▲ 6.1		
	23年度	396	32.4	28.5	39.1	▲ 6.7	—		

【以前との比較】

性別	調査年度	件数(人)				DI (a)-(b)	前年度比	(ポイント)	
			①よくなっている+ ②どちらかという よくなっている (a)	③変わっていない	④どちらかという 悪くなっている+ ⑤悪くなっている (b)			25-23年度比	
男性	25年度	241	29.0	48.5	22.4	6.6	5.7	0.1	
	24年度	238	24.4	52.1	23.5	0.9	▲ 5.6		
	23年度	232	28.5	49.6	22.0	6.5	—		
女性	25年度	299	31.8	43.8	24.4	7.4	▲ 5.0	▲ 5.9	
	24年度	307	34.5	43.3	22.1	12.4	▲ 0.9		
	23年度	338	33.1	47.0	19.8	13.3	—		

性別	現在について				以前との比較			
	DIの推移 (23年度 → 24年度 → 25年度)		年度差と状況		DIの推移 (23年度 → 24年度 → 25年度)		年度差と状況	
			対23年度	対24年度			対23年度	対24年度
男性	▲ 14.5 → ▲ 13.8 → ▲ 8.1		6.4 上昇	5.7 上昇	6.5 → 0.9 → 6.6		0.1 変化なし	5.7 上昇
女性	▲ 6.7 → ▲ 12.8 → ▲ 10.4		▲ 3.7 大きな変化なし	2.4 変化なし	13.3 → 12.4 → 7.4		▲ 5.9 低下	▲ 5.0 低下

(2) 年齢別

- ・今回調査で、「現在について」の DI がプラスとなったのは「30 歳代」「70 歳以上」のみである。一方、「以前との比較」では、唯一「29 歳以下」の DI がマイナスとなった。
- ・前年度調査との比較では、全ての年齢層において「現在について」「以前との比較」いずれも差がプラスかマイナス一方のみとなった。中でも、「30 歳代」はいずれも大幅な上昇となった。
- ・平成 23 年度調査との比較では、「29 歳以下」で、「現在について」「以前との比較」いずれも大幅な低下となっており、若年層からの実感が得られていない。

図表 12 「持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）を備えているまち」の状況（年齢別：H25-23 年度比較）

【現在について】

年齢階層	調査年度	件数(人)	(ポイント)					
			①思う+②やや思う (a)	③どちらともいえない	④あまり思わない+ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年度比	25-23年度比
29歳以下	25年度	68	30.9	23.5	45.6	▲ 14.7	▲ 0.7	▲ 17.3
	24年度	79	31.6	22.8	45.6	▲ 14.0	▲ 16.6	
	23年度	77	39.0	24.7	36.4	2.6	—	
30歳代	25年度	75	38.7	29.3	32.0	6.7	31.3	6.7
	24年度	77	27.3	20.8	51.9	▲ 24.6	▲ 24.6	
	23年度	94	36.1	27.7	36.1	0.0	—	
40歳代	25年度	87	23.0	23.0	54.0	▲ 31.0	2.4	▲ 8.8
	24年度	111	19.8	27.0	53.2	▲ 33.4	▲ 11.2	
	23年度	108	25.9	25.9	48.1	▲ 22.2	—	
50歳代	25年度	124	27.4	29.8	42.7	▲ 15.3	▲ 4.7	11.4
	24年度	122	32.0	25.4	42.6	▲ 10.6	16.1	
	23年度	120	20.8	31.7	47.5	▲ 26.7	—	
60歳代	25年度	146	32.2	29.5	38.4	▲ 6.2	▲ 4.7	2.2
	24年度	131	35.9	26.7	37.4	▲ 1.5	6.9	
	23年度	132	34.1	23.5	42.5	▲ 8.4	—	
70歳以上	25年度	118	36.4	28.8	34.7	1.7	5.4	1.7
	24年度	133	33.1	30.1	36.8	▲ 3.7	▲ 3.7	
	23年度	133	35.3	29.3	35.3	0.0	—	

【以前との比較】

年齢階層	調査年度	件数(人)	(ポイント)					
			①よくなっている+ ②どちらかという よくなっている (a)	③変わっていない	④どちらかという 悪くなっている+ ⑤悪くなっている (b)	DI (a)-(b)	前年度比	25-23年度比
29歳以下	25年度	43	23.3	48.8	27.9	▲ 4.6	▲ 4.6	▲ 26.5
	24年度	46	23.9	52.2	23.9	0.0	▲ 21.9	
	23年度	55	36.4	49.1	14.5	21.9	—	
30歳代	25年度	66	33.3	45.5	21.2	12.1	14.0	▲ 5.3
	24年度	55	23.6	50.9	25.5	▲ 1.9	▲ 19.3	
	23年度	75	36.0	45.3	18.6	17.4	—	
40歳代	25年度	72	25.0	51.4	23.6	1.4	2.5	6.9
	24年度	92	23.9	51.1	25.0	▲ 1.1	4.4	
	23年度	91	20.9	52.7	26.4	▲ 5.5	—	
50歳代	25年度	110	28.2	47.3	24.5	3.7	▲ 8.3	2.7
	24年度	109	34.9	42.2	22.9	12.0	11.0	
	23年度	106	24.6	51.9	23.6	1.0	—	
60歳代	25年度	136	29.4	47.1	23.5	5.9	▲ 7.1	▲ 3.2
	24年度	123	34.1	44.7	21.1	13.0	3.9	
	23年度	121	32.2	44.6	23.1	9.1	—	
70歳以上	25年度	113	38.9	38.9	22.1	16.8	6.9	▲ 6.4
	24年度	121	31.4	47.1	21.5	9.9	▲ 13.3	
	23年度	121	38.9	45.5	15.7	23.2	—	

年齢階層	現在について			以前との比較		
	DIの推移 (23年度 → 24年度 → 25年度)	年度差と状況		DIの推移 (23年度 → 24年度 → 25年度)	年度差と状況	
		対23年度	対24年度		対23年度	対24年度
29歳以下	2.6 → ▲ 14.0 → ▲ 14.7	▲ 17.3 大幅に低下	▲ 0.7 変化なし	21.9 → 0.0 → ▲ 4.6	▲ 26.5 大幅に低下	▲ 4.6 大きな変化なし
30歳代	0.0 → ▲ 24.6 → 6.7	6.7 上昇	31.3 大幅に上昇	17.4 → ▲ 1.9 → 12.1	▲ 5.3 低下	14.0 大幅に上昇
40歳代	▲ 22.2 → ▲ 33.4 → ▲ 31.0	▲ 8.8 低下	2.4 変化なし	▲ 5.5 → ▲ 1.1 → 1.4	6.9 上昇	2.5 変化なし
50歳代	▲ 26.7 → ▲ 10.6 → ▲ 15.3	11.4 大幅に上昇	▲ 4.7 大きな変化なし	1.0 → 12.0 → 3.7	2.7 変化なし	▲ 8.3 低下
60歳代	▲ 8.4 → ▲ 1.5 → ▲ 6.2	2.2 変化なし	▲ 4.7 大きな変化なし	9.1 → 13.0 → 5.9	▲ 3.2 大きな変化なし	▲ 7.1 低下
70歳以上	0.0 → ▲ 3.7 → 1.7	1.7 変化なし	5.4 上昇	23.2 → 9.9 → 16.8	▲ 6.4 低下	6.9 上昇

(3) 地域別

- ・今回調査の「現在について」の DI は、「大津・浦賀」地域がマイナスに転じたことにより全ての地域でマイナスとなった。
- ・一方、「以前との比較」で DI がマイナスとなったのは「西」地域のみである。ほかの地域は全年度プラスの地域が多い状況にある。
- ・前年度調査との比較では、「現在について」「以前との比較」ともに差がマイナスとなったのは「衣笠」地域のみとなった。
- ・平成 23 年度調査との比較では、前年度調査とは逆に「現在について」「以前との比較」ともに差がプラスとなったのが「衣笠」地域のみとなった。「衣笠」地域では特に「現在について」で大幅な上昇となっている。
- ・一方、「追浜・田浦」地域で「現在について」「以前との比較」ともに大幅な低下となっており、実感に地域差がみられる。

図表 13 「持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）を備えているまち」の状況（地域別：H25-23 年度比較）

【現在について】

居住地域	調査年度	件数(人)						(ポイント)	
			①思う+②やや思う (a)	③どちらともいえない	④あまり思わない+ ⑤思わない (b)	DI (a)-(b)	前年度比	25-23年度比	
追浜・田浦	25年度	72	25.0	31.9	43.1	▲ 18.1	11.8	▲ 22.3	
	24年度	67	19.4	31.3	49.3	▲ 29.9	▲ 34.1		
	23年度	72	38.9	26.4	34.7	4.2	—		
本庁・逸見	25年度	93	29.0	26.9	44.1	▲ 15.1	2.6	▲ 1.5	
	24年度	130	30.8	20.8	48.5	▲ 17.7	▲ 4.1		
	23年度	125	30.4	25.6	44.0	▲ 13.6	—		
衣笠	25年度	92	28.3	25.0	46.7	▲ 18.4	▲ 6.7	12.4	
	24年度	102	32.4	23.5	44.1	▲ 11.7	19.1		
	23年度	104	24.0	21.2	54.8	▲ 30.8	—		
大津・浦賀	25年度	147	36.1	23.8	40.1	▲ 4.0	▲ 4.7	▲ 4.0	
	24年度	146	36.3	28.1	35.6	0.7	0.7		
	23年度	159	34.0	32.1	34.0	0.0	—		
久里浜・北下浦	25年度	140	32.9	30.0	37.1	▲ 4.2	6.2	2.8	
	24年度	154	31.8	26.0	42.2	▲ 10.4	▲ 3.4		
	23年度	130	31.5	30.0	38.5	▲ 7.0	—		
西	25年度	73	32.9	32.9	34.2	▲ 1.3	29.5	13.4	
	24年度	52	19.2	30.8	50.0	▲ 30.8	▲ 16.1		
	23年度	75	30.7	24.0	45.4	▲ 14.7	—		

【以前との比較】

居住地域	調査年度	件数(人)				(ポイント)		
			①よくなっている+ ②どちらかという よくなっている (a)	③変わっていない	④どちらかという 悪くなっている+ ⑤悪くなっている (b)	DI (a)-(b)	前年度比	25-23年度比
追浜・田浦	25年度	64	31.3	56.3	12.5	18.8	4.5	▲ 14.5
	24年度	56	28.6	57.1	14.3	14.3	▲ 19.0	
	23年度	60	43.3	46.7	10.0	33.3	—	
本庁・逸見	25年度	80	31.3	45.0	23.8	7.5	4.8	▲ 2.9
	24年度	113	29.2	44.2	26.5	2.7	▲ 7.7	
	23年度	106	30.2	50.0	19.8	10.4	—	
衣笠	25年度	81	25.9	51.9	22.2	3.7	▲ 3.8	4.8
	24年度	80	30.0	47.5	22.5	7.5	8.6	
	23年度	91	25.3	48.4	26.4	▲ 1.1	—	
大津・浦賀	25年度	130	33.1	43.1	23.8	9.3	2.2	▲ 4.2
	24年度	127	29.1	48.8	22.0	7.1	▲ 6.4	
	23年度	141	31.2	51.1	17.7	13.5	—	
久里浜・北下浦	25年度	121	32.2	43.0	24.8	7.4	▲ 6.3	▲ 1.9
	24年度	124	33.1	47.6	19.4	13.7	4.4	
	23年度	108	34.3	40.7	25.0	9.3	—	
西	25年度	63	27.0	41.3	31.7	▲ 4.7	2.2	▲ 6.3
	24年度	44	29.5	34.1	36.4	▲ 6.9	▲ 8.5	
	23年度	64	25.0	51.6	23.4	1.6	—	

居住地域	現在について			以前との比較		
	DIの推移 (23年度 → 24年度 → 25年度)	年度差と状況		DIの推移 (23年度 → 24年度 → 25年度)	年度差と状況	
		対23年度	対24年度		対23年度	対24年度
追浜・田浦	4.2 → ▲ 29.9 → ▲ 18.1	▲ 22.3 大幅に低下	11.8 大幅に上昇	33.3 → 14.3 → 18.8	▲ 14.5 大幅に低下	4.5 大きな変化なし
本庁・逸見	▲ 13.6 → ▲ 17.7 → ▲ 15.1	▲ 1.5 変化なし	2.6 変化なし	10.4 → 2.7 → 7.5	▲ 2.9 変化なし	4.8 大きな変化なし
衣笠	▲ 30.8 → ▲ 11.7 → ▲ 18.4	12.4 大幅に上昇	▲ 6.7 低下	1.1 → 7.5 → 3.7	4.8 大きな変化なし	▲ 3.8 大きな変化なし
大津・浦賀	0.0 → 0.7 → ▲ 4.0	▲ 4.0 大きな変化なし	▲ 4.7 大きな変化なし	13.5 → 7.1 → 9.3	▲ 4.2 大きな変化なし	2.2 変化なし
久里浜・北下浦	▲ 7.0 → ▲ 10.4 → ▲ 4.2	2.8 変化なし	6.2 上昇	9.3 → 13.7 → 7.4	▲ 1.9 変化なし	▲ 6.3 低下
西	▲ 14.7 → ▲ 30.8 → ▲ 1.3	13.4 大幅に上昇	29.5 大幅に上昇	1.6 → ▲ 6.9 → ▲ 4.7	▲ 6.3 低下	2.2 変化なし

2 回答理由（年齢別／地域別）

（１）年齢別

【29 歳以下】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというよくなっている」

主な回答理由 (n=16)
横須賀市にはたくさんの観光スポットがある。
横須賀ブランドはあると思うので、今後、より魅力ある町にしていけるように対策してほしい。
気候がよいこと、観光スポットなど横須賀のよいところはたくさんあると思う。
横須賀が住みやすいと思うから。
年を重ねても、横須賀に住んでいるから。
歴史や文化が充実し、技術も発展しているため。
意外に栄えている町だと思う。
他県からも横須賀に住みたいなどという意見が、たくさんあるため。
問題があるように思わない。
人を呼ぶ努力はしてると思う。
特に、今後、重点プログラム１・２が、市民が実感できることが望まれる。

「④あまり思わない、どちらかという悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=20)
シャッター通り、空き店舗、場所にそぐわない店など。閉まる店が増えている。上手な、それらに対する問題を助ける人がいない。
小さな町から商店が次々消え不便と聞く。老人には宅配などサービスがあるが食品だけ満たせばいいとは思わない。反面、学童保育の施設は増えてきた。
子どもがあまり増えたと感じないから。
高齢化が拍車をかけ、自治会という団体が悪くなっている。なくすべき。
近年、住民が減少していると聞いたため。
市街地を歩いた時に、微妙な雰囲気悪さを感じる時がある。
横須賀中央にいても、土日祝日でも、人がこなくなったなとよく実感する。
昔ほどにぎわいがなくなった気がする。マルイ、西友がなくなってしまったし…。
何かしらの対策をしているようには思えない。
努力してるように思えない。
全体が坂道だらけ、消防車の入れない場所も多い。
若者向け施設が少ない。
都市としての魅力をあまり感じない。
持続可能だと思えない。成長のきざしが見えない。
市内に魅力ある場所があまりないせいか、活気を感じる町とは思えない。
現実はきびしくなっていると感じる。

【30 歳代】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというときよくなっている」

主な回答理由 (n=16)
都心に通勤可能な場所なので、集客可能なのではと思う。個人的には山や海などの自然を大切に、教育制度を充実させてほしい。
東京から近い点。
地理的能力は充分と思う。ただ、その長所を生かしきれていないのでは。
首都圏へ通勤可能で、自然が多い。
住みやすい町だと思うし、自然も多く、色々と有名な場所も多いので。（観光）
「横須賀」という都市名は、全国区に通用するブランドネームではないだろうか。
横須賀はベースもあり、名前が通り魅力あり。都市力絶対あり。
道路網が整備されつつあるところ。
正直、具体的にどのような事を行っているというのがいまいよく分からないのではっきり言えないが、色々取り組もうとしているのは分かったのだ。
県内住民の定住率が高いから。
市の政策を市民に伝えるのは難しいが…HPではなく、メルマガ等をもっと活用して、住民の関心を引いた方がいいのでは？
良くなっていると思うが、どんな対策にも持続がない。
自治体のアピール努力は素晴らしいと思う。ただ、藤沢に比べると、施策が劣る印象がある。

「④あまり思わない、どちらかというとき悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=28)
店を閉めている商店街が多いので、暗い感じがする。
子育てしにくい。商業施設が劣えている。スーパーや百貨店が少ない。
悪くなっているような気がする。やはり、さいか屋の縮小の影響が大きいかも…。
具体的な政策の取り組みと、その結果がわからないから。
ファミリーサポートセンターが増え（私もしているが、全然活躍なし）、幼稚園の送迎も以前より増えた割には！！小学生以下の子育ては、なんら大変さが変わらない。
横須賀（今の）に改善する経済力、考えなどなし！！
市の財政状況の悪化のため。
自分の駅しか、イメージとしてないが、老人の町のイメージ。
このままでは、絶対に人口減少、少子高齢化は進む一方だと思う。
街はさびれていつている。
横須賀中央駅前はかなり人が少ない。
子どもに対しての目先の支援ばかりで、高齢者が後回しになっている。
子どもはいる家といない家があるが、年は誰でもとる。もっと高齢者に対しての支援を行ってほしい。
「都市力」という曖昧な造語はやめてほしい。
イメージがない。
観光スポット（海、山）が沢山あるにもかかわらず、お客様を迎える対策がないために、横浜にとられている。
歩きタバコの禁止。タバコのマナーを見れば程度がしれる。PM2.5（微小粒子状物質）によるタバコの害悪のデータもあるのに。
交通の便の悪さを改善していこうとしているように思えない。都市力をごく一部だけよくしても、市全体はよくなりえないと思う。
若い人達は、どうしても都心に出てしまうので、都市力を考えるのであれば、若い人達が魅力を感じるまちにするべき。
もう少し発展できると思う。
雇用を増やし若者の流出を防ぐ必要がある。
工業団地（清潔な団地）。観光地としての活性化を図るため、JR、京急等と積極的な議論を進めて、明るい街づくりが必要。

【70 歳以上】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというときよくなっている」

主な回答理由 (n=33)
海や山、古い歴史等の魅力が沢山あると思う。
緑が多く、生活できる町である。
近代歴史遺産がある。
自然と歴史豊かなまちゆえ。
海、山をもったよい都市になる。潜在能力があると思う。
努力によってよくなる潜在力があると思う。
成長できていると思う。
高速道の整備、公園の整備が進んだ。
首都圏に近い。
高台にもバスが通るようになった。
海岸線、風光に恵まれている。
漁業に携わっている若者が多いのに感心している。
地産ものの消費等施設の発展。
希望すれば高齢者も町内会等集まり、過ごせるようになってきた。
地域と住民の主体性が発揮される。
テレビ等の宣伝の影響もある。
全国的に、よく地名が知られている。
社会人になっても、横須賀に居つく人が多い気がする。
幼稚園児、小学生が一人で家で過ごさず、学童保育の場所で夕方まで皆で過ごせる事。
成果は出来るまで、やるように。
自治体側が我々にこんな質問をするとは呆れる。一体どんな仕事をしているのか。こうなる前に手を尽くすのが仕事ではないのか。やる気と努力で頑張れば可能。
魅力的な都市推進を向上させる、努める。
高齢者も生きがいを感じながら生活出来る場を増やしてほしい。
他県のゴミの処理に協力してはいかかな。
他市に仕事に出ないで済むような職場があれば…。
保育所、学童保育等で、子育てが終わったり、定年後のお年寄りの方達と一緒に時間がとれたら良いのでは。昔話をし、無理のない育て方があるのではないかな…。
子ども（小、中学生）の性格の良い子、悪い子に差があり過ぎる。（先生の口のきき方にも問題があるよう）

「④あまり思わない、どちらかというとも悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=38)
人口の減少が続いている現状で良いとは思えない。(n=8)
少子高齢化、子育て世代がいらない。定住に希望が持てるような町に。(nは同上)
政策より高齢化の勢いの方がすごい。(nは同上)
子どもは本当に少なくなっていると感じる。(nは同上)
市内で、働く場所が少ない。(n=5)
一次産業の低迷、他県への流出などで生産性が乏しく、消費者ばかりがあふれてしまい、都市力として低下している。(nは同上)
地域より大会社が他に移動している。(nは同上)
大手各社の撤退のあとの企業へのPR不足。(nは同上)
米軍基地と共存のため核の心配もあり、北朝鮮からも心配あり。
北朝鮮のミサイルの標的だったり、GNF社があるのでは、安全、安心の都市とは言えない。
税金が高い。
大型商店の撤退。
自然破壊が進んだ。
住民自治への参加意識が年々低くなっている。
活力の源となる民間の投資が少ない。
結婚できない(しない)若人が多い。
16号をもっとゆったりした道にして。
具体的成果が見られない。
どこに魅力があるのか知りたい。
魅力は薄らいでいる。以前はもっと栄えていた(町も人も)。
都市力を備えている町、そうでない町あり。(マダラ模様)
段々と、悪化してきたのではないか。
若い人の一部には考えている人もいると思うけど…。
町の規模が小さく、できることが限られる。
他の地域の真似事ではなく、個性あふれる独自の発展を望む。
横須賀市が着実(?)に備えているものは、米軍基地と自衛隊。都市力が減少していくのは当然。
福祉の充実。介護施設の利用促進と充実化。
企業誘致によって人口の増加を図る。
集客力につながるものがほしい。
弱者にどれだけ優しい配慮が出来るのかが都市の力のバロメーター。
通り一遍の施策ではなく、「横須賀は住み良いところになった」と思えるように、実行計画を見直すべきと考える。

※回答末尾に記載のn 値は5以上のもののみ記載

(2) 地域別 ※年齢別の再掲あり

【追浜・田浦地域】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというよくなっている」

主な回答理由 (n=15)
マンションが多く建ってきた。
新しい住宅が増えて、若い人が増えてきたと思う。
住民数が増えてきたのでは？
年を重ねても、横須賀に住んでいるから。
活気がある。生涯を生き生きと過ごせる。
横須賀が住みやすいと思うから。
「横須賀」という都市名は、ひとつの全国区に通用するブランドネームではないだろうか。
地域と住民の主体性が発揮される。
横浜の隣で横浜にくらべると土地が安い。一戸建が買いやすい→子育てしやすい。自然が色々ある。
病院、運動施設、商業施設が充実している。
変わっていないと思う。

「④あまり思わない、どちらかという悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=27)
人口減少も進んでおり、あまり成長に期待できない。
少子高齢化、子育て世代がいらない。定住に希望が持てるような町に。
厳しい高齢化の町になっている。
退職後の仕事さがしが、横須賀市内近辺ではあまりない。
高齢でも仕事を与えて、働く。
産業も活発とは言えない。
横須賀中央駅前はかなり人が少ない。
見まわすと、中心街はさびれている。
子育てしにくい。商業施設が劣えている。スーパーや百貨店が少ない。
横須賀を代表できる物（品）がない。もしくは表面化していない。
税金が高い。
汐入地区、不入斗地区…とにかく山が多すぎて廃屋が多すぎる。
市は、以前より巷では陸の孤島と呼ばれている。（道路が16号と134号しかないため、事故等があった時、すぐ渋滞する。）仕事で当市へ出向く時は、嫌だった。
地理的に、若い人が残りにくい場所だと思う。
若い人、若い夫婦が横須賀に住むと、どんなメリットがあるか不明。
少子→子どもを産める社会。
もっと魅力的な学校経営をしてほしい。事なかれ主義の先生が多い。子どもを育てない街は育たない。
持続可能だと思えない。成長のきざしが見えない。
努力していると思うが、感じられない。
現在は思えない。
もっと、それぞれの年代の人が、自由に無料で集まれる場所があると良いと思う。
次世代に借金を残す事業は、見直して欲しい。
通り一遍の施策ではなく、「横須賀は住み良いところになった」と思えるように、実行計画を見直すべきと考える。

【衣笠地域】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというよくなっている」

主な回答理由 (n=20)
海や山、古い歴史等の魅力が沢山あると思う。
海や山など自然が多い。気候もよい。
自然とレジャーの密着に優れている。
テレビ等の宣伝の影響もある。
自治体のアピール努力は素晴らしいと思う。ただ、藤沢に比べると、施策が劣る印象がある。
地産ものの消費等施設の発展。
意外に栄えている町だと思う。
全国的に、よく地名が知られている。
新しく宅地購入し越した住宅街で少数だが市外からの方も半数いて子どもも増えている。市全体がそうかはわからないが…。
問題があるように思わない。
いろいろな取り組みを試みている。
これらを生かし若者が輝ける町になって欲しい。
保育所、学童保育等で、子育てが終わったり、定年後のお年寄りの方達と一緒に時間がとれたら良いのでは。昔話をし無理のない育て方があるのではないかな…。
地理的能力は充分と思う。ただ、その長所を生かしきれていないのでは。
子ども（小、中学生）の性格の良い子、悪い子に差があり過ぎる。（先生の口のきき方にも問題があるよう）

「④あまり思わない、どちらかという悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=26)
市外で働く場所、人が多くなった気がする。
若者の就職活動の場が減っている。横須賀で働きたい人も多いのでは。
大手各社の撤退のあとの企業へのPR不足。
大型店舗、産業の誘致活動が行われているとは思えない。
シャッター通り、空店舗、場所にそぐわない店など。閉まる店が増えている。上手な、それらに対する問題を助ける人がいない。
人口減少。高齢者増加に問題。
高齢者・生活保護受給者増加。
市民が人口減、高齢化してきた。
市の財政状況の悪化のため。
横須賀（今の）に改善する経済力、考えなどなし！！
横須賀の中心街の衰退。
魅力は薄らいでいる。以前はもっと栄えていた（町も人も）。
交通のネットワーク〈バス〉、足がない！中心部のみで動いている街。
市のPRが少ない。発信力が弱い。
観光スポット（海、山）が沢山あるにもかかわらず、お客様を迎える体策がないために、横浜にとられている。
イメージがない。
もう少し発展できると思う。
役所が真剣に取り組まなければ、この先も一切何も変わらないと思う。
福祉の充実。介護施設の利用促進と充実化。
他の地域の真似事ではなく、個性あふれる独自の発展を望む。
企業誘致によって人口の増加を図る。
工業団地（清潔な団地）。観光地としての活性化を図るため、JR、京急等と積極的な議論を進めて、明るい街づくりが必要。

【大津・浦賀地域】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというよくなっている」

主な回答理由 (n=33)
首都圏に近い。
東京、横浜など都会と近い事もあり、可能性はまだまだあると思う。
東京圏である事。
都市の魅力が浸透している。
三浦半島という点から言えば、地政学的にもまだまだいろいろな可能性があるはず。三浦市、葉山町との合併も含めた半島全体でのビジョンを考えるべき。
地区によっては人口減少、高齢化が激しいが、それを補うだけの潜在的な魅力があると考ええる。ただし、今回の重点プログラムは、他市と比べて突出した特徴がみられないのが不満である。
正直、具体的にどのような事を行っているというのがいまいちよく分からないのではっきり言えないが、色々取り組もうとしているのは分かったのだ。
他地域の人が、我が市に移住したいと思うような魅力を、工夫しているように感じる。
他の自治体と比べると遅いかもかもしれないが、少しずつ前進しているのは感じられる。
難しい問題を抱えながら改善されているから、気づかないうちに住みやすくなっている。
魅力のある市であると信じている。それを市政で少しずつ発展しているから。
社会人になっても、横須賀に居つく人が多い気がする。
人口が多い事。
海岸線、風光に恵まれている。
自然がまだ多く残っている。
近代歴史遺産がある。
試行しながら、住民も市政に関わり、市の魅力を発信していけると思うから。
希望すれば年寄りも町内会等集まり、過ごせるようになってきた。
高速道の整備、公園の整備が進んだ。
住みやすい町だと思うし、自然も多く、色々有名な場所も多いので。（観光）
幼稚園、小学生が一人で家で過ごさず、学童保育の場所で夕方まで皆で過ごせる事。
横須賀ブランドはあると思うので、今後、より魅力ある町にしていけるように対策してほしい。
自治体側が我々にこんな質問するとは呆れる。一体どんな仕事をしているのか。こうなる前に手を尽くすのが仕事ではないのか。やる気と努力で頑張れば可能。
市の政策を市民に伝えるのは難しいが…HPではなく、メルマガ等をもっと活用して、住民の関心を引いた方がいいのでは？
若者の働く場をもっと増やすべき。
他市に仕事に出ないで済むような職場があれば…。
他県のゴミの処理に協力してはいかかな。
これからの活動の成果に期待したい。
都市力をもっと充実させたい。

「④あまり思わない、どちらかというとも悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=45)
高齢化と人口減少が顕著過ぎる。(n=5)
政策より高齢化の勢いの方がすごい。(nは同上)
子どもがあまり増えたと感じないから。(nは同上)
地域より大会社が他に移動している。
活気ある企業が少ないように思う。
大型商店の撤退。
若い人が住める仕事が少ない。
商業施設の減少、働く場所の減少。
昔ほどにぎわいがなくなった気がする。マルイ、西友がなくなってしまったし…。
悪くなっているような気がする。やはり、さいか屋の縮小の影響が大きいかも…。
何をするにも情報が少ない。
具体的な政策の取り組みと、その結果がわからないから。
具体的な施策が見えない。
残念ながら傾向としては衰退の方向を感じる。
年ごとに悲しい町になっていきそう。老人になり、周りを見て悲しい町かと感じる…。
藤沢市に人口で抜かれる状況になっており、成長性で見劣りしているのは明らか。
都市としての魅力をあまり感じない。
魅力は感じられない。反対に廃れているような気がする。
中心地を見ても、都市力を備えているとはどうしても思わない。
街の活気を感じない。
全く活力的な事業施策はなく、中核都市等といえるだろうかと憂う思いである。老後はもっとアクセスが充実し、病院の多い町へ移るつもり。
交通の一方方向性（南北）。物流の減少のため都市力は弱体化している。
大きい商業施設がない。
高齢者が住みにくい地域が多い。
子どもに対しての目先の支援ばかりで、高齢者が後回しになっている。
子どもはいる家といない家があるが、年は誰でも取る。もっと高齢者に対しての支援を行って欲しい。
障害者に力をいれてほしい。
今後、税収も減り、益々市の財政は悪化するんじゃない？
若者向け施設が少ない。
以前は、基地の町として、アメリカンな、ドブ板通り等をイメージしていたが、最近薄れて、売りとする物がなくなった。
人流、物流のハブとなり得ないため潜在力が弱い。
雇用を増やし苦者の流出を防ぐ必要がある。
弱者にどれだけ優しい配慮が出来るのかが都市の力のバロメーター。
「都市力」という曖昧な造語はやめてほしい。
若い人達は、どうしても都心に出してしまうので、都市力を考えるのであれば、若い人達が魅力を感じるまちにすべき。
横須賀市が着実(?)に備えているものは、米軍基地と自衛隊。都市力が減小していくのは当然。

※回答末尾に記載のn 値は5以上のもののみ記載

【西地域】

「①思う、よくなっている」「②やや思う、どちらかというよくなっている」

主な回答理由 (n=18)
行政の取り組みが市民に広まれば…という可能性を感じる。
人を呼ぶ努力はしてると思う。
この様な重点プログラムの設定自体がそれであろう。
市が頑張ってくれているから。
横須賀は自然も豊かで、住むには非常に良いと思う。
海、山をもったよい都市になる。潜在能力があると思う。
歴史や文化が充実し、技術も発展しているため。
道路網が整備されつつあるところ。
東京から近い点。
横須賀市にはたくさんの観光スポットがある。
市民の事を、気にしてくれているから。
先端企業の進出。大学の進出があるかな？
高齢者も生きがいを感じながら生活出来る場を増やしてほしい。

「④あまり思わない、どちらかという悪くなっている」「⑤思わない、悪くなっている」

主な回答理由 (n=20)
人口減少は続いている。
子どもは本当に少なくなっていると感じる。
子育て対策をもっと検討してほしい。
子育ても収入による。
産科が少ない。経済的な支援も必要。
産業がない。
漁業での収入減。
都市部のベッドタウンとしての交通整備がされていない。
交通の便の悪さを改善していこうとしているように思えない。都市力をごく一部だけよくしても、市全体はよくなると思う。
全体が坂道だらけ、消防の入れない場所も多い。
自然破壊が進んだ。
市街地を歩いた時に、微妙な雰囲気を感じる時がある。
都市力を備えている町、そうでない町あり。（マダラ模様）
結婚できない（しない）若人が多い。
目標が見えない。
横須賀の人口を増やす、魅力的な街にする。
利便性や特色のある市を望む。
集客力につながるものほしい。

持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）を備えているまち
— 優先して取り組むべき政策について —

1 優先して取り組むべき政策の傾向（属性別）

（1）男女別

- ・今回調査で、「男性」の回答割合が最も高かったのは「1-1 子どもを産み育てやすいまちづくり」で、「女性」では「2-2 安全で安心なまちづくり」が最も多く選択された。
- ・前年度調査との比較では、「男性」でプログラム5を構成する取り組み（5-1、5-2）の回答割合が減少した。
- ・平成23年度調査との比較では、「男性」で「安全で安心なまちづくり」の回答割合が6.6ポイント減少し、「女性」では「2-1 誰もが活躍できるまちづくり」の回答割合が6.8ポイント増加した。

図表14 「優先して取り組むべき政策」（男女別：H25-23年度比較）

性別	調査年度	件数(人)											(%)
			1-1 子どもを産み育てやすいまちづくり	1-2 人間性豊かな子どもの育成	2-1 誰もが活躍できるまちづくり	2-2 安全で安心なまちづくり	3-1 人と自然が共生するまちづくり	3-2 地球環境に貢献するまちづくり	4-1 地域経済の活性化と雇用の創出	4-2 集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり	5-1 地域と住民の主体性が発揮される仕組みづくり	5-2 地域を支えるコミュニティ機能の強化	
男性	25年度	289	56.7	19.4	15.2	54.0	27.3	6.6	52.2	40.5	4.8	9.3	8.0
	24年度	315	54.9	19.7	16.8	51.1	25.1	6.3	49.5	38.1	9.8	13.7	7.0
	23年度	287	58.5	17.8	13.6	60.6	25.4	10.8	50.5	37.6	5.9	11.1	4.5
	25-24年度比		1.8	▲ 0.3	▲ 1.6	2.9	2.2	0.3	2.7	2.4	▲ 5.0	▲ 4.4	1.0
	25-23年度比		▲ 1.8	1.6	1.6	▲ 6.6	1.9	▲ 4.2	1.7	2.9	▲ 1.1	▲ 1.8	3.5
女性	25年度	398	60.3	21.4	15.1	60.8	20.9	8.3	51.5	37.2	4.8	14.1	3.5
	24年度	428	59.3	20.1	11.4	63.6	23.6	7.9	50.0	35.5	6.1	14.0	4.4
	23年度	433	64.4	23.1	8.3	62.4	23.6	10.2	48.7	33.0	5.5	13.4	4.2
	25-24年度比		1.0	1.3	3.7	▲ 2.8	▲ 2.7	0.4	1.5	1.7	▲ 1.3	0.1	▲ 0.9
	25-23年度比		▲ 4.1	▲ 1.7	6.8	▲ 1.6	▲ 2.7	▲ 1.9	2.8	4.2	▲ 0.7	0.7	▲ 0.7

※回答は3つまでの複数選択のため、回答割合の合計は100%にならない

(2) 年齢別

- ・今回調査では、「30 歳代」の7割以上が、優先すべき政策として「1－1 子どもを産み育てやすいまちづくり」を選択しており、全ての年齢層の全ての項目別回答割合の中でも最も高い（72.4ポイント）。
- ・また、「子どもを産み育てやすいまちづくり」は、40 歳代以下の年齢層で最も高い回答割合となっている。
- ・前年度調査との比較で顕著な増減がみられたのは、「29 歳以下」の「2－1 誰もが活躍できるまちづくり」で、約 10 ポイント増加した。
- ・平成 23 年度調査との比較では、「29 歳以下」「50 歳代」で、「2－2 安全で安心なまちづくり」が 10 ポイント以上減少した。
- ・また、取り組みの方向性の中で、全ての年齢層で回答割合が増加したのは「2－1 誰もが活躍できるまちづくり」のみとなった。

図表 15 「優先して取り組むべき政策」（年齢別：H25-23 年度比較）

年齢階層	調査年度	件数(人)											(%)
			1－1	1－2	2－1	2－2	3－1	3－2	4－1	4－2	5－1	5－2	
			子どもを産み育てやすいまちづくり	人間性豊かな子どもの育成	誰もが活躍できるまちづくり	安全で安心なまちづくり	人と自然が共生するまちづくり	地球環境に貢献するまちづくり	地域経済の活性化と雇用の創出	集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり	地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり	地域を支えるコミュニティ機能の強化	その他
29歳以下	25年度	76	61.8	26.3	23.7	59.2	17.1	7.9	40.8	32.9	7.9	11.8	6.6
	24年度	96	62.5	21.9	13.5	60.4	18.8	12.5	41.7	35.4	6.3	12.5	7.3
	23年度	91	63.7	29.7	14.3	69.2	23.1	14.3	36.3	27.5	5.5	11.0	5.5
	25-24年度比		▲ 0.7	4.4	10.2	▲ 1.2	▲ 1.7	▲ 4.6	▲ 0.9	▲ 2.5	1.6	▲ 0.7	▲ 0.7
	25-23年度比		▲ 1.9	▲ 3.4	9.4	▲ 10.0	▲ 6.0	▲ 6.4	4.5	5.4	2.4	0.8	1.1
30歳代	25年度	87	72.4	18.4	11.5	58.6	20.7	6.9	51.7	36.8	1.1	11.5	8.0
	24年度	90	70.0	15.6	14.4	61.1	14.4	3.3	57.8	36.7	3.3	12.2	5.6
	23年度	100	71.0	11.0	8.0	66.0	22.0	6.0	50.0	40.0	4.0	13.0	4.0
	25-24年度比		2.4	2.8	▲ 2.9	▲ 2.5	6.3	3.6	▲ 6.1	0.1	▲ 2.2	▲ 0.7	2.4
	25-23年度比		1.4	7.4	3.5	▲ 7.4	▲ 1.3	0.9	1.7	▲ 3.2	▲ 2.9	▲ 1.5	4.0
40歳代	25年度	98	65.3	19.4	11.2	61.2	20.4	8.2	44.9	42.9	4.1	11.2	4.1
	24年度	120	58.3	15.0	13.3	60.0	23.3	8.3	43.3	39.2	7.5	15.0	8.3
	23年度	118	66.9	19.5	6.8	58.5	22.0	13.6	51.7	35.6	3.4	7.6	8.5
	25-24年度比		7.0	4.4	▲ 2.1	1.2	▲ 2.9	▲ 0.1	1.6	3.7	▲ 3.4	▲ 3.8	▲ 4.2
	25-23年度比		▲ 1.6	▲ 0.1	4.4	2.7	▲ 1.6	▲ 5.4	▲ 6.8	7.3	0.7	3.6	▲ 4.4
50歳代	25年度	131	58.8	12.2	14.5	52.7	29.0	8.4	61.8	36.6	3.1	13.7	6.1
	24年度	137	59.1	16.1	14.6	54.0	24.8	7.3	55.5	40.1	10.2	10.9	3.6
	23年度	131	62.6	20.6	8.4	64.1	28.2	11.5	52.7	34.4	2.3	11.5	2.3
	25-24年度比		▲ 0.3	▲ 3.9	▲ 0.1	▲ 1.3	4.2	1.1	6.3	▲ 3.5	▲ 7.1	2.8	2.5
	25-23年度比		▲ 3.8	▲ 8.4	6.1	▲ 11.4	0.8	▲ 3.1	9.1	2.2	0.8	2.2	3.8
60歳代	25年度	158	54.4	19.0	15.8	58.9	25.3	3.8	57.0	42.4	6.3	9.5	3.8
	24年度	156	54.5	20.5	12.2	60.9	27.6	9.0	50.0	35.3	7.1	14.7	4.5
	23年度	141	59.6	19.1	10.6	55.3	22.7	7.1	53.9	37.6	10.6	17.0	3.5
	25-24年度比		▲ 0.1	▲ 1.5	3.6	▲ 2.0	▲ 2.3	▲ 5.2	7.0	7.1	▲ 0.8	▲ 5.2	▲ 0.7
	25-23年度比		▲ 5.2	▲ 0.1	5.2	3.6	2.6	▲ 3.3	3.1	4.8	▲ 4.3	▲ 7.5	0.3
70歳以上	25年度	137	48.9	29.2	15.3	58.4	24.1	10.9	47.4	37.2	5.8	14.6	5.1
	24年度	145	46.9	28.3	15.2	55.2	30.3	3.4	49.7	33.1	9.7	15.9	4.8
	23年度	138	52.9	26.1	14.5	60.1	26.1	10.9	48.6	32.6	7.2	13.8	2.9
	25-24年度比		2.0	0.9	0.1	3.2	▲ 6.2	7.5	▲ 2.3	4.1	▲ 3.9	▲ 1.3	0.3
	25-23年度比		▲ 4.0	3.1	0.8	▲ 1.7	▲ 2.0	0.0	▲ 1.2	4.6	▲ 1.4	0.8	2.2

※回答は3つまでの複数選択のため、回答割合の合計は100%にならない

図表 16 「優先して取り組むべき政策」（年齢別選択順位：H25 年度）

年齢階層	順位 1		2		3	
	項目	割合 (%)	項目	割合 (%)	項目	割合 (%)
29歳以下	(1-1) 子どもを産み育てやすい まちづくり	61.8	(2-2) 安全で安心なまちづくり	59.2	(4-1) 地域経済の活性化と雇用の創出	40.8
30歳代	(1-1) 子どもを産み育てやすい まちづくり	72.4	(2-2) 安全で安心なまちづくり	58.6	(4-1) 地域経済の活性化と雇用の創出	51.7
40歳代	(1-1) 子どもを産み育てやすい まちづくり	65.3	(2-2) 安全で安心なまちづくり	61.2	(4-1) 地域経済の活性化と雇用の創出	44.9
50歳代	(4-1) 地域経済の活性化と雇用の創出	61.8	(1-1) 子どもを産み育てやすい まちづくり	58.8	(2-2) 安全で安心なまちづくり	52.7
60歳代	(2-2) 安全で安心なまちづくり	58.9	(4-1) 地域経済の活性化と雇用の創出	57.0	(1-1) 子どもを産み育てやすい まちづくり	54.4
70歳以上	(2-2) 安全で安心なまちづくり	58.4	(1-1) 子どもを産み育てやすい まちづくり	48.9	(4-1) 地域経済の活性化と雇用の創出	47.4

(3) 地域別

- ・今回調査で、全体の政策の優先度が高い「1-1 子どもを産み育てやすいまちづくり」は、「衣笠」「大津・浦賀」「久里浜・北下浦」地域で回答割合が60%を超えている。
- ・「2-2 安全で安心なまちづくり」は、「追浜・田浦」「本庁・逸見」地域で60ポイントを超える高い回答割合となった。
- ・前年度調査との比較では、「追浜・田浦」地域で「4-1 地域経済の活性化と雇用の創出」が10ポイントを超える増加となった。一方、「4-2 集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり」で15ポイントを超える減少となっている。
- ・「衣笠」地域では、「4-2 集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり」が10ポイントを超える増加となった。
- ・平成23年度調査との比較では、上述の「追浜・田浦」地域で、4-1、4-2について前年度調査と同様の傾向となった。また、「3-2 地球環境に貢献するまちづくり」でも10ポイントを超える減少となっている。
- ・「衣笠」地域でも、4-2について前年度調査と同様に約17ポイントの増加となった。一方、「2-2 安全で安心なまちづくり」が約16ポイントの減少となっている。

図表 17 「優先して取り組むべき政策」(地域別：H25-23 年度比較)

居住地域	調査年度	件数(人)											その他	(%)
			1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2	5-1	5-2		
追浜・田浦	25年度	77	55.8	24.7	14.3	68.8	20.8	7.8	53.2	24.7	6.5	15.6	6.5	
	24年度	78	57.7	21.8	11.5	62.8	24.4	7.7	42.3	41.0	7.7	11.5	6.4	
	23年度	78	59.0	21.8	9.0	65.4	26.9	19.2	38.5	37.2	6.4	14.1	2.6	
	25-24年度比		▲ 1.9	2.9	2.8	6.0	▲ 3.6	0.1	10.9	▲ 16.3	▲ 1.2	4.1	0.1	
	25-23年度比		▲ 3.2	2.9	5.3	3.4	▲ 6.1	▲ 11.4	14.7	▲ 12.5	0.1	1.5	3.9	
本庁・逸見	25年度	106	53.8	15.1	16.0	64.2	20.8	7.5	56.6	40.6	2.8	11.3	4.7	
	24年度	144	50.0	20.1	13.2	54.9	18.8	10.4	55.6	43.1	6.9	13.2	6.9	
	23年度	129	65.9	17.1	8.5	62.0	22.5	9.3	47.3	38.0	5.4	10.9	7.0	
	25-24年度比		3.8	▲ 5.0	2.8	9.3	2.0	▲ 2.9	1.0	▲ 2.5	▲ 4.1	▲ 1.9	▲ 2.2	
	25-23年度比		▲ 12.1	▲ 2.0	7.5	2.2	▲ 1.7	▲ 1.8	9.3	2.6	▲ 2.6	0.4	▲ 2.3	
衣笠	25年度	100	62.0	15.0	18.0	51.0	18.0	11.0	55.0	45.0	9.0	10.0	5.0	
	24年度	114	58.8	15.8	11.4	55.3	23.7	7.9	53.5	34.2	7.9	14.0	7.0	
	23年度	122	63.1	19.7	9.0	67.2	21.3	11.5	58.2	27.9	6.6	10.7	2.5	
	25-24年度比		3.2	▲ 0.8	6.6	▲ 4.3	▲ 5.7	3.1	1.5	10.8	1.1	▲ 4.0	▲ 2.0	
	25-23年度比		▲ 1.1	▲ 4.7	9.0	▲ 16.2	▲ 3.3	▲ 0.5	▲ 3.2	17.1	2.4	▲ 0.7	2.5	
大津・浦賀	25年度	163	63.2	20.9	11.0	58.3	28.8	6.1	47.9	37.4	3.7	12.3	4.3	
	24年度	169	60.4	17.2	15.4	60.4	30.8	4.7	47.9	33.7	8.9	14.2	3.0	
	23年度	166	61.4	18.7	10.2	59.0	27.7	10.8	47.6	37.3	4.8	14.5	4.2	
	25-24年度比		2.8	3.7	▲ 4.4	▲ 2.1	▲ 2.0	1.4	0.0	3.7	▲ 5.2	▲ 1.9	1.3	
	25-23年度比		1.8	2.2	0.8	▲ 0.7	1.1	▲ 4.7	0.3	0.1	▲ 1.1	▲ 2.2	0.1	
久里浜・北下浦	25年度	160	61.3	22.5	16.9	52.5	23.1	8.1	45.6	43.1	4.4	12.5	6.3	
	24年度	174	59.2	21.8	15.5	59.2	27.0	6.3	45.4	36.8	9.2	13.8	4.0	
	23年度	143	63.6	27.3	9.1	62.2	21.7	7.7	49.0	35.0	7.0	11.2	3.5	
	25-24年度比		2.1	0.7	1.4	▲ 6.7	▲ 3.9	1.8	0.2	6.3	▲ 4.8	▲ 1.3	2.3	
	25-23年度比		▲ 2.3	▲ 4.8	7.8	▲ 9.7	1.4	0.4	▲ 3.4	8.1	▲ 2.6	1.3	2.8	
西	25年度	80	51.3	26.3	16.3	58.8	26.3	5.0	60.0	35.0	3.8	11.3	5.0	
	24年度	64	57.8	28.1	14.1	59.4	10.9	7.8	54.7	28.1	1.6	17.2	7.8	
	23年度	82	56.1	22.0	19.5	53.7	26.8	6.1	54.9	32.9	3.7	14.6	6.1	
	25-24年度比		▲ 6.5	▲ 1.8	2.2	▲ 0.6	15.4	▲ 2.8	5.3	6.9	2.2	▲ 5.9	▲ 2.8	
	25-23年度比		▲ 4.8	4.3	▲ 3.2	5.1	▲ 0.5	▲ 1.1	5.1	2.1	0.1	▲ 3.3	▲ 1.1	

図表 18 「優先して取り組むべき政策」(地域別選択順位：H25 年度)

順位 居住地域	1		2		3	
	項目	割合(%)	項目	割合(%)	項目	割合(%)
追浜・田浦	(2-2) 安全で安心なまちづくり	68.8	(1-1) 子どもを産み育てやすい まちづくり	55.8	(4-1) 地域経済の活性化と雇用の 創出	53.2
本庁・逸見	(2-2) 安全で安心なまちづくり	64.2	(4-1) 地域経済の活性化と雇用の 創出	56.6	(1-1) 子どもを産み育てやすい まちづくり	53.8
衣笠	(1-1) 子どもを産み育てやすい まちづくり	62.0	(4-1) 地域経済の活性化と雇用の 創出	55.0	(2-2) 安全で安心なまちづくり	51.0
大津・浦賀	(1-1) 子どもを産み育てやすい まちづくり	63.2	(2-2) 安全で安心なまちづくり	58.3	(4-1) 地域経済の活性化と雇用の 創出	47.9
久里浜・北下浦	(1-1) 子どもを産み育てやすい まちづくり	61.3	(2-2) 安全で安心なまちづくり	52.5	(4-1) 地域経済の活性化と雇用の 創出	45.6
西	(4-1) 地域経済の活性化と雇用の 創出	60.0	(2-2) 安全で安心なまちづくり	58.8	(1-1) 子どもを産み育てやすい まちづくり	51.3

2 自由記述回答（年齢別）※選択肢⑪その他 自由記述

【29 歳以下】

主な回答（自由記述）（n=5）
勝手な意見だが、今はやりのサバイバルゲームの射撃場などを設けてみてはどうか？他の地域からも人がたくさん来るし、神奈川で2カ所目の射撃場にもなるし。
交通面。
医療費と保育費の充実。
横須賀市の長所を広くアピールして集客する事は大事だが、観光だけで終わらせないように、住みやすい町づくりが重要だと思う。
自治会という任意団体に疑問だ。任意にも関わらず加入を断ったら「じゃあごみ出さないのか」と言われた。ごみは行政サービスの1つであり、自治会が回収をしているものではない。街の防犯カメラや街灯の費用は分かるが、実際にその他の費用の用途は不明。古いものにすぎるお年寄りの気持ちは分かるが、自治会に入るべきという考えはいかがなものか。自治会に入らないといけないという言葉まわしは任意団体にあるまじき言動、とても不快だ。

【30 歳代】

主な回答（自由記述）（n=7）
横浜横須賀道路の値下げによる集客を高めつつ、（利益性の高い市営事業による）財源の確保と収入の見通しが立つ雇用の創出により、地域経済の活性化と少子化対策を図る。
横須賀中央周辺の静けさを改善しない限り、人口が増える事はない。役所様はさっさと行動しなさい！！
街コン等、積極的にイベントを実施すれば良いと思う。
市の財政回復。
大手グループショッピングセンターなどにより、昔からある商店街などを守りながら、お年寄りなどの買い物、生活のサポートを充実させてほしい。
子ども、高齢者、障害者にやさしい街になれば、その評判は自然に口コミで広まり、人が集まって来ると思う。

【50 歳代】

主な回答（自由記述）（n=8）
在日米軍等を利用し、国際文化圏、横浜とは異なる港町づくりを目指す。
市内、市外への交通手段をもっと良くする必要がある。（人口減少、高齢化に備えて）
大学や企業を誘致する。
子どもも環境も大切だと思うが、他にやらなければならない事、沢山あると思う。
⑧と重なるが、山間部など交通の便が悪く暮らしにくい！
大きな企業、みんなが誇れるような高校・大学の誘致。
子どもが育てやすい環境である事を市内にアピールするのではなく、他市にアピールすべき。それにより他市からの移住者を増やす事で、全体的に市の活性化が実現できると思う。
家を壊して更地にすると、固定資産税が6倍になる。だから不入斗地区・汐入地区・上町等（横須賀ガラパゴス地区）はボロボロ。絶対壊さない廃屋が多すぎる。なんとか横須賀市の力で、固定資産税が低く抑えられるよう法改正を願う！廃屋問題が解決されない限り、横須賀に明るい未来はない。

横須賀市の魅力や横須賀市への愛着

1 横須賀市の魅力について（年齢別）

- ・今回調査で最も多く選択された「海や緑などの自然環境に恵まれている」は、全ての年齢層で70～85%前後と高い値を示した。
- ・「観光資源や歴史的資産に恵まれている」「国際色豊かである」は、30歳代以下で、魅力として捉えられている傾向がみられる。
- ・前年度調査との比較では、全体で2位の「大都市に近く、通勤・通学に便利である」で差がプラスとなったのは「60歳代」のみで、「29歳以下」「30歳代」「70歳以上」では10ポイントを超える減少となった。
- ・全体で3位の「魚介類・農産物などが新鮮で、豊かな食生活ができる」は、40歳代以下で差がマイナスとなった。
- ・平成23年度調査との比較では、「大都市に近く、通勤・通学に便利である」は、前年度調査と同様に「60歳代」のみでプラスとなった。
- ・全体で3位の「魚介類・農産物などが新鮮で、豊かな食生活ができる」は、50歳代以上で10ポイントを超える大幅な上昇がみられたが、「29歳以下」のみマイナスとなった。

図表 19 「横須賀市の魅力的なところ」の回答割合（年齢別：H25-23 年度比較）

年齢階層	調査年度	件数 (人)	(%)														
			高教育や文化の水準が	子育てにしている支援	高齢者の福祉が充実している	生活基盤が整っている	道路や公園などの利便性	近隣の施設・サービスが充実している	犯罪や災害に備えている	大・都市に近く、通勤・通学に便利である	仕事や収入の機会に恵まれている	海や緑などの自然環境に恵まれている	魚介類・農産物など新鮮で、豊かな食生活ができる	観光資源や歴史的資産に恵まれている	国際色豊かである	市民の生活が良くて、快適である	地域での人間関係がよい
29歳以下	25年度	76	2.6	6.6	10.5	26.3	11.8	15.8	35.5	0.0	69.7	28.9	23.7	32.9	2.6	6.6	3.9
	24年度	95	5.3	2.1	14.7	15.8	11.6	11.6	48.4	1.1	64.2	34.7	21.1	34.7	3.2	6.3	8.4
	23年度	89	2.2	4.5	9.0	22.5	5.6	16.9	43.8	1.1	64.0	31.5	22.5	41.6	9.0	6.7	2.2
	25-24年度比		▲ 2.7	4.5	▲ 4.2	10.5	0.2	4.2	▲ 12.9	▲ 1.1	5.5	▲ 5.8	2.6	▲ 1.8	▲ 0.6	0.3	▲ 4.5
	25-23年度比		0.4	2.1	1.5	3.8	6.2	▲ 1.1	▲ 8.3	▲ 1.1	5.7	▲ 2.6	1.2	▲ 8.7	▲ 6.4	▲ 0.1	1.7
30歳代	25年度	87	2.3	4.6	3.4	25.3	6.9	10.3	40.2	2.3	73.6	36.8	24.1	34.5	3.4	5.7	8.0
	24年度	89	1.1	4.5	5.6	19.1	5.6	11.2	55.1	1.1	71.9	46.1	18.0	25.8	2.2	4.5	7.9
	23年度	101	4.0	4.0	5.9	14.9	4.0	15.8	41.6	1.0	80.2	31.7	25.7	42.6	4.0	6.9	4.0
	25-24年度比		1.2	0.1	▲ 2.2	6.2	1.3	▲ 0.9	▲ 14.9	1.2	1.7	▲ 9.3	6.1	8.7	1.2	1.2	0.1
	25-23年度比		▲ 1.7	0.6	▲ 2.5	10.4	2.9	▲ 5.5	▲ 1.4	1.3	▲ 6.6	5.1	▲ 1.6	▲ 8.1	▲ 0.6	▲ 1.2	4.0
40歳代	25年度	97	1.0	5.2	9.3	18.6	9.3	14.4	41.2	3.1	75.3	43.3	10.3	24.7	7.2	5.2	4.1
	24年度	119	0.8	2.5	6.7	20.2	4.2	10.9	47.9	1.7	79.0	45.4	20.2	21.0	2.5	11.8	5.0
	23年度	117	0.9	1.7	6.0	14.5	8.5	12.0	47.0	0.9	78.6	34.2	21.4	29.1	6.0	9.4	4.3
	25-24年度比		0.2	2.7	2.6	▲ 1.6	5.1	3.5	▲ 6.7	1.4	▲ 3.7	▲ 2.1	▲ 9.9	3.7	4.7	▲ 6.6	▲ 0.9
	25-23年度比		0.1	3.5	3.3	4.1	0.8	2.4	▲ 5.8	2.2	▲ 3.3	9.1	▲ 11.1	▲ 4.4	1.2	▲ 4.2	▲ 0.2
50歳代	25年度	131	2.3	2.3	6.1	16.8	7.6	13.7	48.1	1.5	84.7	46.6	15.3	14.5	6.9	6.9	5.3
	24年度	134	2.2	3.0	7.5	19.4	10.4	15.7	54.5	2.2	81.3	38.1	20.1	16.4	1.5	9.0	3.7
	23年度	130	0.8	3.1	7.7	20.0	10.0	10.0	50.0	2.3	81.5	33.8	15.4	20.8	6.2	13.1	4.6
	25-24年度比		0.1	▲ 0.7	▲ 1.4	▲ 2.6	▲ 2.8	▲ 2.0	▲ 6.4	▲ 0.7	3.4	8.5	▲ 4.8	▲ 1.9	5.4	▲ 2.1	1.6
	25-23年度比		1.5	▲ 0.8	▲ 1.6	▲ 3.2	▲ 2.4	3.7	▲ 1.9	▲ 0.8	3.2	12.8	▲ 0.1	▲ 6.3	0.7	▲ 6.2	0.7
60歳代	25年度	158	1.9	3.2	10.8	15.8	8.2	16.5	51.9	1.9	84.2	47.5	9.5	15.8	2.5	12.7	1.9
	24年度	156	1.3	3.8	10.9	19.2	13.5	15.4	46.8	1.9	81.4	41.0	12.2	15.4	1.9	14.7	2.6
	23年度	143	2.1	5.6	12.6	23.8	8.4	14.7	48.3	3.5	82.5	35.0	16.1	16.8	2.1	16.8	3.5
	25-24年度比		0.6	▲ 0.6	▲ 0.1	▲ 3.4	▲ 5.3	1.1	5.1	0.0	2.8	6.5	▲ 2.7	0.4	0.6	▲ 2.0	▲ 0.7
	25-23年度比		▲ 0.2	▲ 2.4	▲ 1.8	▲ 8.0	▲ 0.2	1.8	3.6	▲ 1.6	1.7	12.5	▲ 6.6	▲ 1.0	0.4	▲ 4.1	▲ 1.6
70歳以上	25年度	137	1.5	2.9	13.9	22.6	10.2	14.6	38.0	1.5	78.1	46.7	16.1	12.4	5.1	13.9	5.1
	24年度	143	1.4	2.1	11.9	18.2	11.9	20.3	51.7	2.8	79.0	39.2	21.0	16.8	1.4	11.2	3.5
	23年度	136	4.4	0.0	12.5	16.9	11.0	16.9	47.8	0.7	84.6	36.0	16.9	16.9	4.4	13.2	3.7
	25-24年度比		0.1	0.8	2.0	4.4	▲ 1.7	▲ 5.7	▲ 13.7	▲ 1.3	▲ 0.9	7.5	▲ 4.9	▲ 4.4	3.7	2.7	1.6
	25-23年度比		▲ 2.9	2.9	1.4	5.7	▲ 0.8	▲ 2.3	▲ 9.8	0.8	▲ 6.5	10.7	▲ 0.8	▲ 4.5	0.7	0.7	1.4

図表 20 「横須賀市の魅力的なところ」（年齢別選択順位：H25 年度）

年齢階層	順位	1		2		3	
		項目	割合 (%)	項目	割合 (%)	項目	割合 (%)
29歳以下		海や緑などの自然環境に恵まれている	69.7	大都市に近く、通勤・通学に便利である	35.5	国際色豊かである	32.9
30歳代		海や緑などの自然環境に恵まれている	73.6	大都市に近く、通勤・通学に便利である	40.2	魚介類・農産物などが新鮮で、豊かな食生活ができる	36.8
40歳代		海や緑などの自然環境に恵まれている	75.3	魚介類・農産物などが新鮮で、豊かな食生活ができる	43.3	大都市に近く、通勤・通学に便利である	41.2
50歳代		海や緑などの自然環境に恵まれている	84.7	大都市に近く、通勤・通学に便利である	48.1	魚介類・農産物などが新鮮で、豊かな食生活ができる	46.6
60歳代		海や緑などの自然環境に恵まれている	84.2	大都市に近く、通勤・通学に便利である	51.9	魚介類・農産物などが新鮮で、豊かな食生活ができる	47.5
70歳以上		海や緑などの自然環境に恵まれている	78.1	魚介類・農産物などが新鮮で、豊かな食生活ができる	46.7	大都市に近く、通勤・通学に便利である	38.0

2 横須賀市への愛着について（年齢別）

- ・今回調査では、「感じている」「やや感じている」の合計割合が、全ての年齢層で 70～80%前後の高い値となり、特に、高齢層で愛着が強い傾向が窺える。
- ・前年度調査との比較では、「感じている」「やや感じている」の合計割合で低下がみられた年齢層が多く、差がプラスとなったのは「30 歳代」のみとなった。
- ・平成 23 年度調査との比較でも、「感じている」「やや感じている」の合計割合で低下がみられた年齢層が多く、差がプラスとなったのは「70 歳以上」のみとなった。特に、「40 歳代」では 13.5 ポイントの大幅な低下がみられた。

図表 21 「横須賀市への愛着」（年齢別：H25-23 年度比較）

年齢階層	調査年度	件数(人)								(%)	
			①感じている	②やや感じている	③どちらともいえない	④あまり感じていない	⑤感じていない	⑥わからない	①+②	④+⑤	
29歳以下	25年度	77	37.7	32.5	14.3	10.4	3.9	1.3	70.2	14.3	
	24年度	96	47.9	24.0	13.5	6.3	6.3	2.1	71.9	12.6	
	23年度	91	44.0	31.9	11.0	4.4	7.7	1.1	75.9	12.1	
	25-24年度比		▲ 10.2	8.5	0.8	4.1	▲ 2.4	▲ 0.8	▲ 1.7	1.7	
	25-23年度比		▲ 6.3	0.6	3.3	6.0	▲ 3.8	0.2	▲ 5.7	2.2	
30歳代	25年度	88	46.6	33.0	9.1	6.8	4.5	0.0	79.6	11.3	
	24年度	90	36.7	35.6	18.9	4.4	4.4	0.0	72.3	8.8	
	23年度	101	54.5	28.7	9.9	5.9	1.0	0.0	83.2	6.9	
	25-24年度比		9.9	▲ 2.6	▲ 9.8	2.4	0.1	0.0	7.3	2.5	
	25-23年度比		▲ 7.9	4.3	▲ 0.8	0.9	3.5	0.0	▲ 3.6	4.4	
40歳代	25年度	95	41.1	28.4	20.0	6.3	4.2	0.0	69.5	10.5	
	24年度	120	48.3	26.7	13.3	10.0	0.8	0.8	75.0	10.8	
	23年度	118	48.3	34.7	5.1	6.8	3.4	1.7	83.0	10.2	
	25-24年度比		▲ 7.2	1.7	6.7	▲ 3.7	3.4	▲ 0.8	▲ 5.5	▲ 0.3	
	25-23年度比		▲ 7.2	▲ 6.3	14.9	▲ 0.5	0.8	▲ 1.7	▲ 13.5	0.3	
50歳代	25年度	132	43.9	32.6	14.4	6.1	3.0	0.0	76.5	9.1	
	24年度	135	51.9	27.4	8.1	6.7	4.4	1.5	79.3	11.1	
	23年度	131	41.2	38.2	10.7	6.9	3.1	0.0	79.4	10.0	
	25-24年度比		▲ 8.0	5.2	6.3	▲ 0.6	▲ 1.4	▲ 1.5	▲ 2.8	▲ 2.0	
	25-23年度比		2.7	▲ 5.6	3.7	▲ 0.8	▲ 0.1	0.0	▲ 2.9	▲ 0.9	
60歳代	25年度	158	48.7	32.9	12.7	3.8	1.3	0.6	81.6	5.1	
	24年度	152	63.2	20.4	11.2	3.9	1.3	0.0	83.6	5.2	
	23年度	141	55.3	31.9	7.8	3.5	1.4	0.0	87.2	4.9	
	25-24年度比		▲ 14.5	12.5	1.5	▲ 0.1	0.0	0.6	▲ 2.0	▲ 0.1	
	25-23年度比		▲ 6.6	1.0	4.9	0.3	▲ 0.1	0.6	▲ 5.6	0.2	
70歳以上	25年度	136	54.4	27.9	8.8	4.4	3.7	0.7	82.3	8.1	
	24年度	147	56.5	28.6	10.2	2.0	2.7	0.0	85.1	4.7	
	23年度	138	55.8	26.1	10.9	3.6	2.9	0.7	81.9	6.5	
	25-24年度比		▲ 2.1	▲ 0.7	▲ 1.4	2.4	1.0	0.7	▲ 2.8	3.4	
	25-23年度比		▲ 1.4	1.8	▲ 2.1	0.8	0.8	0.0	0.4	1.6	

